ISSN 0912-8182

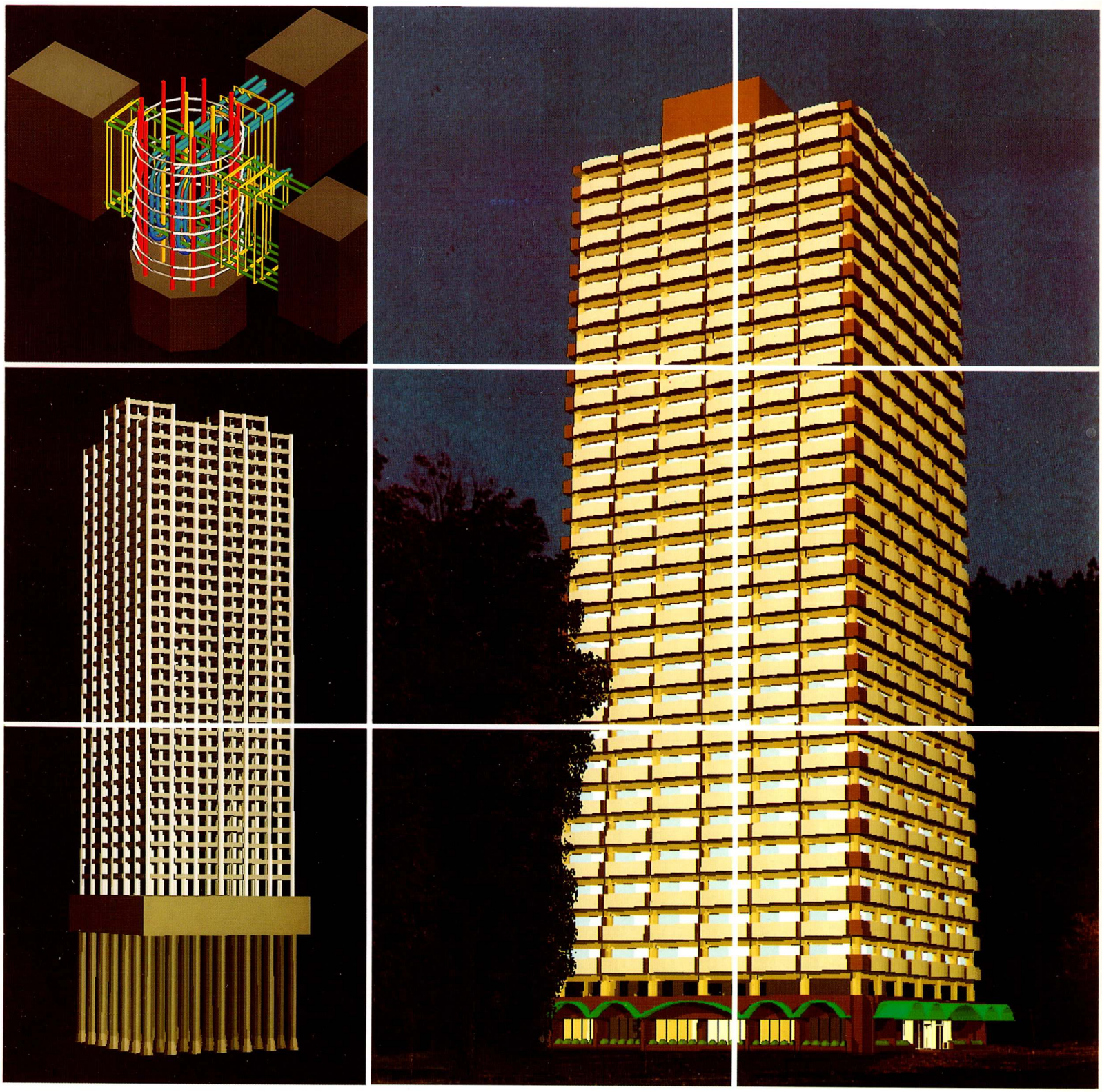
Vol. 70 通巻808号　平成元年7月25日発行・毎月1回25日発行・昭和24年3月19日第3種郵便物認可

建築と社会

ARCHITECTURE AND SOCIETY

1989 7

特集■都市環境創造と設備—I—



日本建築協会

Day by Day——きっといい明日

大阪ガス

プリオールに、決めた3人。



暖冷房と給湯のシステムに、自動風呂のついたプリオール・オート

プリオール・オートは、お湯でひろがる快適な暮らしのシステム。魅力的な端末機を自由に組み合わせて、便利で気持ちいいマイホームをどうぞ。

◎おまかせ！自動風呂

ボタンひとつでお湯はり、あとは適温・適量キープ機能で足し湯も追いだきもすべておまかせ、の便利でかしこい全自動風呂。

◎やさしい温水エアコン

温水だから、安全性も清潔さも2重丸。マイコンによる自動運転で、きめこまかい快適な暖冷房がえられます。さらにデラックスタイプでは除湿機能もより充実。さわやか冷房も思いのまま。

◎ゴロン！と床暖房

お部屋全体をやさしい日だまりの暖かさでつつみこむ床暖房。家族みんなが集まるリビングにピッタリです。

◎いいお湯タップリ!!

給湯能力はビッグな16号。キッチンはもちろん、シャワー・洗面所とゆとりのお湯をお使いください。

◎気分サッパリ、温水サウナ

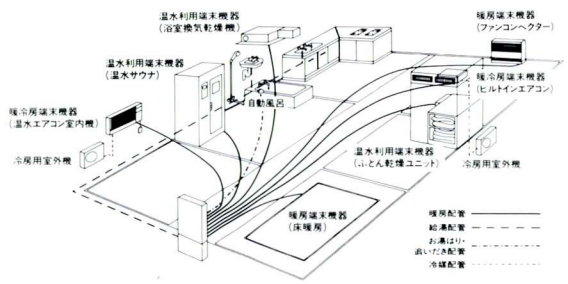
家族それぞれで楽しめる刺激の少ない遠赤外線式。省スペース・省エネのヘルシーなサウナです。

◎ふ～んわり、浴室換気乾燥機

浴室がそのまま便利な乾燥室に。雨の日や夜でもふっくらお洗たくものが乾きます。

新築・増改築をお考えの方、プリオール・オートをお忘れなく。

●エックスプリオール・オートの資料請求・お問い合わせは
〒541 大阪市中央区平野町4-1-2 大阪ガス営業部
エックスプリオール・オート係まで TEL 06-202-2221



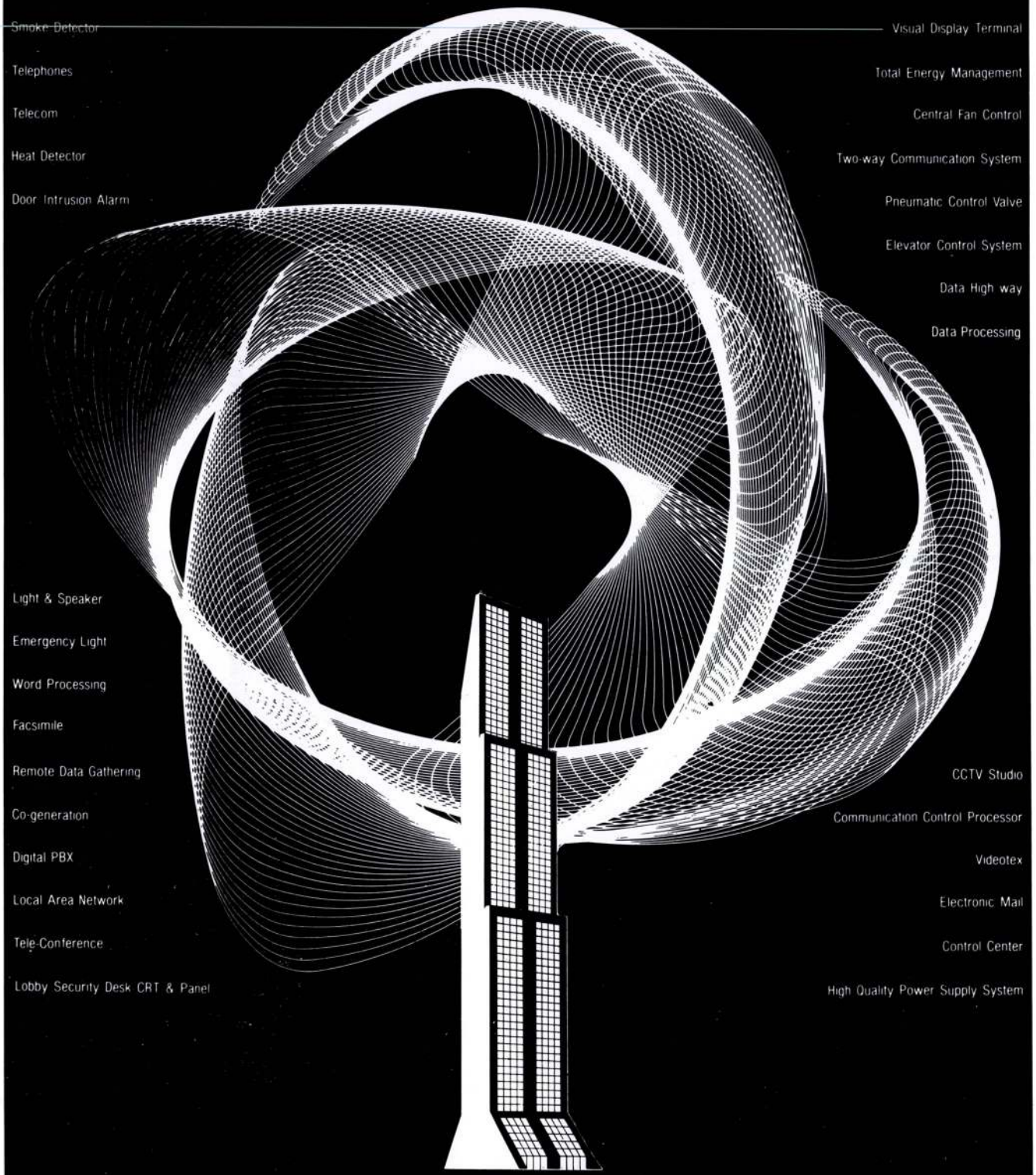
エックスプリオール・オート

PRIOR AUTO

暖冷房・給湯＆自動風呂システム

知能と感性のオフィス・情報世紀への離陸!!

ビルをインテリジェント化する近電工トータル ファシリティ システム

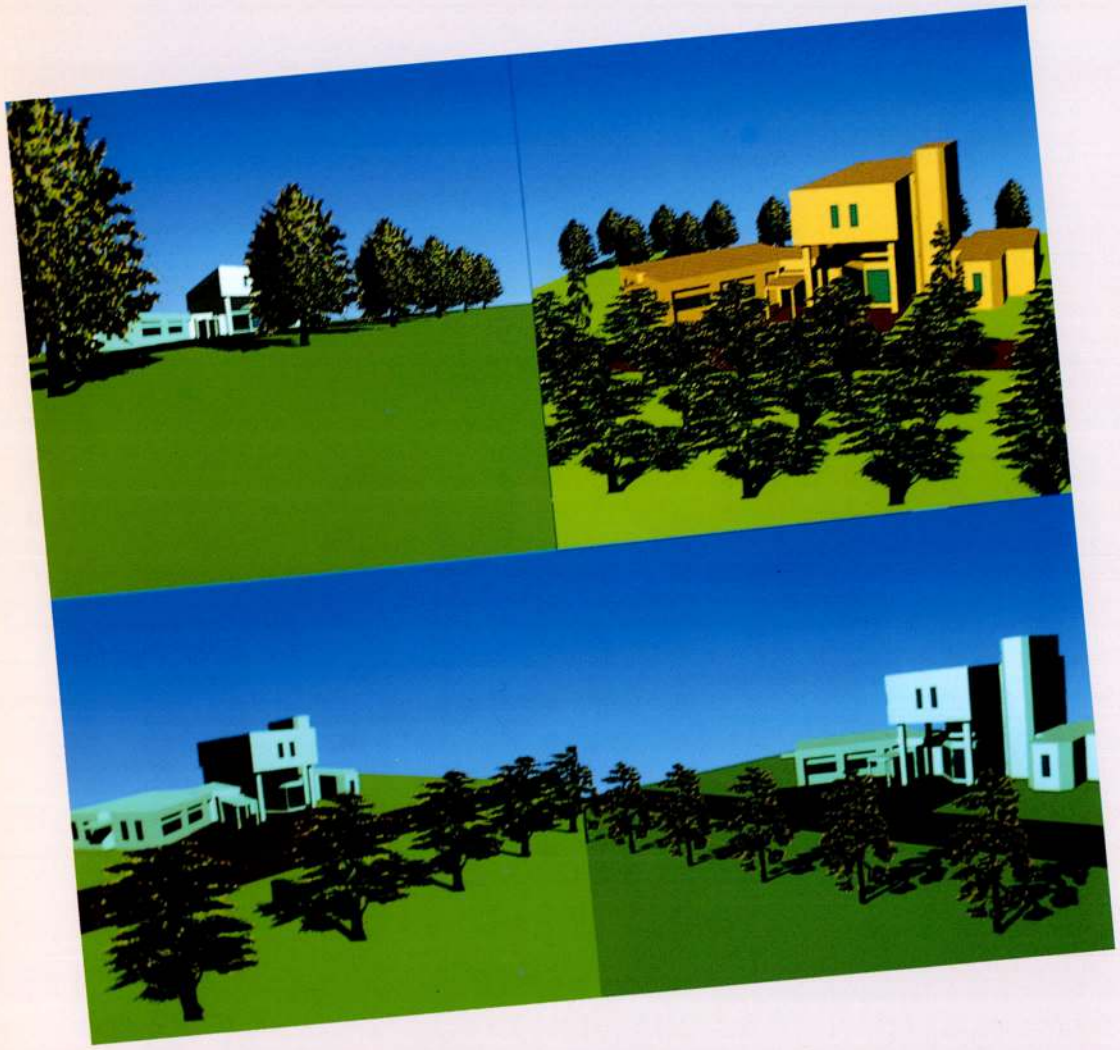


エネルギー・情報・環境　設備総合エンジニアリング

近電工

近畿電氣工事株式會社

大阪市北区本庄東2丁目3番41号〒531　06-375-6000



景観シミュレーション

フルカラーグラフィックワークステーション

GWS-1000M

充実したソフトウェアサポート

3次元グラフィックスソフトウェアから画像処理ソフトウェアまで各種パッケージのソフトウェアでサポート。他に類例のない充実したソフトウェアのラインアップ。

LUMINOUS・ARTS・DIMPLE・IMAGER-H・MOVIE BYU・GRASP・GEM・GINO-F・GDSP-1・GDSP-2・GDSP-3・GKS・2D-PAINT

Graphica

株式会社グラフィカ　〒206 東京都多摩市永山6-21-6　TEL0423(73)6111㈹

〈資料請求番号〉0192

「建築と社会」7月号表紙

■作品名 『SKYRC—30』 ■作者 株式会社奥村組 ■使用ハード グラフィカM—508、IBM4381 ■使用ソフト LUMINOUS ■作品解説 集合住宅は都市住宅として年々増加している。この需要にこたえるため、当社が開発した経済的で居住性のよい超高層集合住宅がSKYRC—30である。構造形式はRC造純ラーメン構造で、耐震性にすぐれた靱性のある骨組である。また鉄筋組み立てのプレハブ化をはじめ、現場作業を極力省力化した合理化施工法を採用している。

■特集予告

8月号／建築とアート

9月号／構造の省力化

10月号／都市環境創造と設備II

11月号／第36回青年技術者

12月号／最近の博覧会パビリオン

会長 佐野正一

副会長 足立 孝・市川 宏
鴻池藤一・薬袋公明

編集委員会（平成元年度）

■編集理事
金井 弘次
金多 潔
小島 雄
城 憲一
須賀 好富
竹中 錬一
長谷部朔郎
松村 慶三
若山 繁
渡辺 忠

■編集委員長
長谷部朔郎

＊上田 信也

■編集顧問
東 孝光

■編集委員

★計画系分科会
☆計画系
角島 健二
河端 秀直
小浦 久子
鈴木 克彦
○田中 直人
平岡 博
山尾 弘子
吉村 英祐
☆建築計画系
上杉 秀隆
江副 敏史
○加藤 晃規
北村 潤
鳴田 聖二
庄野 利博
西川 純一
前川 治彦
牧野由美子
三宅 淳
＊森田 晴美
矢野 裕芳
山中 恵子
山本 匡
☆インテリア・住宅
石倉 健彦
一ノ瀬満雄
大塚 慶子
○加藤 力
神谷 剛
＊北浦かほる
北山 喜与
駒田 哲男
細田 泰彦
増地 秀夫

★構造分科会
和泉 一義
清 孝好
馬場 研介
○福山 国夫
山崎 雅生
和田 勉

★設備分科会
安信 浩一
石野 幸義
遠藤 進
梶井 宏修
河津 隆之
○佐藤 秀彦
別所 清
村上幸三郎

★施工材料分科会
有光 利治
河戸 隆
○志水 史典
田添 寿昭
丹羽 稔
松村 勝実

★法令分科会
＊大前 博司
佐藤 勝
広瀬 丈洋
松井 昭
南出 和延

■作品作風小委員会
荒川 朱美
遠藤 公介
岡本 隆
北澤 修一
玉崎 良和
○塘 伸夫
富田 昌義
福地 一彦
松田 善弘
宮下 幹雄
＊水川 尚彦
宮崎ひろ志

■会員企画小委員会
赤井 富弘
伊藤 郁郎
稲木 裕子
＊今井 邦夫
北村 恭一
小林 孝一
佐伯由紀子
柴田 厚
○高田 光雄
高橋 麗子
塚口 明洋
富永 明子
増渕 昌利
溝口 正人

■広告企画小委員会
＊池渕 俊男
佐野 寛志
○下村 甫
橋本龍二郎
原田 常介
藤田 孝吉
山下 修司
○渡辺 忠

○印 副委員長と幹事 ＊印 同代行

印刷 平成元年7月20日
発行 平成元年7月25日
発行人 社団法人日本建築協会
発行所 社団法人日本建築協会
大阪市北区梅田1-1-3-2100
電 06—348—0635
振替口座 大阪1-39975
印刷所 日本写植印刷株式会社
電 06—606—1111㈹
青葉印刷株式会社
電 06—351—5428㈹
定価 980円（本体価格951円・送料共 消費税29円）

1917創刊
1989
70集

建築と社会 ©ARCHITECTURE AND SOCIETY
CONTENTS
JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

7 通巻808

特集●都市環境創造と設備—I—

SPECIAL FEATURE ON THE URBAN ENVIRONMENT AND UTILITIES

会告

青年技術者のみなさまへ—第36回青年技術者特集号の応募について．昭和63年度事業報告書．創立70周年記念事業報告．昭和63年度決算報告書．通常総会決議報告．理事1名の補選．会員の受賞．平成元年度支部通常総会報告．平成元年度各支部役員．—— 41

作品作風

大阪府吹田保健所・大阪府吹田児童相談所 —— 4
設計：大阪府建築部営繕室　徳岡昌克建築設計事務所
監理：大阪府建築部営繕室　大阪府建設監理協会　徳岡昌克建築設計事務所
施工：紙谷工務店

ノバティながの —— 設計監理：河内長野市・東畑建築事務所 —— 8
施工：鹿島建設・大林組・西松建設共同企業体

AMMNAT SQUARE —— 設計監理：三菱地所　設計施工：竹中工務店 —— 12

住吉ターミナルビル(Liv) —— 設計監理：西日本旅客鉄道・安井建築設計事務所 —— 16
施工：飛島建設・鹿島建設・大鉄工業共同企業体

日本たばこ猫田記念体育館 —— 設計監理：ジェイティ不動産大阪支店 —— 18
施工：錢高組・ジェイティ不動産JV

エクシブ白浜 —— 設計監理：日建設計　施工：鹿島建設 —— 20

吉田歯科医院 —— 設計監理：徳岡昌克建築設計事務所 —— 22
施工：徳岡工務店・奥田組共同企業体

Gallery
さかさま世界(設計：SITE)／水川尚彦 —— 24

スケッチブック
最近竣工した新建築9点(NO.2241～2249) —— 26

特別企画
大江ビル —— 設計：不二建設　監理：東畑建築事務所　施工：不二建設 —— 27

新刊紹介
『京の茶室』(岡田孝男著) —— 33

Wシリーズ
WELCOMING—明日の建築をになう女子学生たち—湯村直美・中野温子・船原洋子 —— 34

新建材紹介コーナー
人工軽量骨材「マイルドサンド・EBタイル(EBフレスコ)」／山田幸一 —— 37

法令コーナー
優良住宅地段階整備誘導計画制度／猿渡彬順 —— 38

GBRCニュース
昭和63年度の業務概要・'89床衝撃音レベルデータシートの無料配布について —— 39

建築の眼
マイ・プレイスのくに／安田孝．まちのみどり—その1／八尾明 —— 40
リゾートって何？／若林広幸．建築家はノックがお好き／南次郎

バックナンバー
「建築と社会」総目次（昭和7年10月号～9年4月号） —— 54、104

特集
都市環境創造と設備—I—

総論
より良い都市環境の創造に向けて —— 林田 康孝 —— 57

各論I
都市環境と環境装置—関係と組み換えの環境デザイン手法— —— 西沢 健／森田 昌嗣 —— 64

構造の頁171
OMMビル外装リフレッシュの構造設計／俣野博・鈴木厚雄 —— 74

設備の頁173
光学薄膜技術の白熱灯器具への応用／桂山和夫 —— 75

施工材料の頁168
ピングラウト工法—止水工法—／三浦寛 —— 76

INFORMATION
病院建築に関する研修会開催．「ライティング・デザインルーム」オープン．「分譲オフィスビル」事業への参入．第2回公共建築賞募集．日本インテリア学会発足 —— 79

月報
日本建築協会月間の動き（平成元年5月分） —— 78



エントランス

大阪府吹田保健所・大阪府吹田児童相談所

設　計　大阪府建築部営繕室 徳岡昌克建築設計事務所
監　理　大阪府建築部営繕室 大阪府建設監理協会 徳岡昌克建築設計事務所
施　工　紙谷工務店

所 在 地　大阪府吹田市出口町765－5 他
敷地面積　3,000.00㎡
建築面積　1,296.15㎡（本棟1,115.30㎡附属棟6棟180.85㎡）
延床面積　3,100.96㎡（本棟2,933.53㎡附属棟6棟167.43㎡）
構造規模　本棟S＋SRC＋RC、B1、3F／附属棟S、1F
工　　期　昭和62年12月～昭和63年10月
最 寄 駅　阪急千里線吹田駅　豊津駅

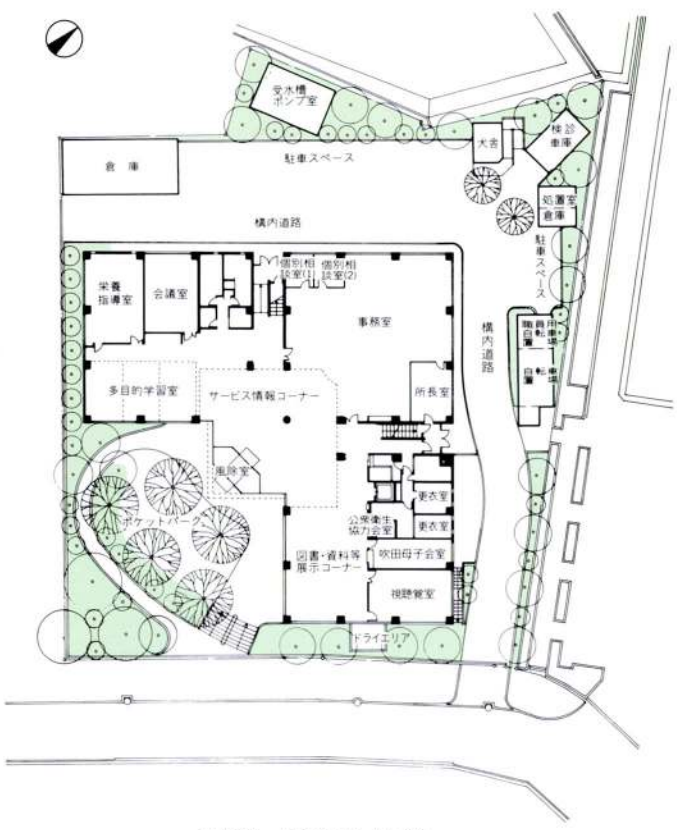
撮　　影　島　修一



南東面外観



南西面を望む



配置図・1階平面図　1：800



ロビー(1F)


待合スペース(3F)

本施設は、従前の保健所、児童相談所の老朽化に伴い、吹田市の文教・福祉施設の建ち並ぶ地域の一画に新しく移転合築された。

保健所は、従来の活動に加え今後の府民のライフステージに応じた健康づくり活動、生涯学習活動を通して保健・医療・福祉等の総合センターとして機能している。

児童相談所は、0才から18才未満の児童を対象として、児童養護の相談、障害児に関する相談等を受け、これに対して、社会調査、心理検査等を実施して個々のケースに応じた援助、指導を行っている。

両施設とも、府民に対して事業活動内容が広くアッピールするよう、また地域住民が気軽に相談を受けられ、健康づくり活動や生涯学習活動に役立つ施設として積極的に参加利用できるよう、広く開放的であり、明るく機能的な施設とした。建物の構成は1，2階を保健所、3階を児童相談所とし、配置計画上では南北の方位が中心軸となるよう建物を配置し南面採光可能間口をできるだけ確保し、さらに中央には大きく開放されたアトリウムを設けた。

特に児童相談所は、合築のメリットを生かし、誰でもがごく自然に来所して、気軽に相談できる一般性を強調し、児童や保護者等の面接時のプライバシーが守られ、リラックスした雰囲気で快適に相談を受けられる施設となるよう計画された。

また、前面道路に接する建物正面、南面にポケットパークを確保し自然を演出する空間を提供するとともにエントランス部分を通してアトリウムに連続する。

ケヤキの木立による木漏れ日が内部に優しく広がり、府民の憩いと潤いの空間であり、施設の生涯学習部門と一体となった利用に活用されるよう配慮した。

（中川猛夫／徳岡昌克建築設計事務所）



3階平面図



2階平面図　1：800



アトリウム

ノバティながの

設計監理　河内長野市・東畑建築事務所
施　　工　鹿島建設・大林組・西松建設共同企業体

所 在 地　河内長野市長野町、本町
敷地面積　〔南館〕 3,063㎡　　〔北館〕 4,472㎡
建築面積　〔南館〕 2,554㎡　　〔北館〕 3,803㎡
延床面積　〔南館〕17,222㎡　　〔北館〕20,119㎡
構造規模　〔南館〕SRC、B1、12F　〔北館〕SRC、B1、5F
工　　期　昭和62年2月～平成元年3月
最 寄 駅　南海高野線・近鉄長野線 河内長野駅

撮　　影　SS大阪


南館屋上庭園



河内長野駅前第一種市街地再開発事業による2つの再開発ビル（ノバティながの）が平成元年4月20日オープンした。

この事業は、駅前に集中する交通機能の円滑な処理と駅前商業機能の活性化により、河内長野市の新しい玄関口を整備しようとするもので、昭和48年建設省採択以来、社会経済情勢の変化による計画の見直し等、幾多の困難を克服しながら、施行者である河内長野市・地元権利者はじめ多くの関係者の協力によって実現したものである。

再開発ビルは、南館――店舗・市民サービス施設・駐車場・駐輪場・住宅（大阪府住宅供給公社・フロンテージ長野）、及び北館――南海・西友を核店舗とする商業施設、の2つのビルからなり、駅前広場を取り囲む形で配置され、歩行者デッキが2・3階レベルで河内長野駅と北館・南館をつないでいる。駅前広場は現在急ピッチで工事が進められており、秋には駅前広場を含む新しい玄関口が完成する予定である。緑あふれる豊かな風土と歴史の街河内長野市の玄関口にふさわしい建物をめざし、次の4つを基本コンセプトとした。

●魅力ある顔づくり

外観は、R面をもつ格子模様のラスタータイルとカーテンウォールの大きなガラス面で構成し、大阪府南部の拠点都市として発展する若々しさと明るさを、また商業施設としての華やかさを表現している。

●賑いのあるショッピング・ゾーンづくり

河内長野駅と駅前広場を囲む2つのビルそして周辺の商店街は、歩行者デッキやビル内のエスカレーター・エレベーター等で有機的につながり、回遊性の高い動線計画となっている。また、この歩行者動線に沿った部分は、外向き店舗やガラス張のオープンな店舗構成とし周辺店舗と共応して夜も明るく、街の「賑い」を演出する。

●安全で親切な建物づくり

複合ビル（南館）と商業ビル（北館）であり、防災上安全な建物とするとともに、ビルのどこからでも駅前広場ごしに向い側の建物が見渡せて、自分の位置が認識できるよう心がけた。

●管理しやすい建物づくり

複数の所有者による区分所有ビル、複数の用途による複合建物となることから、できるだけオープンな店舗構成で運営管理しやすく、また営業時間が異なっても維持管理しやすい建物をめざした。

（河上隆志／東畑建築事務所）

南館全景

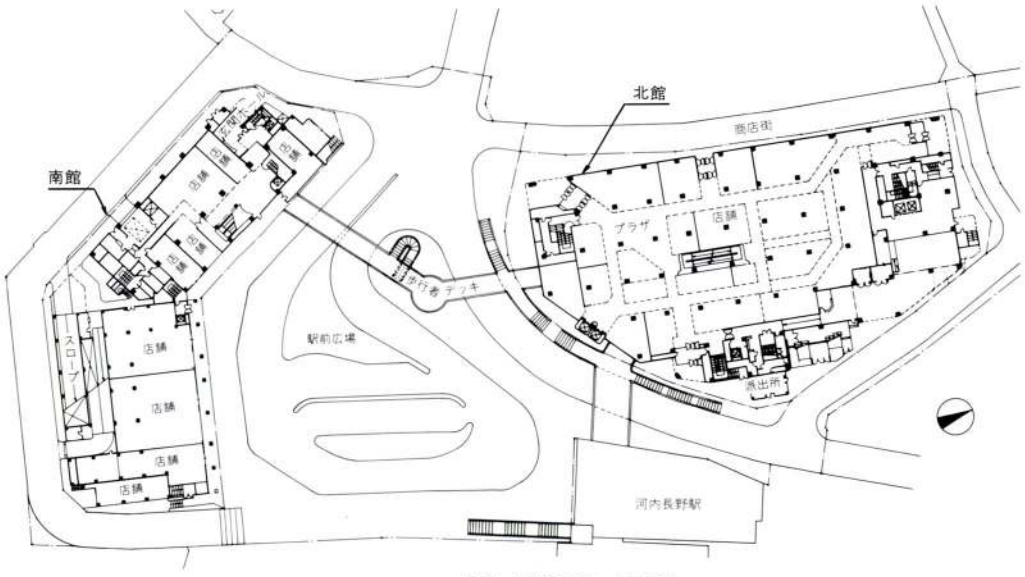


2階エスカレーター廻り



地下駐輪場

北館全景



配置・1階平面図　1：1600



エレベーターホール





北館２階エントランス(夜景)



１階店舗



モニュメント「風」「川の座」



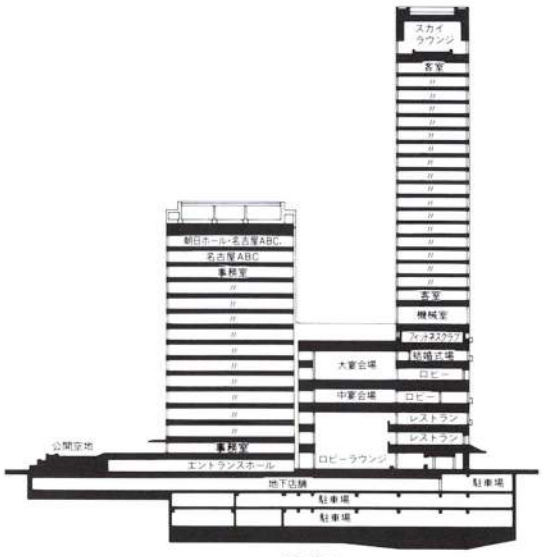
２階店舗



ホテル棟外観東面見上げ



水と緑と彫刻のある公開空地



断面図



全景鳥瞰

AMMNAT SQUARE

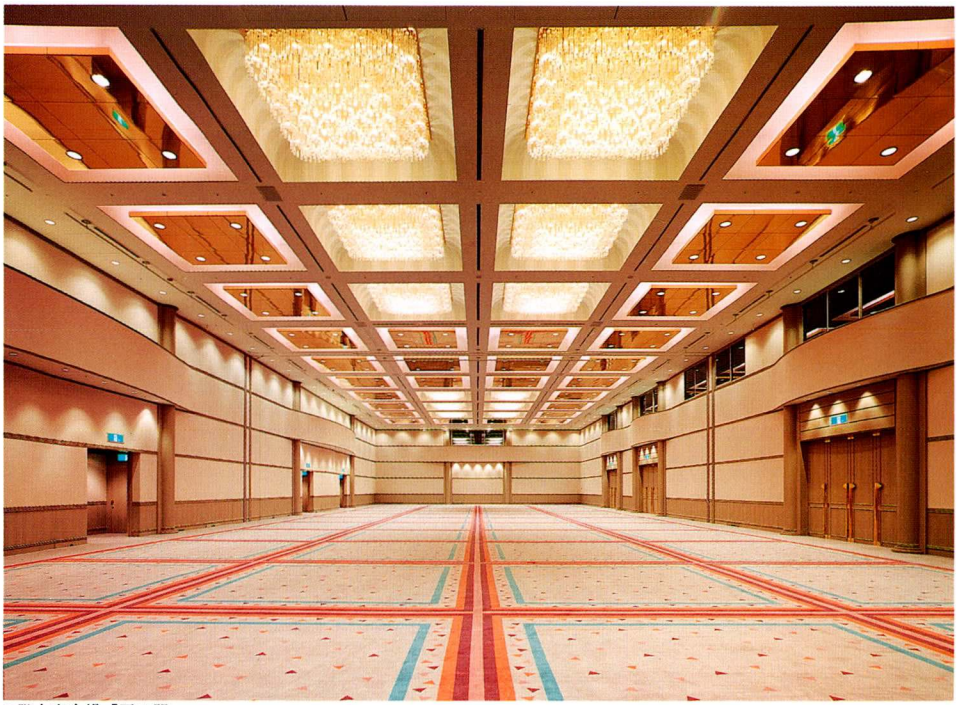
設計監理　三菱地所
設計施工　竹中工務店

所 在 地　名古屋市中区栄1-3-3
敷地面積　10,777.42㎡
建築面積　 7,864.4㎡
延床面積　79,968.7㎡
構造規模　SRC・S、B3F、28F、PI
工　　期　1986年9月～1989年2月
最 寄 駅　JR名古屋駅

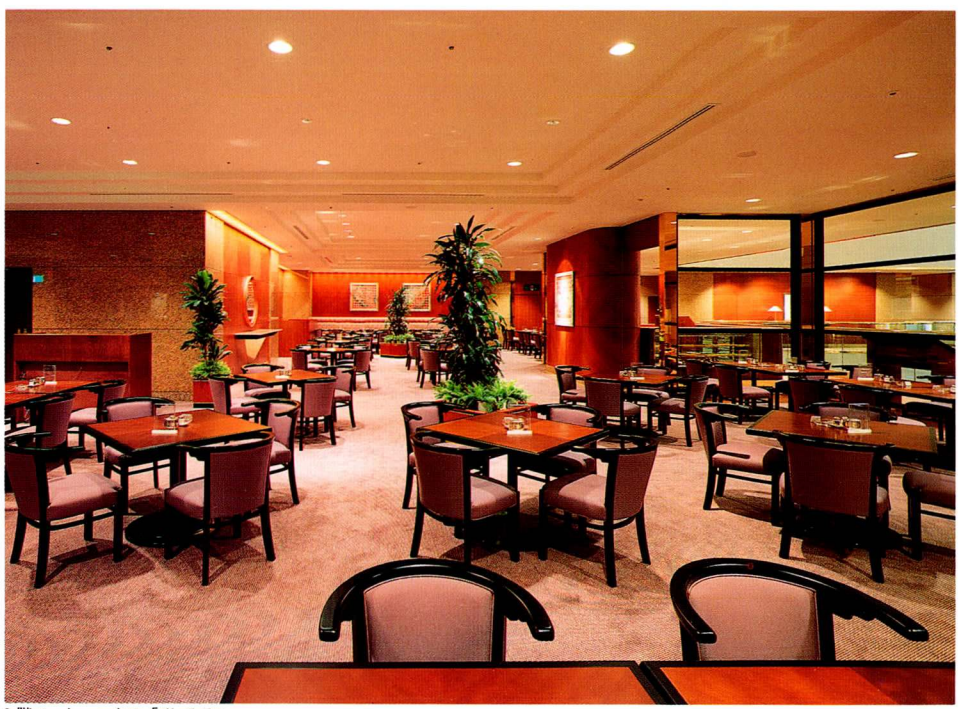
撮　　影　末廣久詔（SS名古屋）



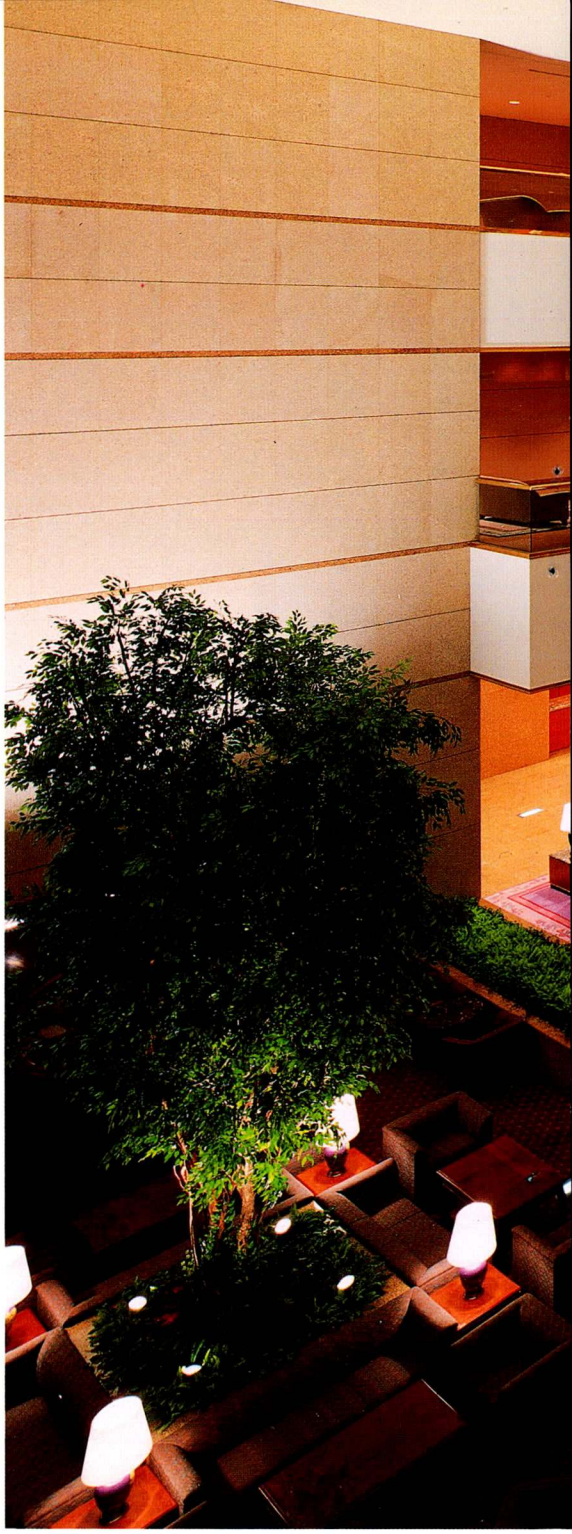
外観北東面（左・ホテル棟：明治生命AMMNATタワー、右・事務所棟：AMMNATビルディング）



5階大宴会場「扇の間」



2階コーヒーハウス「ザ・テラス」



名古屋駅と市の中心・栄を結ぶメインストリート広小路通りに「AMMNAT SQUARE」が完成した。広小路通りは昭和30年代まで多くの市民に親しまれ、〝銀ブラ〟ならぬ〝広ブラ〟という言葉が流行したほど賑いのある街であった。ところがその後、オフィス街の形成、地下鉄の整備、地下街の充実により、地上の賑いを地下へ押し込め、活気のない街へと変貌してきていた。

計画は、広小路通りのかっての賑いを地上に再生し、名古屋都心部の活性化を図ることを目的に、一街区にホテル、オフィス、店舗および新聞社の複合施設を高度にまとめる共同事業である。国際級のホテルを誘致すること、新聞社の発行機能を止めることなく、また将来用に増床可能にしておくこと、区分所有を明確な形にすることなどの諸問題を解決するため、ホテル棟（明治生命AMMNATタワー・高さ110.5m）と事務所棟(AMMNATビルディング・高さ64.5m）のツインタワービルの形態を採用した。

活性化の核となるホテルには名古屋ヒルトンインターナショナルが進出し、早くも新しい「都市のランドマーク」としての地位を築きはじめた。また、建物の周囲に広がる、水と緑と彫刻のある公開空地は、魅力あふれる都市公園として多面的に活用されている。

広小路通り界隈に人が歩きはじめ、再び活気が戻ってこようとしている。

名古屋ヒルトンインターナショナルのインテリアは、「くつろぎ」「やすらぎ」といった心の充足をテーマに温かさと気品のあるデザインでまとめた。ヒルトンには、「その地域の文化を映し出し、建物の内装などにその文化固有のものやデザインを取り入れる」という考え方がある。名古屋ヒルトンでは、各所に日本の伝統的な色彩や文様を配し、日本の情緒を現代的な感覚で表現した。

「AMMNAT」とは、朝日新聞社、明治生命保険、三菱商事、日本火災海上保険、竹中工務店の共同事業者の頭文字をとった。

（浅井康行／竹中工務店）

1階ロビーラウンジ「ザ・ギャラリー」



配置図　1：1500



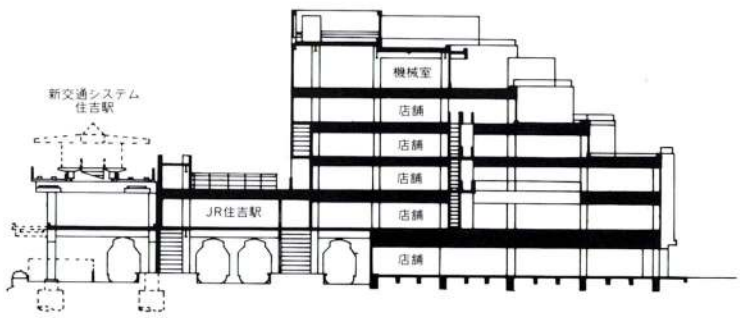
7階フィットネスクラブ・プール

住吉ターミナルビル(Liv)

設計監理　西日本旅客鉄道・安井建築設計事務所
施　　工　飛島建設・鹿島建設・大鉄工業共同企業体
（店舗内装設計施工　船場・丹青）



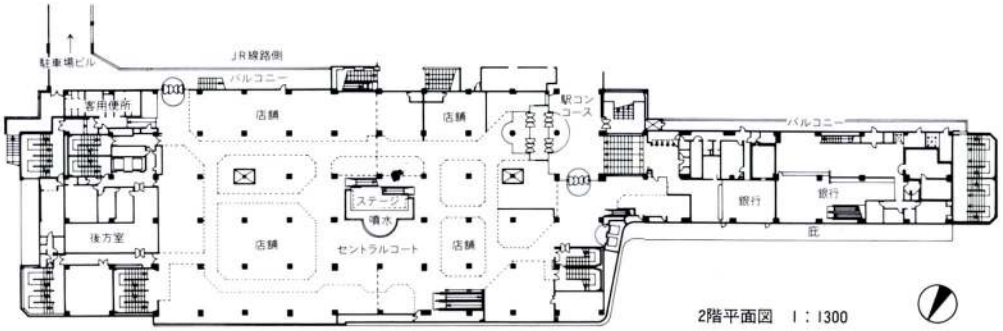

全景鳥瞰



断面図　1：900

所 在 地　神戸市東灘区住吉本町1丁目
敷地面積　10,062.30㎡
建築面積　7,129.44㎡
延床面積　28,477.31㎡
構造規模　S、B1F、6F、P1
工　　期　昭和62年5月～平成元年3月

撮　　影　SS大阪



2階平面図　1：1300

ＪＲ神戸線住吉駅周辺は古くから阪神間の高級住宅地として有名である。近年六甲アイランドの開発とそのアクセスである新交通システムの始発駅がＪＲ駅に隣接して建設されるようになり、そのターミナル性が急速に高まってきている。本年３月にオープンした住吉ターミナルビル（愛称Liv）は、このようなすぐれた立地を背景に建てられた駅ビルであり、キーテナントとして灘神戸生協（愛称Seer）をはじめ、専門店35店、銀行２行、文化教室などからなる複合大型商業ビルである。

このビルの平面計画は、敷地が東西に細長いうえ、東部分と西部分とで敷地の南北幅が極端に違うことから、建物の機能配置を東西で分化させることとした。幅の狭い西部分には、銀行・飲食店街・文化教室等の機能を、東部分には、平面型として幅を必要とするキーテナントや専門店の売場をそれぞれ配置している。

さらに建物東部分については、商業ビルに適したスクエアな平面型に近づけるために、コスト・工法上の問題もあったが南側１スパンを線路上空に跨ぐ計画とし、これにより客廻遊動線の確保をはかっている。

建物立面計画は、この建物が東面で極端に異なるボリュームや形をしていることから、これらに一体感を与えるよう、横連窓サッシとＰＣ版のいずれも曲面型を用いて東西へ流れるように連続させる手法をとっている。

そのほか防災面では、バルコニーや階段の有効配置によってより高い安全性を目指し、設備面では、当社が開発した低温高速ダクト誘引吹出ユニット方式を採用し、ダクト寸法の縮小による低階高の実現に成功した。

オープン以来数ヶ月、出足の順調なこのビルが今後とも新しい住吉の中心として人々に愛され、街の活性化に寄与できることを願ってやまない。

（設楽貞樹／安井建築設計事務所）


2階セントラルコート


2階専門店

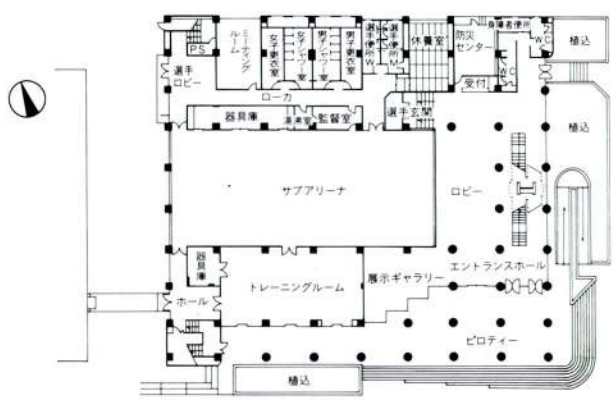

5階ホール

日本たばこ猫田記念体育館

設計監理　ジェイティ不動産大阪支店
施　　工　錢高組・ジェイティ不動産JV

所 在 地　広島市南区皆実町2—224—7
敷地面積　6,116.27㎡
建築面積　2,440.06㎡
延床面積　5,829.32㎡
構造規模　SRC、5F
工　　期　昭和63年3月～平成元年3月
最 寄 駅　JR広島駅(市内電車皆実町6丁目)

撮　　影　国際写真



1階平面図　1：1000



東面外観



ロビー



3階メインアリーナ

敷地は、広島市中心部より南へ約2㎞離れたＪＴ広島工場敷地の一角に位置する交通の便のよい市街地にある。

建物は、ＪＴバレーボール部の育成強化を計ると共に、地元広島が生んだ日本バレーボール界の往年の名セッター故猫田勝敏氏の功績を称え後世にその名を伝えるために建設されたものである。

設計テーマとして、豊かな生活文化の創造に貢献していく企業としてのイメージを表徴すると共に、既設施設と調和した広島市南区にふさわしい“美しい街並みづくり”を目指し、また一般市民にも“使いやすく、親しみやすい”都市型体育館ということをテーマに計画した。

配置計画では、将来開発計画構想を考慮し、① 敷地の有効利用　② 既設バレー合宿所との関連性　③ 入りやすいアプローチ　④ 緑地植栽配置を重点に計画した。

平面計画では、ＪＴ専用練習用体育館機能を前提とし、その上で一般利用者が使いやすく、親しみやすい公共性機能を充足すべきであると考え、次の点を考慮した。

① 選手動線と一般観客動線の明確化　② わかりやすい避難計画

また、猫田メモリアル性を持たせるため、1階エントランスホール1角に展示ギャラリーを設けると共に壁面には陶板によるレリーフによって、ミュンヘンオリンピックでの男子バレーボール金メダル決定の瞬間を表現している。メインアリーナは公式試合用コートが2面充分とれ、観客席（固定席700席）は3ブロックに分けて配置した。

外観は、南面、東面からの視点を重視し、ボリュームのある壁面に圧迫感を和らげ軽快さを持たせるため、壁面にハーフミラーガラス、丸柱及びピロティを採用した。また仕上げはモザイクタイルを使用することにより既設ＪＴ合宿所との調和を計った。　（来山邦男／ジェイティ不動産）



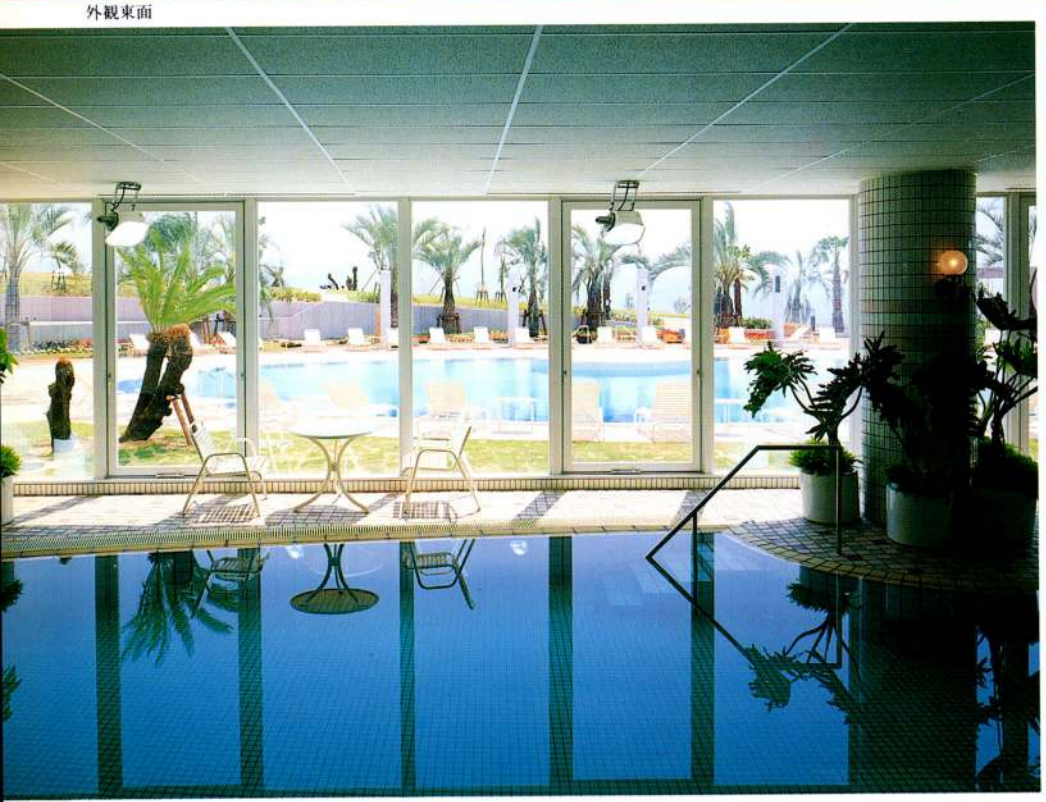
ピロティー

エクシブ白浜

設計監理　日建設計
施　　工　鹿島建設



外観東面


地下1階室内プールより屋外プールをみる

会員ホテル・エクシブ白浜は、北に田辺湾、南に太平洋を望む景勝の高台に位置している。

パブリック施設を1階と地階に設け、2階から7階を客室とした。敷地が全体に南東に傾斜していることを利用して、山側に設けた滝とホテルの間を抜けて正面玄関に至るアプローチとし、地階は東側の庭園に向って広がって続いている。

半径75mを基準とした同心円の円弧によって平面を構成し、客室階の平面とスカイラインには翼を広げた鳥のイメージを持たせ、文字通り「羽根を広げる」リゾートのくつろぎを表現した。

1階には、ロビー、フロント、ラウンジ、レストランを配し、地階には、コンベンションホール、大浴場、室内プール、フィットネス、バーを設けオールシーズン対応可能なリゾートホテルとした。

客室階は、眺望を配慮した片側廊下タイプとし、円弧状に配した客室の内側に廊下を設けることで、効率の高い平面計画を可能にした。

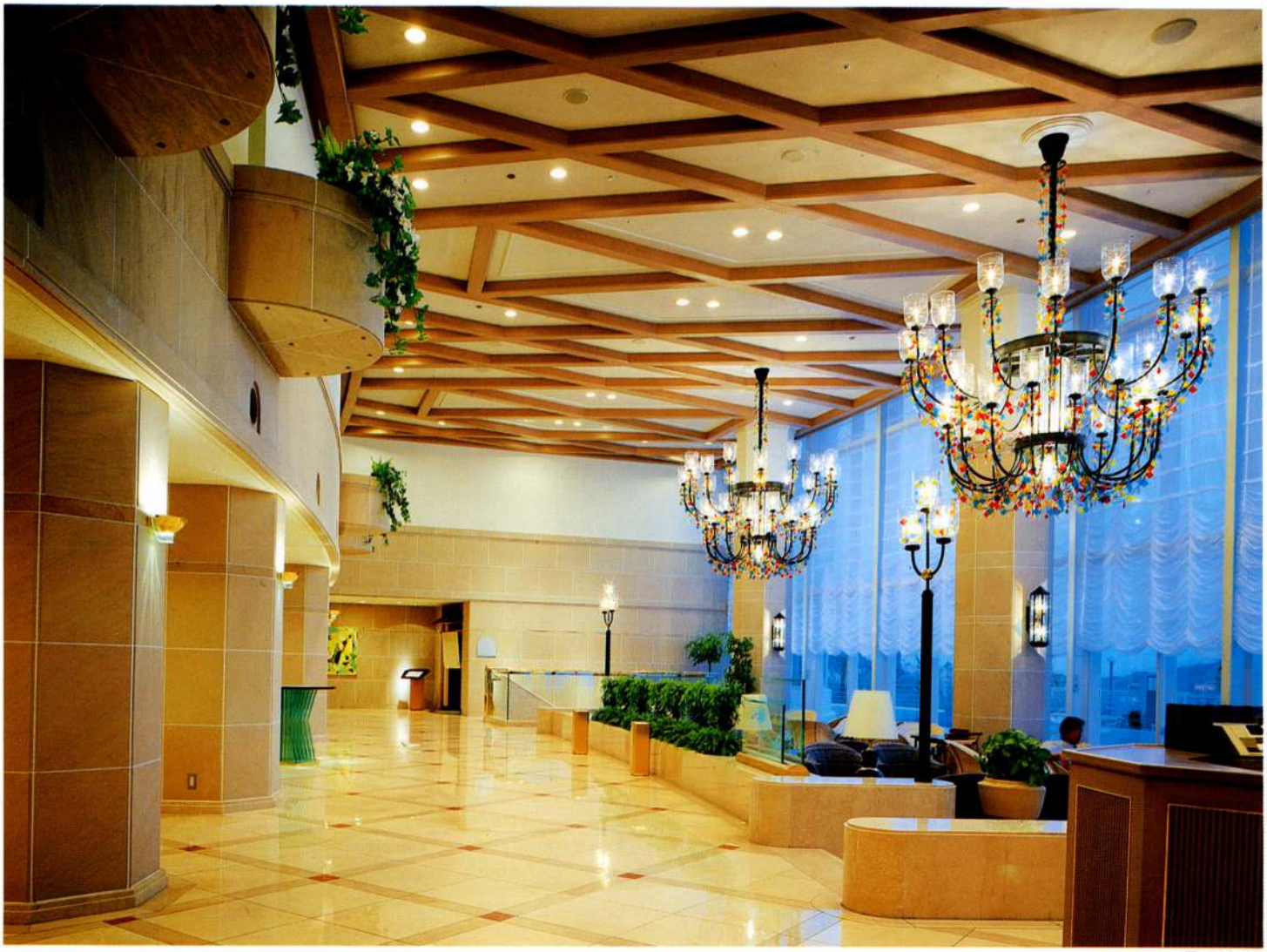
外構計画に於ては、楕円形プールを中心にして、同心円状に構成した、高低差と列柱でプールサイドの領域を意識させ、その外側には、ワシントニアパーム、カナリーヤシ等の南洋系樹種を主とした植栽を行ない、解放感を強めるよう意図した。

（近藤　繁／日建設計）

所在地　和歌山県西牟婁郡白浜町才野字西山1670番地76
敷地面積　20,392.44㎡
建築面積　2,327.15㎡
延床面積　10,714.66㎡
構造規模　SRC、B1、7F、P1
工　　期　昭和63年1月～平成元年3月
最寄駅　JR紀勢本線白浜駅
撮　　影　稲住泰広(SS大阪)



全景



1階ラウンジ



1階ステーキコーナー



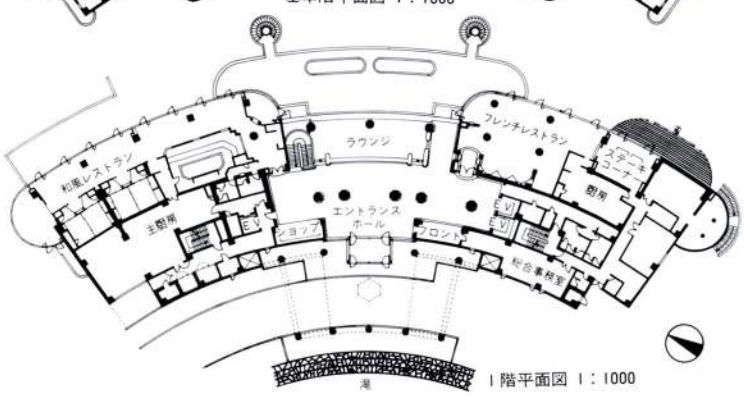
1階フレンチレストラン



1階和風レストラン



基準階平面図 1：1000



1階平面図 1：1000



客室Gタイプ

吉田歯科医院

設計監理　徳岡昌克建築設計事務所
施　　工　徳岡工務店 奥田組共同企業体

当院は、建築主吉田耕一郎氏（広島大学歯学部講師）が帝塚山に帰阪し歯科医院を開業されることになり、ご両親の住まわれていた旧家を共に住まうことが出来るように建て替えたものである。
敷地は、東側の南海高野線・西側の南海本線と路面軌道阪界線に挟まれ南側に住吉大社の緑溢れる森を有する下町情緒の残る緩やかに傾斜した住宅地の一画に位置している。
この建物は、歯科医院と２世帯住宅の構成である。敷地の高低差を利用して歯科医院を北側よりコブシとシラカシの木を抜けるコンクリート打放し階段よりアプローチし、住宅部は東側より既存の松を有した門を潜って台杉・正面左手のナンキンハゼを望みながら玄関に至るように配した。内部プランは、第２層西側に歯科医院部、東側と第３第４層は住居部分となっている。住居側は各戸個別の玄関を持ち第３層廊下のみ往来できることで２世帯間の関係を深くしつつなおかつプライバシーを確保している。また診療室は、各ブースごとの広く開放された窓とブラインドから垣間見るシラカシの木々が精神をリラックスさせる診療空間を演出し、待合室も広いコーナー窓から望む景観は遠く大阪南港の方を見渡せ、コブシやサクラの木々が目に潤いをあたえてくれる。
外壁は、全面に乳白色タイルを張り各層に蒼い帯を入れ歯科医院の「清潔感」のイメージをもたせた。また屋根面にゆるい丸味をとり外壁面を出入りさせることで近隣住宅とのスケール感に違和のないように配慮した。道路沿いには、緑のやさしいプリペットや甘美な香りのくちなしを植えた。
（南　忠之／徳岡昌克建築設計事務所）



配置図・基準階平面図 1：400


北西面外観


南東面外観



北面外観



待合ロビー

所 在 地　大阪市住吉区帝塚山西2-13-2
敷地面積　588.29㎡
建築面積　235.07㎡
延床面積　638.68㎡
構造規模　RC、B1、3F
工　　期　昭和62年11月～昭和63年11月
最 寄 駅　南海高野線帝塚山駅

撮　　影　庄野　啓



診療室

ISUZU
THE ISUZU SPACE STATION













施　主　いすゞ自動車
設　計　SITE(ジョシュ・ワインスタイン)
施　工　丹青社
プロデュース　電通（新沢　淳）
展示場所　横浜　JR桜木町
展示期間　平成元年３月25日～10月１日

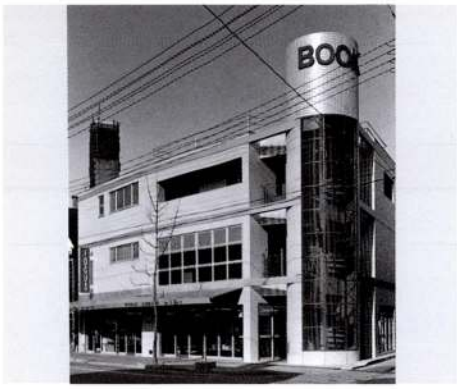
*

企画編集　作品作風小委員会　水川尚彦

横浜・ＪＲ桜木町駅。横浜博覧会期間中、駅は、一企業によってパビリオン化された。駅構内のスペースはもちろん、駅前広場も一体となったものである。
そこにある展示物は、すべて**さかさま**にされている。**「さかさま世界」**のコンセプトは、シンプルである。様々な反応がそこに見られる。さわってみる人、得体のしれないものを見る様に観察する人、よじ登る人、腰かける人。人間の内なる意識が素直な行動となってあらわれてくる。その意味では、ここを通過する人びとも知らぬまに展示物としての役割を果していることになる。博覧会のアプローチとしては、まさに格好の場所となっている。　（水川尚彦）

界世まちかさ

■写真と概要をどしどしお送り下さい。
凡例：a．所在地　b．敷地面積　c．建築面積　d．延床面積　e．構造規模　f．工期　g．最寄駅



2241 千種書房

設　計：マニエラ建築設計事務所
施　工：三井建設
a．兵庫県西宮市南越木岩町
b．206.33㎡
c．158.54㎡
d．412.43㎡
e．S、3F
f．昭和63年4月～昭和63年10月
g．阪急甲陽園線苦楽園口駅



2242 名古屋明徳短期大学

設　計：教育施設研究所
施　工：日本国土・新日鐵建設JV
a．東海市富貴ノ台2－172
b．19,149.23㎡
c．2,866.35㎡
d．4,758.20㎡
e．RC、一部S、1～3F
f．昭和63年2月～平成元年1月
g．名鉄常滑線新日鉄駅



2243 県立淡路病院第三病棟

設　計：兵庫県都市住宅部営繕課
施　工：清水・奥村・淡路土建JV
a．洲本市下加茂1－6－6
b．17,495.43㎡
c．1,525.64㎡
d．6,473.59㎡
e．RC、6F、P1
f．昭和62年11月～平成元年2月
g．加茂橋バス停



2244 ラ・メール北大阪

設　計：安井建築設計事務所
施　工：伊藤忠商事（長谷川工務店）
a．大阪市北区同心町1－4－5
b．1,317.29㎡
c．713.12㎡
d．5,609.74㎡
e．SRC、10F、P1
f．昭和62年12月～平成元年2月
g．地下鉄堺筋線扇町駅



2245 太陽生命御池ビル

設　計：大林組
施　工：大林組
a．京都市中京区虎屋町577－2他
b．674.48㎡
c．599.94㎡
d．5,342.94㎡
e．SRC、S、B2、9F、P1
f．昭和62年11月～平成元年3月
g．市営地下鉄烏丸線御池駅



2246 梅田天祥ビル

設　計：泉沢建築設計事務所
施　工：金山工務店
a．大阪市北区野崎町57
b．327.79㎡
c．290.96㎡
d．3,117.35㎡
e．S、B1、12F、P1
f．昭和63年1月～平成元年3月
g．地下鉄御堂筋線梅田駅



2247 シティーパーク武庫荘

設　計：東海興業大阪支店
施　工：東海興業大阪支店
a．尼崎市武庫豊町3－27－1他
b．7,072.05㎡
c．2,008.25㎡
d．14,084.73㎡
e．SRC、12F
f．昭和63年3月～平成元年3月
g．阪急神戸線武庫荘駅



2248 伊豫銀行内子支店

設　計：三信建築設計事務所
施　工：山本建設
a．愛媛県喜多郡内子町大字内子甲1097
b．653.81㎡
c．267.09㎡
d．474.52㎡
e．RC、2F
f．昭和63年7月～平成元年3月
g．JR四国内子駅



2249 中国短期大学光風寮

設　計：錢高組広島支店
施　工：錢高組広島支店
a．岡山市庭瀬121－3
b．1,388.48㎡
c．832.68㎡
d．1,933.24㎡
e．RC、3F
f．昭和63年9月～平成元年3月
g．JR西日本庭瀬駅

OAビル

OA Building



FUJIKEN

情報化時代のアメニティ・オフィス——不二建設が取り組んだインテリジェントビル

大江ビル

OA Building

リヒト産業株式会社本社
不二建設株式会社大阪本社

設　計　不二建設
監　理　東畑建築事務所
施　工　不二建設

所 在 地　大阪市中央区農人橋1丁目1番22号
敷地面積　1,915.76㎡
建築面積　1,016.00㎡
延床面積　18,341.57㎡
構造規模　B2、16F、P1
工　　期　昭和62年6月～平成元年4月
最 寄 駅　地下鉄中央線、谷町線 谷町四丁目駅
撮　　影　フジタ写真工房

大江ビルは大阪府の官庁街に隣接する谷町四丁目交差点の一角に位置している。
古来より南大江の地名で親しまれてた場所に不二建設大阪本社、リヒト産業本社の共同ビル事業計画の元に建設したテナントを含むインテリジェントビルである。
計画に際しては総合設計制度の採用が可能となり、中央大通りに面する都市の美観に寄与すべく心掛けた。又、21世紀に向って大阪は国際都市として街の再生化が進んでるが、高度情報化社会に対応するオフィス空間のあり方を見直し、快適で創造性を重視したビルを目指した。
扇形のフォルム、ブルーのガラスカーテンウォールのファサードは緑と相まって、直線的景観に、うるおいのある都市空間を提供出来たと思う、そして大江ビルを訪れる人々が楽しく情報の交換を行うことを期待している。　（小西千年）



大江ビル全景

優しく、張りのある曲面のガラスカーテンウォールが、
都市をリフレクションしている。
「時代」そのものを映しつづけるのだという。



大江ビル公開空地

大阪市中央区農人橋、大阪城に近く、
南北を見渡す官庁街に位置して、
関西スパルエリアの情報開発拠点を意図する。





大江ビルエントランス



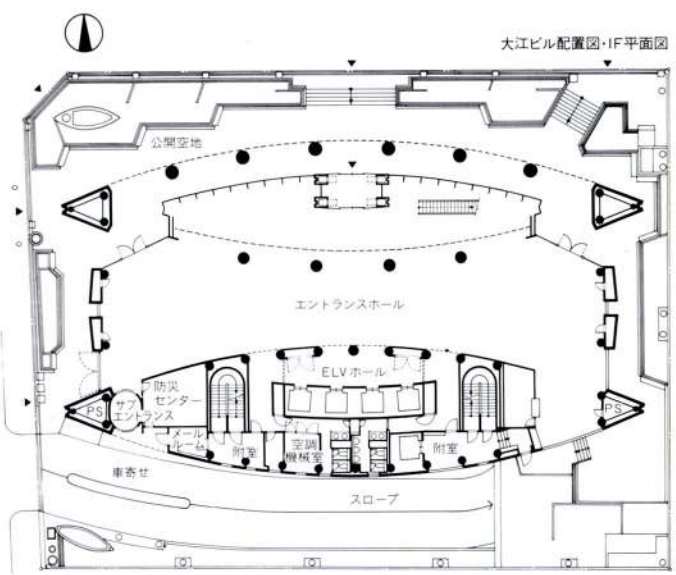
見る、聞く、感じる。
無限の情報宇宙へ、
あらゆる感性の触手をのばして、
いつも「ときめき」を感じていたい。



大江ビルロビー

経済効果だけでは、良否を問いたくない。
環境との関係効果を生み出したい。

大江ビル配置図・1F平面図





不二建設・ロビー

「線」より「系」、
空間づくりは、関係づくりを前提としている。
拓かれた関係の中で、いかに、
自分の創造力を高めるか、
個人の能力は、組織の機能と共生する。

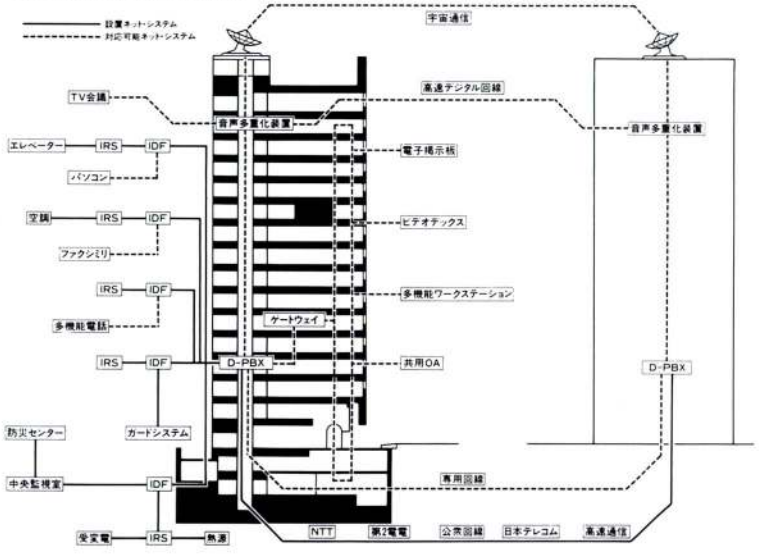
人が主。人の行動を助けるのがオフィス。
「インテリジェント」を
「快適のための情報化」と、訳した。





不二建設・オープンオフィス

大江ビル・インテリジェント系統図



コンディショニングと、セキュリティ・コントロール。
迅速、丁寧に加えて、親切がモットー。
「もっと快適に――」に応える仕掛け。



防災センター

言葉では語りつくせないクオリティ。
数量だけでは把握できない状況。
しかし、映像は雄弁である。



不二建設・AV会議室



基準階フロア

列柱のつくる陰影、
構造の原点は、時代を超えて快い。
機能だけでは、人の心に響かないのだ、
少しづつ、心の構造を究めたい。



D-PBX(MELSTAR)

インテリジェントビルの道具箱、
パンドラの箱にはしたくない。

人と人の関係を優しく包み込む、
「出会い」の空間を考える。
のびやかな英知、しなやかな感性、
共に、良い空間でしか出会えない。



不二建設・社長室



大江ビル夜景

インテリジェントは、
快適のための情報化。

空調設備	朝日工業社大阪支社 大阪市淀川区加島1―58―59	TEL 06(302)2273
電　気	ダイダン大阪本社 大阪市西区江戸堀1―9―25	TEL 06(441)8231
インテリジェント ビルシステム 昇降機設備	三菱電機関西支社ビルシステム部 大阪市北区堂島2―2―2(近鉄堂島ビル)	TEL 06(347)2291

時代のときめき空間をつくる

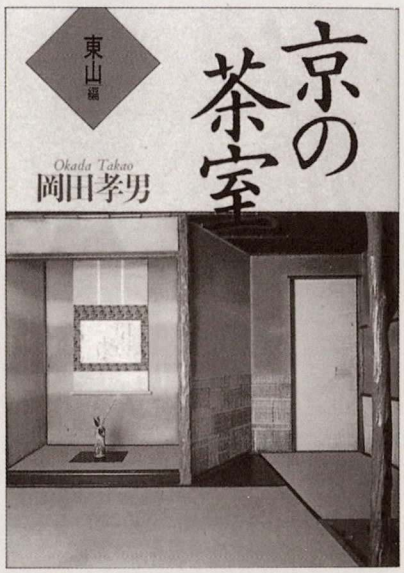
不二建設株式会社

東京本社	東京都新宿区西新宿4-5-2 〒160　Phone 03-377-5171 Fax 03-374-2166
大阪本社	大阪市中央区農人橋1-1-22 〒540　Phone 06-946-2241 Fax 06-946-2317
札幌支店	札幌市中央区北1条西10-1-7 第百生命札幌第二ビル5F 〒060　Phone 011-221-2501 Fax 011-221-2562
名古屋支店	名古屋市東区泉1-21-35 〒461　Phone 052-971-8481 Fax 052-962-7409
福岡支店	福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル7F 〒812　Phone 092-431-0533 FaX 092-431-0583
LOS ANGELES	1127 Wilshire Boulevard, Suite 938, Los Angeles, California 90017, U.S.A. Phone 213-381-7778 Fax 213-381-7997
仙台出張所	仙台市青葉区花京院2-1-11 三和プレシーザ仙台ビル6F 〒980　Phone 022-262-0911 Fax 022-262-0912
千葉出張所	千葉市市場町9-19 千葉新聞社ビル2F 〒280　Phone 0472-22-3051
静岡出張所	静岡市常磐町1-8-6 第百生命静岡ビル8F 〒420　Phone 0542-51-0461 Fax 0542-51-0462
大垣出張所	大垣市南一色町621-1 〒503　Phone 0584-78-2876 Fax 0584-78-2896
京都出張所	京都市右京区西院東中水町7 〒615　Phone 075-314-3211 Fax 075-314-8422
広畑出張所	姫路市広畑区正門通4-9 日商岩井㈱姫路出張所2F 〒671-11　Phone 0792-39-5111 Fax 0792-39-0718
広島出張所	広島市中区東平塚町1-14 第百生命広島ビル6F 〒730　Phone 082-249-7301



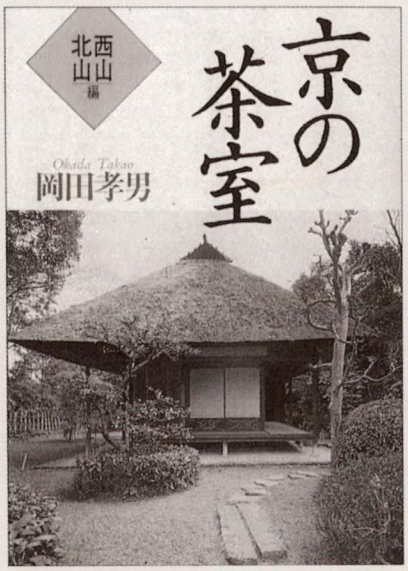
京の茶室（全三巻）　岡田孝男 著

帝塚山学院大学名誉教授



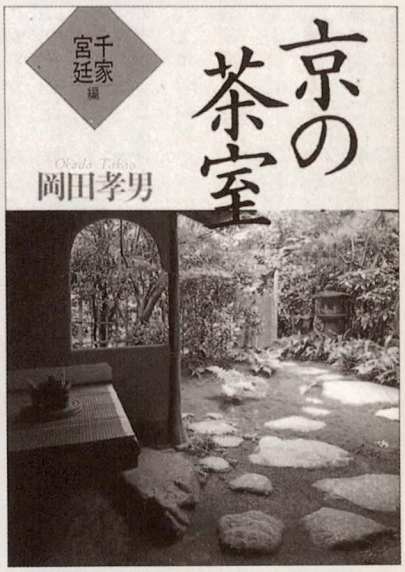
東山編（内容・272頁）

南禅寺の茶室
金地院の八窓の席　慈氏院の看雲席
南禅院の龍淵窟
天授庵の松閑　真乗院の蛍雪庵　本坊の不識庵
建仁寺の茶室
本坊の東陽坊　常光院の道安囲の席
大中院の燕舞軒　禅居庵の龕破の席　正伝院の如庵
高台寺の茶室
傘亭と時雨亭　鬼瓦の席と遺芳庵
岡林院の忘知席と小堀遠州の茶室
東山の茶室
曼殊院の八窓の席　石川丈山の詩仙堂　洛東芭蕉庵
西翁院の淀看の席　銀閣寺東求堂の同仁斎
青蓮院の好文亭　山紫水明処　真葛ヶ原の西行庵
稲荷神社の御茶屋と荷田春満の旧宅
醍醐三宝院の枕流亭と松月亭　八幡の松花堂



西山・北山編（内容・288頁）

西山の茶室
西芳寺の湘南亭　妙喜庵の待庵
水無瀬神宮の燈心亭　厭離庵の時雨亭
北山の茶室
仁和寺の遼廓亭と飛濤亭　等持院の青漣亭
金閣寺の夕佳亭　龍安寺の蔵六庵
高山寺の遺香庵　神護寺の了々軒
大徳寺の茶室
高桐院の松向軒と鳳来　真珠庵の庭玉軒
黄梅院の昨夢軒　聚光院の閑隠席と桝床の席
龍光院の密庵　孤篷庵の忘筌の席と山雲床の席
大光院の蒲庵　玉林院の蓑庵と霞床の席
大仙院の書院と庭　大徳寺の新しい茶室
妙心寺の茶室
桂春院の既白軒　海福院の茶室
相国寺の茶室　**光悦寺の茶室**



千家・宮廷編（内容・288頁）

三千家の茶室
表千家の茶室　裏千家の茶室　武者小路千家の茶室
藪内家の茶室　久田家の茶室　塀内家の茶室
宮廷の茶室
桂離宮の御茶屋　修学院離宮の御茶屋
京都御所の御茶屋　仙洞御所の茶室
本願寺の茶室
西本願寺の茶室　東本願寺の茶室

*

東山編／西山・北山編／千家・宮廷編
各巻A５判・上製・定価3,605円（本体3,500円）
三巻揃（ケース入）定価10,815円（本体10,500円）
学芸出版社　1989年６月刊　TEL. 075-343-0811

こよなく茶を愛し、半世紀以上にわたって茶室の研究を続けてこられた岡田孝男帝塚山学院大学名誉教授（本会名誉正会員）の研究の一端が、このほど、『京の茶室』（全三巻）としてまとめられた。

本書は、昭和26年９月から34年12月まで、あしかけ９年間、雑誌「新住宅」に連載された“草庵巡り”の中からとくに京都の茶室を選び、再調査ののち、大幅に加筆・訂正、収録されたもの。（全三巻の中に収められた茶席は上記のとおり）“全国各地の茶室の「本歌」となるような代表的な京都の茶室約150席”が網羅されている。

本書を開くと、まずはじめに茶室が建てられた歴史的な背景や流れ、ゆかりの人物への考察などがあり、読者をひととき歴史の往時へと誘う。そして茶室の「すがた」について、外観から間取り、窓、床、壁、天井、柱、庭、露地などが静かに描写され、頁ごとに配置された美しい写真と図面を眺めることによって、今度は居ながらにして茶室の中に佇むこととなる。

編集構成上の見事さもさることながら、そこには著者岡田孝男氏の茶室への深い愛と日本の伝統美を伝達されんとする熱き想いが語られている。

代表的な名席については、その広さ、畳、天井、床の間、躙口、窓、鴨居、等々の部材・実測寸法が詳解されており、専門家や茶室を建てんとされる人への好個の書ともなっている。

*

明治31年３月、島根県大田市久手町に生まれた岡田孝男氏は本年91歳。京都大学工学部では武田五一教授の薫陶をうけられ、西欧の近代建築の研究者として活躍。「アルス建築大講座」12巻に発表された石本喜久治との共同執筆「最近建築様式論」は、西欧の新建築を系統的にまとめた本邦初の論考であり、また、創刊まもない雑誌「新建築」の編集にも携わり、グロピウス、ペルチッヒ、メンデルゾーン、アウト等、海外の建築との交流を通じ、その作品を紹介、西欧近代建築の研究者として貴重な役割を果されている。

今日、『京の茶室』（全三巻）を上梓されたが、著者はまた、武者小路千家官休庵の先代家元愈好斎宗匠について茶道を学ばれ、茶歴54年「相伝」を受けられた茶人でもある。すでに、『近畿茶室行脚』・『茶室の話』ほか多数の著作があるが、本書は、なかでも、建築家であると同時に茶人でもある岡田孝男氏畢生の大作であり、「茶室のこころ」を語る書として、後生まで永く伝えられることと思われる。（m）

WELCOMING —明日の建築をになう女子学生たち—

司会　みなさんは学校は違いますが、建築を学んでおられます。まず最初に、建築学科を選ばれたきっかけをお聞きしたいと思います。

建築が非常にオシャレ

中野　私の高校時代は、ブルータスとかターザン等、雑誌に建築が載りだした頃で、建築が非常におしゃれだと思って。絵を書いたり、雑誌を見てわいわいやれる。それに理系と文系が半々でやれるという気がしました。

船原　私は絵が好きで理系がどちらかというと好きなので、それがミックスされた建築がいいと思いました。機械よりは芸術味を帯びているような気もしましたし。

湯村　私は実は美大を目ざしていたのですが、頭が理系向き。理系で美術系という事で建築を選びました。

司会　やはり建築はかっこいいですか。

中野　と思っていました。大きな間違いだったけれど(笑)。最近ファッションと同じレベルで身近に建築を語れる事がおしゃれだという風潮があると思います。

湯村　私の大学はきたないけれど。(笑)

司会　ＣＭに建築家が出ていたりするし…。

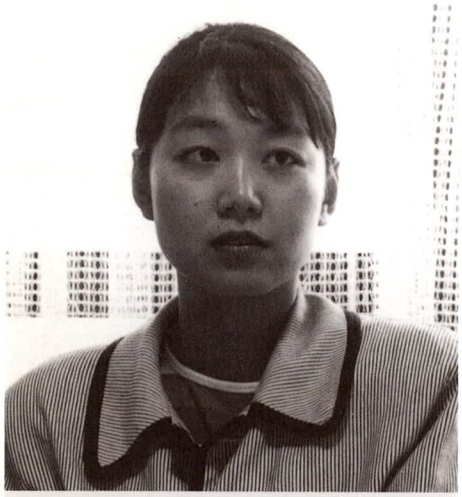
一同　あれはイメージとして大きいと思う。

司会　女性の比率は？

中野　１割を超える位。

船原　⅓位。

湯村　うちは少なくて私を含めて３人です。



湯村直美(摂南大学建築学科４年)

私は今、大学で建築を勉強しています。〝なぜ建築を選んだのか？〟とよく聞かれます。言葉で説明するには少々難しいですが、人間の歴史と共に歩んで来ている物の一つとして、人間の進歩の一つの象徴として存在する建築に私は壮大な人間の夢を感じるのです。

今年の春に、私は１人でヨーロッパ大陸を歩いて来ました。日本とは全く違う歴史を感じ、建築物についても、スケールの大きさとモニュメント性に感動しました。

現在、ゼミで意匠を勉強するにあたり、このヨーロッパ旅行の体験を生かせるようにしたいと思っています。

司会　⅓ですか、学生に戻りたくなります。

大学のカラーが違う ？

司会　では実際入ってみて、どうでしたか？

船原　建築は奥が深くて、考えると留まる所を知らない位。色々考えていくと現実と空想が折り合っていかないような気もしますが、いつも、建築家の考えている事、建築について考えています。だから体力が必要だなと感じます。

中野　私は２回生から３回生になる時に建築を続けようか迷いました。経済なんかやってみようかなと。でも建築は技術がつくからと言われて。４年までやってみようと続けたのです。そしてそれまで見ていたものは建築のうちのほんの表面だとわかってきました。建築は目に見えるデザインだけではなく、その中に人が入って生活しているのだから。

湯村　いろいろ聞くと、大学のカラーがちょっと違うなという気がします。私の大学では最初は構造とか実験などから始めて、意匠は少しだけ。意匠をやりたくても４回生のゼミの一年間だけしかできないのがちょっと…。

司会　今の大学について思うことは？

中野　意匠の考え方が画一化されているような気がします。また、入学後ほったらかしにされますが、消極的に入ってきている学生が多いので、建築について何もわからないまま卒業する人も多いと思いますよ。

船原　課題を提出したら２時間位で点数がつけられて返却されるだけなので……春休みにアメリカの大学を廻ってきたら、広いホールをブースで区切って、課題のプレゼンテーションについて先生と学生が１対１で30分位話し合っていました。そんな雰囲気がほしい気がします。

湯村　うちの大学は、ある程度１人ひとりに説明してくれます。もとは設計事務所にいらした先生なので、施工図を見せてもらったりすると楽しいですね。

今の建築について

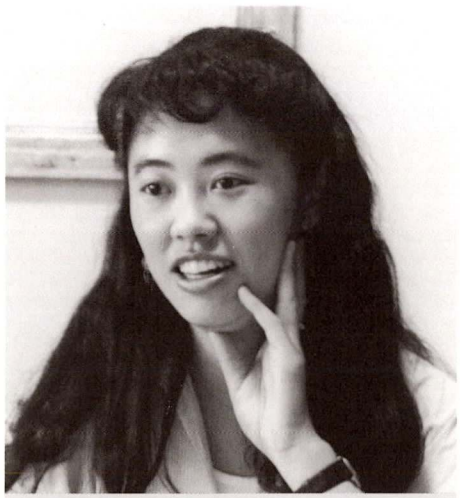
司会　今の建築についてはどうですか。

中野　本来の建築の姿を見失なっているような気がします。

司会　本来の建築とは？

中野　その建築がある事によって生活空間が豊かになり、人間の幸せに貢献する。そんなものだと思うのです。それが今は一部の人のステータスシンボルだったり、流行に踊らされて大衆に媚びているのではないかと思います。インドを旅行して路上に寝ている人を見ると、デザインとかファサードといった次元と違ったもっと重要なものがある気がします。住宅の供給の仕方とか、もっと地道な事にも目を向ける必要があると…。

湯村　一代で住宅が建てられないのは、やはりおかしいと思いますよ。



中野温子(京都大学建築学科４年)

この３年間でやった事。旅行・社会勉強・体力作り。まず旅行——一台のサイクリング車で国内をめぐる。能登、伊豆、西表では星砂の浜で野宿。旅はひとり旅がいい。社会勉強——バイトやボランティアをやりながら、知られざる社会の一面を垣間見る。人脈も広がる。過剰な好奇心も飽きっぽさでバランスがとれている。体力作り——走ること、泳ぐこと、そしてウェイトトレーニング。「究極の建築は人間の肉体である」(J.P.ゴルチェ)ボディ・ビルダーならぬボディ・アーキテクトをめざす。人生、退屈より夢と冒険。そのために失うものが大だとしても。

中野　あまりに社会に経済性が優先されているような気がして、暗い気分になる時があります。

船原　最近、家族についてみても、父親、母親、子供の立場が同じになっているような気がしますが、それと同じで建築も軽くなって、威厳を感じなくなっていませんか。重いものはいけないという風潮のようで。私自身は、フワーと軽いものはあまり好きではないので。

司会　人間性からか私なんかは軽いものにあこがれますが。(笑)

船原　軽いというか雑多な感じ。落ちつけないと言うか。私はもっと落ちつけるものがあってもいいと思います。

中野　変に威厳のある事を強調すると、「建築は男の世界！」といった方向へいってしまう気がしますが。

船原　男の世界と思うからいけなくて、女性も一緒に参加してとけ込んでいくようにすればいいと思います。一方で建築がポピュラーになってきた事はいい事だと思うので。

湯村　ただ建築がポピュラーになった分、みんな、やりたい放題やっているような気はします。芸術性だけを追って、中に入る人の事を考えていないような…。

中野　ファッションデザイナーと同じ感覚。

湯村　使い勝手が悪そうだとか、なぜこのようにしたかわからない建築が多くて。

司会　芸術に走る事は悪いこと？

湯村　ただ根本的な建築というものは、それだけではないと思います。

中野　やはり絵とは違うので、使う人の事も考えないと。

司会　建築家が建築を悪くした？

湯村　そうではないと思いますが、みんなが絶讃している建築が、どうしてこれがいいのかなと思う事がよくあります。

中野　最近、住宅専門に設計している人を訪ねたら、住宅建築は生活の要だから大切だが、時間をかけられないのがつらいと。良心的な仕事をする人が報われないので受けを狙う方向へ走るのだと思いますが。ただ、実際の消費者のすべてが奇抜なものは求めていないと思うので、しばらくしたら、一般の人々の目が肥えて、次にいい方向が見えてくるのではないかと思います。（一同うなずく）

好きな建築家

司会　好きな建築家は？

中野　マリオ・ボッタです。「カーン命」と思った時期もありましたが。単純に感性がいいと。

船原　私はルイス・バラガン、作品で言えば谷口吉生さんの土門拳美術館。あと白井晟一さん。どちらかと言えば、緊張感のある建物が好き。

湯原　私はあまり片寄りがないのですが、フィリップ・ジョンソンとか。日本では石井和紘さん。

今後どんな事をやりたいか

司会　今後どんな事をやっていきたいですか。

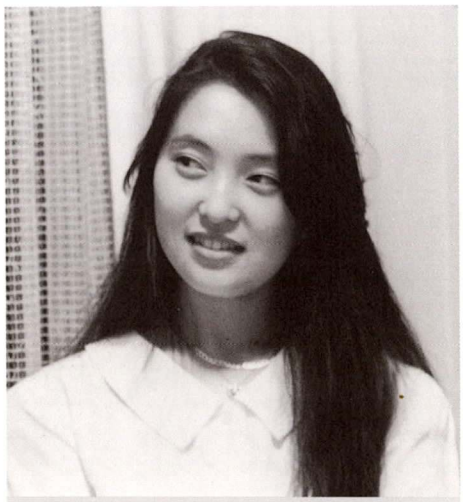
中野　私はとりあえず大学院へ行って、東南アジアにでも行ってみようと思っています。西洋的なものだけでなく、建築に対する視野を広げたい。そうすれば違った意味で建築が豊かになる方向がわかる気がして。

船原　建築は、ひとつ建てるにしても大変な事だと思います。私自身まだまだ勉強不足。使いものになるかどうか。しばらくは勉強の時期だと思っています。

司会　湯村さんはどうですか。やっと意匠の勉強にありつけて。

湯村　4回生で就職の目度もついて。知らない事も多いので、事務所へ入って、盗めるものは盗んでこようと。設計が好きですし、ここまで来たら、もう他には考えられないといった感じです。

司会　そこまで思われてみたいですね。（笑）中野さんは最終的には建築を？



船原洋子（大阪芸術大学建築学科3年）

2年半学んできて今思う事は、巨匠の時代は終ったとされていても、建築家は偉大である、ということです。施主のこと、居住性のこと、商業性のこと、時代性等々、様々な問題をこなされる建築家に畏敬の念を抱いています。〝スピードの時代〟といわれるこの時代、それと共に常に新しいものへとめくるめくように変わっていく建築のデザインは、スピード感があり、大変〝おもしろく〟なっている様です。しかし、この様な時代においても、〝おもおもしい〟建築もつくられてもいいのではないか、とも思うこの頃です。例えば、白井晟一さんのような。

中野　住宅供給みたいな事も考えてみたいです。ただ建築は、やりたい事をやるための手段だと思っています。経済学部卒というよりは、女性として商品価値があるかなと。女性は何か技術を持っている方が強いと思って。

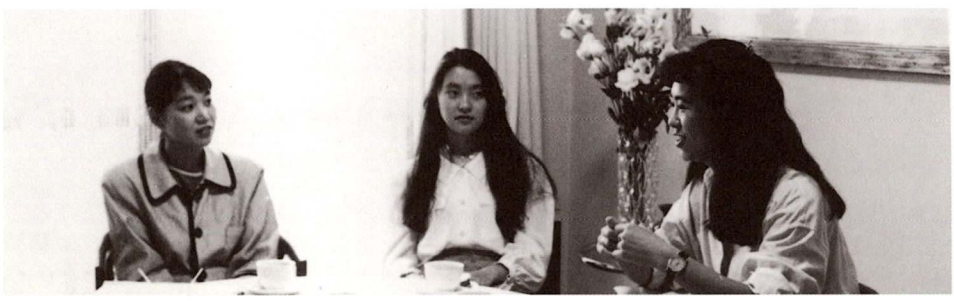
司会　なかなかしっかりしていますね。最近の就職動向も変わってきていると聞きますが。

中野　私の大学では半分位が文系ですよ。商社、証券、銀行、建築はひとつの技術と考えている人が多いと思います。ただ、就職活動している友人に聞くと、こんなに建築業界は保守的だとは思わなかったと言っています。この点だけは声を大にして叫んでこいと言われました。（笑）

司会　個人的には最近の女性進出には勢いを感じますが。

高橋　まだ女性が参加し始めてから日が浅いので、なかなか一度には無理でしょうが、ここ十年でも社会は明らかに変わっていると思いますよ。（一同うなずく）

司会　本日はどうもありがとうございました。



と　き　　平成元年6月20日
ところ　　デザイン・オフィス レイ
企　画　　会員企画小委員会
chairman M.MIZOGUTI
producer K.IMAI
〃 U.SAHEKI
〃 R.TAKAHASHI

無機炭酸カルシウム発泡体

マイルドサンド®

〈マイルド〉シリーズは、現代建築のニーズから
生まれた、プロのための建築材料です。



—— 主な製品 ——

●人工軽量セメント混和用骨材(特許品)
マイルドサンドⅠ、Ⅱ、Ⅲ
(無機炭酸カルシウム発泡粒)
●接着増強剤
エバマイルド
(エチレン酸ビ系)
マイルドテックス
(ＳＢＲ系)
●下地調整剤
マイルドコート
(コテ塗り可能)
●無機系断熱剤
マイルドボード
(無機炭酸カルシウム発泡体)
●ＥＢタイル
(セメント系)
●ＯＡフロアー(二重床)
●高付加価値建設部材(ＨＭＣ構造体他)

株式会社林セメント工業

本社工場 〒684 鳥取市境港市外江町3660番地1
TEL 0859(42)6261㈹ FAX 0859(42)6263
東京営業所 〒170 東京都豊島区東池袋5-7-3 長島ビル6F
TEL 03(988)6241㈹ FAX 03(988)4696
大阪営業所 〒560 大阪府豊中市立花町1-4-1-103
TEL 06(854)7131㈹ FAX 06(854)7132

人工軽量骨材（特許品）　　セメント系

マイルドサンド・EBタイル(EBフレスコ)

株式会社林セメント工業
本社工場／〒684 鳥取県境港市外江町3660番地-1
TEL0859-42-6261㈹　FAX0859-42-6263
東京営業所／〒170 東京都豊島区東池袋5-7-3 長島ビル6F
TEL03-988-6241㈹　FAX03-988-4696
大阪営業所／〒560 大阪府豊中市立花町1-4-1-103
TEL06-854-7131㈹　FAX06-854-7132

●はじめに

無機炭酸カルシウム発泡体、ＥＢ照射は、これからの省エネルギー、または有限的資源の手助けとなるべく、各方面から望まれまた大きくのびるだろうと期待されるなか㈱林セメント工業が独自で開発した画期的なものです。

●マイルドサンドⅠ、Ⅱ、Ⅲ

マイルドサンドⅠ、Ⅱの主材料である無機炭酸カルシウム発泡体は、軽量、不燃、断熱効果の高い発泡体で、主材は炭酸カルシウムで、つなぎ材として、ＰＶＣ、無機繊維素等を若干混入し、発泡成型させます。

この発泡体は、セメント混和材、断熱材等に利用され、各方面で好評を得ております。

●マイルドサンドⅠ、Ⅱ、Ⅲの特長

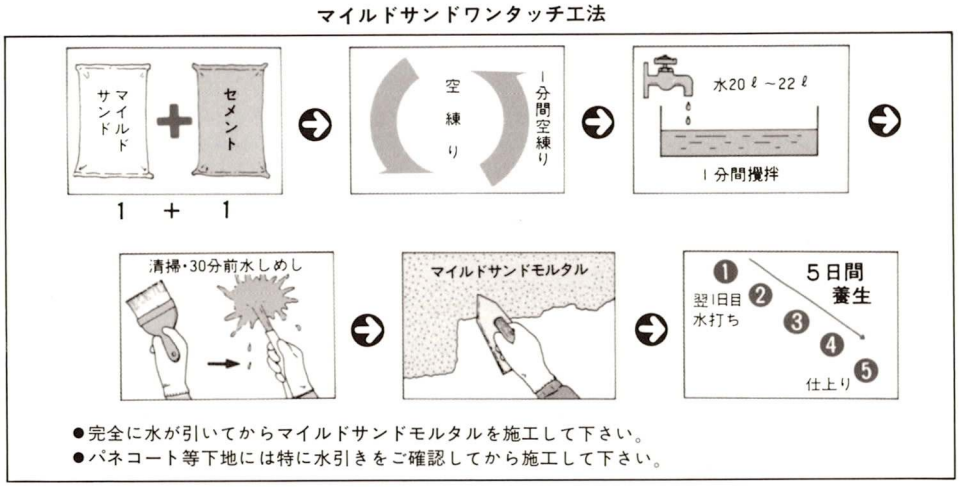
①断熱効果が高い
②不燃性
③コンクリート、モルタル、プラスター等との接着性が極めて良い
④防火構造の認定を得ている
⑤圧力水による透水がない
⑥燃焼ガスの有害性がない
⑦軽くて強い

マイルドサンドⅠ、Ⅱ、Ⅲの物性

■密度範囲：0.02～0.16　■接着力(kg/cm²)

	7日	28日	住宅・都市整備公団
マイルドサンドⅠ	8.6	10.6	6以上
マイルドサンドⅡ	11.4	13.1	
マイルドサンドⅢ	11.3	13.0	
市販品A	3.5	5.0	
普通モルタル（接着剤塗布）	10.3	12.0	

マイルドサンドワンタッチ工法



●完全に水が引いてからマイルドサンドモルタルを施工して下さい。
●パネコート等下地には特に水引きをご確認してから施工して下さい。

●マイルドサンドⅠ(内部用)

発泡スチロールと無機炭酸カルシウム発泡粒を主材とし、これに合成接着剤、増粘剤、繊維素をたくみに配合、特殊処理混合したもので、セメントの特性を補う左官用モルタル混和材です。

●塗布面積

標準平均塗厚	5㎜
塗面積	14㎡

●マイルドサンドⅡ(内・外部用)

不燃材を主材とし、これに合成接着剤、増粘剤、繊維素をたくみに配合、特殊処理混合したもので、セメントの特性を補う左官用モルタル混和材です。タイル下地材等によく使用されており実績のある商品です。

●塗布面積

標準平均塗厚	5㎜
塗面積	9㎡

●マイルドサンドⅢ(内・外部薄塗用)

マイルドサンドⅡ(外部用)とまったく同じであり、マイルドサンドⅡ(外部用)の細かな粉砕粒によりできております。不陸調整が5㎜以下の場合最適です。もちろん外部にも使用できます。

その他、諸成分等の説明はマイルドサンドⅡと同様であります。

標準平均塗厚	2㎜
塗面積	15㎡

（山田幸一／建材委員）



EBタイル(施工例)

●EBタイル(EBフレスコ)

在来の焼成タイルは素焼工程 780℃、48時間、本焼工程1230℃、48時間で一枚ずつ、サヤ詰めを行なってトンネル窯で焼きあげ。１ｔの焼成タイルを作るのに 600ℓの石油が消費されることから、窯業にあっては石油への依存度が非常に高いものといえる。

ＥＢタイル(ＥＢフレスコ)は、セメント系の基材の上に高性能の電子線硬化塗膜を形成させることにより、在来のタイルとはまったく異なった方法で内装、及び外装用の新しいタイルを作り出したものです。

●EBタイルの特長

①表面加工による幅広い壁面表現
②高い寸法精度と加工性
③大版タイルが可能
④従来のタイルでは出せない色が出る
⑤450㎜角、600㎜角、900㎜角の各サイズが出来る。

●優れた耐火性・耐衝撃性

基材は、H·M·C(Hight-Temperatore-curing Meramaine Cement Complex)、G·R·G(Glass Fiber Reinforced Gypsum)で構成されているので、耐火性・耐衝撃性に大変優れています。

法令コーナー

編集委員会法令分科会

239

優良住宅地段階整備誘導計画制度

住宅宅地関連公共公益施設整備助成制度のひとつとして、「優良住宅地段階整備誘導計画制度」が創設された。この制度は、三大都市圏等において、住宅供給を促進しつつ良好な住宅地形成を図ろうとするものである。

創設の背景

適正な価格の住宅へのニーズは、ますます高まってきている。しかし、近年の商業地の地価の著しい上昇に伴い、周辺の住宅地の地価も高騰し、適正な住宅の確保を困難にしている。

そのため、社会構造の転換により生じる都市部における工場用地、老朽住宅団地などの跡地を利用した既成市街地の再開発による住宅供給とともに、都市周辺部などにおける農地、未利用地などでの宅地開発による適正な価格での良質な住宅の供給が強く求められている。

こうした流れのなかで、三大都市圏などの都市近郊の鉄道駅周辺地域などにおいて、住宅建設事業の適切な誘導により、良好な市街地住宅の供給、公園・道路などの施設を整備し、良好な地区整備を図ろうとする「優良住宅地段階整備誘導計画制度」が建設省住宅局により制定された。

制度の概要

●趣旨　この制度は、都市近郊の鉄道駅周辺地域等の住宅開発圧力が高いにもかかわらず、基盤施設の整備が遅れているために開発が抑圧されがちな地区、あるいはミニ開発の進行などにより土地区画整理事業のような地区全域の一体的な整備が困難な地区などを対象とする。

こうした地区について、住宅供給の目標、住環境水準などの誘導指針、公共施設の整備などを内容とする計画（優良住宅地段階整備誘導計画）を策定する。この計画を基本に、住宅宅地関連公共施設整備促進事業*の積極的活用など関連施策を総合的に実施するとともに、民間事業者などの個別開発を適切に誘導し、段階的に市街地住宅を中心とした良好な住宅地整備を図ろうとするものである。

●優良住宅地段階整備誘導地区の要件

1．つぎに掲げる地域に存するものであること。

(1)首都圏整備法に規定する既成市街地、近郊整備地帯または都市開発区域

(2)中部圏開発整備法に規定する都市整備区域または都市開発区域

(3)近畿圏整備法に規定する既成都市区域、近郊整備区域または都市開発区域

(4)住宅不足の著しい県庁所在都市または通勤圏内人口25万人以上の都市の通勤圏

2．当面、50戸以上の住宅建設が確実に行われ、おおむね10年以内に地区内で500戸以上の住宅供給が、連鎖的に行われる地区であること。

●優良住宅地段階整備誘導計画の策定　地方公共団体は、計画を策定しようとするときは、あらかじめ関係権利者等の意向把握、関係行政機関等と調整したうえで、つぎに掲げる事項を定め、建設大臣の承認を受けなければならない。

1．段階整備誘導地区の位置、区域および面積

2．段階整備誘導地区の整備に関する基本方針

3．市街地住宅の誘導指針に関する事項

4．市街地住宅の供給に関する計画

5．地区施設の整備に関する計画

6．地方公共団体による市街地住宅整備のための施策に関する事項

7．その他必要な事項

制度適用の事例

*先に紹介した制度に基づいた調査を、建設省の補助調査として、西宮市の甲陽園地区で進めている。当地区は、地区環境の整備、改善を伴わないまま住宅地開発が進められてきた地区であり、また今後も中小規模を主とした相当量の住宅建設が見込まれる地区である。現状のままで推移すれば環境の悪化も予想されるが、土地区画整理事業などの既存のまちづくり手法の適用が困難な地区であり、こうした課題をもつ典型的な地区として、当地区をとらえている。

制度に基づいて調査を進めているところであるが、現在、その途上にあり、全体像を示しえないので、事例紹介は要点に限らせていただきたい。

●制度活用の動機　当地区は、これまで、住宅開発が進展するなかで、それに伴うべき環境の整備、改善が行われず、特に、道路、公園などの未整備が問題となっている。今後、地区にふさわしい住宅開発を誘導し、同時に地区環境整備を推進するといったかたちで、住宅開発と地区環境整備を関連づけながらのまちづくりが求められていた。

地区のもつ課題の解決を図りながらまちづくりを進めるために、以下の施策の立案を検討しつつ、公共施設の整備および良好な住宅開発の誘導を図ろうとしている。

1．地区整備マスタープランの確立

2．根幹的都市施設整備の推進（都計道路等）

3．住宅開発誘導指針の策定および運用

4．地区施設等の整備の実現

以上のことを実現するため、優良住宅地段階整備誘導計画制度の活用を図るとともに、あわせて地区内における住宅開発事業者などの協力のもとに地区整備を推進したいと考えている。

こうした基本的な枠組のもとに、この制度の要領に基づいて調査を進めてきているが、そのなかで特に問題となる点について触れてみたい。

●市街地住宅の誘導指針　地区内における一定規模以上の集合住宅の建設を対象とし、住戸規模、一戸当たり敷地面積、建築物の高さ、駐車場の設置基準、景観への配慮などについて誘導指針を設ける。このとき、住環境を確保する基礎的な水準を「一般基準」、さらに良好な住環境を確保するためのものとして「誘導基準」を設ける。誘導基準に達している開発については、従来の開発負担の軽減措置を講ずるといった段階的な運用をも考慮した市街地住宅の誘導指針を設ける必要があるのではないかとの検討も進めている。

●公共施設（公園、道路などの地区施設）の整備

中小規模の開発が集積していく地区は、主要生活道路レベルの道路の確保が難しい。そのため、開発に伴う道路の配置計画は、先に掲げた地区整備マスタープランに適合することを基本とする。

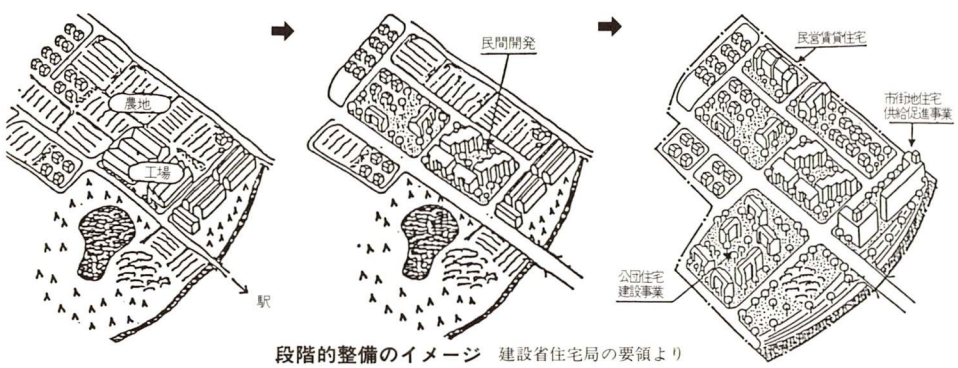
また、公園についても、道路と同様な問題を抱えており、中小規模の開発が集積する地区は、適正な規模のものの適正な配置が難しい。そのため、地区整備マスタープランに沿い、各開発事業の負担を集約して、適正な位置に適正な規模の公園を配置する。

こうした方法の実現化についての検討を進めている。

●今後の課題　ここで紹介した事例は、「優良住宅地段階整備誘導計画制度」を活用させて、まちづくりを推進させようとするものである。しかし調査としては、まちづくり推進の基本的な枠組を示す段階に止まっている。まだ、未整理な部分も多く残されている。たとえば、関係権利者の意向把握や、開発および建築指導、住宅政策、道路、公園事業などの多分野に渡る行政の総合的な調整といったものが課題となっている。

今後、さらに関係機関、関係者と十分な協議、調整を進め、この制度「優良住宅地段階整備誘導計画制度」の有効な活用に努めたい。

（西宮市都市計画課　猿渡彬順）



段階的整備のイメージ　建設省住宅局の要領より

昭和63年度の業務概要

'89床衝撃音レベルデータシートの無料配布について

財団法人 日本建築総合試験所
所 在 地…吹田市藤白台5－8－1 〒565
電　　話…(06)872－0391 FAX…(06)872－0784
業務時間…平日：9：00～17：00
土曜：9：00～12：00（9月より第2、第4土曜休日）

当試験所の業務は、受託試験業務、建築審査・公示検査業務及び受託調査研究・講習会業務に大別されますが、昭和63年度（昭和63年4月1日～平成元年3月31日）の実施概要は次のとおりです。

なお、（ ）内は昭和62年度の実績です。

1. 受託試験業務

昭和63年度の受託試験件数は、前年度比約20%増、また、金額では前年度比約8%増となりました。

（1） 耐火・防火関係試験

防火材料試験の大幅な減少により、前年度に比べて件数で21%減となりました。

a）耐火構造試験…… 48（ 39）件
b）防火構造試験…… 99（ 85）件
c）防火材料試験…… 465（ 656）件
d）防炎性能試験他…… 11（ 7）件
計 623（ 787）件
9,548(9,862) 万円

（2） 構造物関係試験

件数では若干増加しましたが、金額で前年度比6%減となりました。

a）構造物試験…… 55（ 60）件
b）建物診断…… 6（ 10）件
c）施設使用…… 15（ 11）件
d）風洞試験…… 22（ 22）件
e）土質基礎…… 16（ 5）件
計 114(108) 件
13,316(14,121)万円

（3） 音・熱・動風圧関係試験

床衝撃音遮断性能試験の大幅な増加により、前年度に比べて件数で32%増、金額で10%増となりました。

a）音響関係試験…… 564(348) 件
b）熱関係試験…… 118（ 93）件
c）動風圧関係試験…… 93(141) 件
d）グリース阻集器の性能試験…… 9（ 11）件
計 784(593) 件
16,646(15,120)万円

（4） 材料関係試験

件数、金額ともほぼ前年度と同様になりました。

a）有機質材料試験…… 120（ 148）件
b）無機質材料試験…… 935（ 890）件
c）その他…… 22（ 30）件
計 1,077(1,068)件
28,299(28,297)万円

（5） 工事用材料関係試験

大阪府の指導要綱に基づく骨材試料の巡回採取とその試験が2年目に入り、件数で20%増、金額で18%増となりました。

a）工事用材料試験室…… 68,181（ 42,677）件
b）大淀分室…… 70,412（ 60,150）件
c）堺分室…… 72,124（ 68,815）件
d）京都分室…… 27,068（ 24,772）件
e）加古川分室…… 39,159（ 34,468）件
計 276,944(233,438) 件
59,513（ 50,620）万円

2. 企画室担当業務

（1） 建築審査業務

本年度は、国際花と緑の博覧会出展建築物等の評定を行ったこともあり、前年度を大幅に上回りました。

a）建築技術安全審査……28(23) 件
b）国際花と緑の博覧会出展建築物等評定……24（ 0）件
計 52(23) 件
2,730(1,417)万円

（2） 公示検査業務

本年度の件数は、133件（金額984万円）となり、前年度の件数28件（金額207万円）比べて大幅な増加となりました。

3. その他の主な業務

（1） 受託調査研究業務

本年度は2件（4件）を受託実施しました。

（2） 講習会等業務

前年度と同様に大阪府の「コンクリート工法に関する指導要綱」に基づく指定研修を2回実施し、690名（前年度804名）の方が修了されました。

'89床衝撃音レベルデータシートの無料配布

近年、マンションの床を板張りとするフローリング床が人気を集めていますが、一方で床を通して階下に響く騒音が社会問題化しています。

当所はこのほど、各メーカーが開発しているフローリング床板の〝衝撃音遮断性能〟を調べたデータシートを発行し、消費者等へ無料配布を始めました。これは当所が依頼試験の結果をまとめた最新のもので、108点のデータを収録しております。

希望者は、便せんなどに住所、氏名、年齢、職業を明記した申込書と250円分の切手を貼ったB5判返信用封筒を添えて、当所の「床衝撃音データシート係」まで申し込んで下さい。

※ 9月より第2、第4土曜日を休日とさせていただきますので、ご注意下さい。



建築の眼

安田　孝（やすだ　たかし）
摂南大学工学部助教授

八尾　明（やお　あきら）
神戸市住宅供給公社調査役

若林広幸（わかばやし　ひろゆき）
若林広幸建築研究所主宰

南　次郎（みなみ　じろう）
淺沼組大阪本店設計部部長

7月号から12月号まで上記の4氏が執筆

写真は淀川製鋼所迎賓館（旧山邑邸）
設計 F.L.ライト



マイ・プレイスのくに

はじめてロンドンを訪れて一泊したのがペンタ・ホテル。この建物が、お定りの国際様式としてジェンクスの「ポスト・モダニズムの建築言語」にのっていることは後で知った。知人の紹介で移った、すぐ近くの宿はホテル・エデン。ラブホテルのような名前のこの宿はイギリスの伝統的なタウンハウスを改造したと思われるBアンドB。どこでもそうであるように、1階の広間で英国式朝食をサービスしてくれた。てきぱきとしたウェイトレスとアルバイト風の女の子が2、3人働いていた。そのウェイトレスが、立話をして通路をふさいでいるアルバイトの女の子に何か注意をしたようだが、私には聞きとれなかった。わが同伴者はそれを聞きとめて、〝It's my place〟だったという。忙しく働いている人には、邪魔ものは自分の場所を奪うものなのかもしれない。

それから数年後に再訪したときは、コベントガーデンの近くのオダム・ウォークを見学した。都心の高密度集合住宅としてわが国にも紹介されたこの地区の写真をとりながら、ふと見あげると、3階の通路から2人のおばさんが話しかけてきた。「おまえはこの場所（place）が好きか」と言っていた。言うまでもなく簡単な私の返事に、「私達も大変気に入っている」と笑いかけてきた。　（T・Y）

まちのみどり——その1

神戸市の既成市街地は、海と山に挟まれた細長い都市であるので、高層建物の窓から南に大阪湾が北に六甲山が望まれる。私の職場は今春から市街地中心部にある高層建物の12階に移り北側の窓際に席がある。眼前に市街地を見下ろしその向こうに六甲の山並みが迫って見える。丁度、山肌が新緑の淡い緑で覆われている季節であり、清々しい気分で改めて神戸ならではの眺望を楽しく眺め、ここから四季折々の自然の移り変わりを満喫できる喜びを感じた。

正面の山麓部が「異人館のある町並み」として知られている北野町界隈であり、右手の方に新オリエンタルホテルの白い建物が緑を背景にそそり立っている。北野町周辺は、以前、仕事の関係でよく足を運んだ懐かしい所である。この辺りは、神戸市都市景観条例に基づく都市景観形成地域として最初に指定され、さらに、その一部を文化財保護法による重要伝統的建造物群保存地区（伝建地区）の選定も受けている。伝建地区では、現状変更行為を規制する事項の中で木竹の伐採を制限しているのが一般的で、伝統的建造物と樹木が一体となって古い町並みを形成しているとみなしている。従って、庭、生け垣、立ち木なども保存対象となる。窓ごしに見る北野町付近が周辺と比べて一段と緑の多いことがはっきりと確認できたのも当然のことと思われる。　（A.Y）

リゾートって何？——I

リゾートブームの波に乗ってあちらこちらで開発がさかんに行われている。聞くところによると何千というプロジェクトが現在進行中であるという。ところがどうも日本人のリゾート感覚というものは欧米のそれに比べ、あまりにも大きなギャップがありすぎる。最近でこそ週休二日制の企業も増えては来たものの、休暇の使い方は決して旨くはない。どうも日本人が悠悠としていられない原因は住宅事情にあるようだ。とにかく高い。土地も高い。そして何とか手にいれたうさぎ小屋の為に一生働き続け、更に退職金を補充し、気がついたら半分は棺桶の中。学生時代あれほど遊んだ人も、家庭を持った途端に働き蜂に変身する。実は、木造という宿命的建築方法の中に日本人の勤勉さの源泉があるといってしまえば極論すぎるだろうか。つまり社会資本を何千年とかけて蓄積して来たお蔭で、豊かな住環境が現在にあるヨーロッパや、土地がただ同様のアメリカと比べ、日本人は狭い土地にしがみつき、建築を潰しては建て、潰しては建てを繰返す事に、特に疑問を持ってはいなかった。ある意味で世界中で最も建築を消費してきた民族かもしれない。その潜在的な意識が現代建築の中にも変わらずにあるとしたら、日本人が本当のリゾートを楽しめるのはまだまだ遠い先の話ではないだろうか。　（H.W）

建築家はノックがお好き

永い間、建築協会の事業委員をやらせて頂いて来た。中でもここ数年間は見学委員として、数多くの建物を見学させて頂き、その間関係者の方々、特に竣工間際の現場関係者の方々には、作業の最盛期であり最も細心の神経を使う時期に煩しい事をお願いして御迷惑をおかけした事と思う。今後も宜敷くお願いしたい。

さて、見学の際に気付く事であるが、どうも建築関係者はノックが好きな様である。建物の壁、柱はいうに及ばず、床迄コツコツと叩いては首をかしげて考えたり、うなづいて納得されている姿を時々拝見する事がある。どうも仕上げ材料を見るだけで満足せず、下地迄追求して探っておられる様だ。ひどいのになると茶室見学の時でも壁をノックされる方がある。茶室にベニヤ貼の壁があるわけがなく、どうも建築家の癖の様だ。あまり強く叩かれると毀れはしないかと思ったり、又、貴重な時間を割いて見学させて下さった現場関係者の気持を考える時、見学会担当委員として冷汗の出る思いをする事がある。とは言いながら、無意識に壁をノックしている自分を、発見して〝ドキッ〟とする事がある。やはり建築関係者はノックが好きらしい。ゴメンナサイ。　（J.M）

青年技術者のみなさまへ

「建築と社会」平成元年11月号の「第36回青年技術者特集号」の応募について

日本建築協会誌「建築と社会」は毎年「青年建築家特集号」もしくは「青年技術者特集号」を企画し、すでに35回にわたって優秀な青年技術者を紹介してきました。

今回も、「青年技術者選衡委員会」を設けて、選衡の上掲載することにしております。

その選ぶ分野も、建築に携わる技術者層の多面化傾向を考慮して、設計だけに限らず、計画、構造、施工、設備およびその他広く建築に関連する分野から、優秀な青年技術者を選んでその不断の研究努力とすぐれた業績を「建築と社会」に掲載して顕彰することにしております。

ついては、下記応募規定を参照の上、ふるって応募されんことを希望します。

応募提出規定

1．応募される人は満35歳までの青年技術者であって、本会会員に限ること。

2．原則として本会会員であるすいせん者を通じて応募のこと。すいせん者は被すいせん者（青年技術者）の勤務する組織の上司なり上長であること。すいせん者が学校教官である場合はこの限りでない。また本人が組織の代表者である場合は自せんとする。（すいせん用紙は事務局にありますので、ご請求ください）

3．応募者は、設計(住宅・インテリアを含む)、計画（都市計画など)、施工、構造、設備、その他の分野にあって、なしとげたすぐれた実績について、すいせんをうけ、下記の所要の資料を本会に期日までに提出すること。

4．提出された資料は「青年技術者選衡委員会」にかけて選衡する。

5．「青年技術者選衡委員会」において選衡されたものは「第36回青年技術者特集号」(平成元年11月号）に記載するとともに、記念品を贈呈する。

6．提出資料

(1) 略歴

本人の氏名、生年月日、最終学歴、業歴、作品経歴など

(2) 選衡資料

A 資 料

(i) 建築設計の場合（住宅設計・インテリアを含む）
鮮明な写真、配置図および主要平面図、概要、設計要旨、その他設計内容を説明するに十分な資料

(ii) 計画の場合（都市・地域の計画など）
設計図、計画要旨、その他上に準じた資料

(iii) 施工、構造、設備の場合（それぞれの設計計画なども含む）
上に準じた資料

(iv) 上記以外の分野の場合（プロジェクト等の調査・企画・調整、コンサルティング、コーディネイト、プログラミング、部材・材料の開発、造園等、その他）
それぞれにふさわしい資料

B 資 料

上記A資料の各業績において、応募者本人が関与した程度、役割、立場等を明らかにし、A資料中、本人が特に貢献した部分、または力量が活かされたと思われる部分の詳細な説明、考え方および将来的展望などについて、400字詰原稿用紙8枚以内に平易簡明にまとめたもの(必要に応じ図・表を用いて差し支えない)。ただし応募者・本人の執筆に限る。

(3) すいせんのことば

原則として、すいせん者によるすいせんのことば（120字ていど）を添付のこと。自せんの場合は不要。

(注) 「青年技術者選衡委員会」において選衡し、採択されたものについては、後日、本人の写真、青年技術者としてのことば(青年技術者としての抱負、考え方、信念、建築観等々を、400字ていどで執筆）の提出をお願いすることにします。

7．提出期限 平成元年9月5日(火) 厳守

8．提 出 先 日本建築協会「青年技術者選衡委員会」
〒530 大阪市北区梅田1-1-3-2100 大阪駅前第3ビル21階
電話 06—348—0635 FAX 06—348—0634

9．青年技術者選衡委員会（平成元年度）

委員長 長谷部 朔郎（日建ハウジングシステム常務取締役大阪支社長）
委 員 谷 淳之介（東畑建築事務所設計部長）
中嶋 龍彦（中島龍彦建築事務所所長）
藤田 邦昭（都市問題経営研究所代表取締役）
安田 丑作（神戸大学講師）
鵜飼 邦夫（日建設計大阪第二事務所構造部長）
八尾 真太郎（関西大学教授）
井上 良則（竹中工務店設計部副部長）
日根 東治（安井建築設計事務所設備部長）
金田 宏（大林組本店建築工務部担当部長）
徳永 義文（鹿島建設大阪支店次長兼建築部長）

◀昭和63年度事業報告書　自　昭和63年4月1日　至　平成元年3月31日

1．総　　会

（イ）通常総会

6月29日　5時50分～6時5分　於本会会議室

出席者　佐野会長ほか16名

議事　(1)昭和62年度一般勘定事業報告並びに決算報告承認の件
(2)昭和63年度一般勘定事業計画並びに収支予算承認の件
(3)昭和62年度創立70周年記念事業報告並びに決算報告承認の件
(4)昭和63年度創立70周年記念事業計画並びに収支予算承認の件

（ロ）通常総会

2月24日　5時10分～5時20分　於本会会議室

出席者　佐野会長ほか13名

議事　(1)監事1名選挙の件
(2)本部所属評議員19名選挙の件
(3)役員重任承認の件

2．評　議　員　会

（イ）定時評議員会

6月29日　5時10分～5時50分　於本会会議室

出席者　高橋議長ほか39名（委任状共）

議事　(1)理事2名補選の件
(2)昭和62年度一般勘定事業報告並びに決算報告承認の件
(3)昭和62年度創立70周年記念事業報告並びに決算報告承認の件
(4)昭和63年度創立70周年記念事業計画並びに収支予算承認の件

（ロ）定時評議員会

11月30日　5時～5時20分　於本会会議室

出席者　高橋議長ほか46名（委任状共）

議事　(2)理事3名補選の件
(2)平成元年度評議員選出数決定の件

（ハ）定時評議員会

3月23日　5時～5時40分　於本会会議室

出席者　高橋議長ほか44名（委任状共）

議事　(1)評議員会議長、副議長互選の件
(2)日本建築協会細則一部変更の件
(3)副会長2名、理事25名選任の件
(4)平成元年度事業計画承認の件
(5)平成元年度収支予算承認の件

3．支　部　長　会　議

7月9日　4時～5時半　於広島ガーデンパレス

出席者　佐野会長ほか10名

議　事　支部の活性化と本支部の交流、会勢発展等
終了後　中国支部総会、懇親会

参加者　60名

4．理　　事　　会

(1)定例理事会	6回	
(2)常任理事会	5回	
(3)会勢理事会	1回	

5．委　　員　　会

(1)編集委員会	12回	115回
	座談会4回・インタビュー3回	
(2)事業委員会	8回	48回
(3)建材委員会	12回	見学会1回
(4)教育委員会	2回	11回
(5)出版委員会	11回	

委員会　幹事会・小委員会
分科会・打合会等

6．特　別　委　員　会

創立70周年特別委員会	2回
貝塚半田住宅再生委員会	1回
需要者参加型住宅供給研究会	5回

7．新　建　材　検　討　会

4月13日　ハイドロサーム（劣化・吸水抑制剤）
5月11日　ヘーベルDR構法（ALCパネル）
6月8日　ガードフロン（防蝕シート）
7月13日　DRAMIX補強コンクリート無筋土間床工法（SFRC）
8月10日　ソニック工法（ユニットバス・リフレッシュシステム）
9月14日　デビロン（人工芝生）
10月12日　ファイアライト（超耐熱結晶化ガラス）
11月9日　アクリルシリコン塗料原料樹脂
12月14日　フレッシュマスト（吹付タイル面の総合改修システム）
1月18日　フルタイムロッカー（システムロッカー）
2月8日　ボルクレイパネル（防水材）
3月8日　ダンパ（システム天井）

8．講　演　・　講　習　会

建築工事実務講習会（大阪）

12月2日　9時～17時　於建設交流館

科目・講師

●施工計画Ⅰ
金田　宏（㈱大林組本店建築工務担当部長）

●施工計画II
藤井俊彦（大成建設㈱大阪支店建築部技術室長）

●仮設見積
安立　俊夫（㈱大林組本店建築工務部工務課長）

●積算業務
中山　雅博（㈱竹中工務店大阪本店見積部見積課長）

受講者　105名

建築工事実務講習会（広島）

2月3日　9時半～16時半　於八丁堀シャンテ

科目・講師

●施工計画
金田　宏（㈱大林組本店建築工務担当部長）

●仮設見積
古荘　昭憲（㈱大林組広島支店工務部工務課長）

●積算業務
中山　雅博（㈱竹中工務店大阪本店見積部見積課長）

●受講者　120名

「今、なぜ200Vなのか」講演会　於関電会館

クボタ（オール電化）ハウス見学会
於中之島ロイヤルハウジングガーデン

2月9日　1時～4時半

講師　関西電力㈱市場開発部　参加者87名
地域冷暖房関連プロジェクト部長宮本庄三氏

9．話　題　建　築　を　聞　く

橋の博物館―上田　篤氏

5月28日　2時～4時半　於本会会議室

出席者　27名

●建築概要
所在地　岡山県倉敷市児島味野2－3792
建築主　倉敷市
設計監理　上田篤アトリエ＋東畑建築事務所、世界都市研究会
施　工　フジタ工業

りりぱっとはうす―遠藤剛生氏

7月16日　2時～5時　於本会会議室

出席者　56名

●建築概要
所在地　神戸市東灘区住吉東町4－31・32
建築主　株式会社プラネットワーク
設計監理　遠藤剛生建築設計事務所
施　工　大林組

オーク江坂ビル―三谷幸司氏、中澤勝司氏

9月3日　2時～4時45分　於江坂

出席者　48名

●建築概要
所在地　吹田市広芝町10－28
建築主　大林不動産株式会社
設計施工　大林組

新神戸オリエンタルシティ・C3―設計者鎌谷憲彦氏

11月26日　2時～4時　於本会会議室

出席者　53名

●建築概要
所在地　神戸市中央区北野町1丁目
建築主　㈱神戸セントラル開発
設計施工　竹中工務店
主要用途　ホテル、店舗、多目的ホール

ダイキンOSAKAアトリオ―企画者田端　修氏・設計者丹田悦雄氏

12月10日　2時～5時半　於ダイキンOSAKAアトリオ

出席者　47名

●建築概要
ダイキンOSAKAアトリオA
所在地　大阪市東淀川区小松5丁目5－2
地域地区　2種住専
構造規模　RC造4階
ダイキンOSAKAアトリオB
所在地　大阪市東淀川区小松4丁目11－17
地域地区　住居
構造規模　RC造4階

10．見　　学　　会

大徳寺の茶室を訪ねる会

5月21日　1時半～4時半

見学場所　大徳寺、真珠庵の庭玉軒、竜光院の密庵、養徳院の閑雲席

講　　師　帝塚山学院大学名誉教授　工学博士　岡田孝男氏

参加者　30名

讀賣テレビ新社屋の見学

6月18日　2時～4時半

参加者　46名

●建築概要
所在地　大阪市東区城見2－2
建築主　讀賣テレビ放送株式会社
設　計　日建設計・鹿島建設
監　理　日建設計
施　工　鹿島建設

プリズムホール（八尾市文化会館）の見学

7月22日　2時～4時

参加者　30名

●建築概要
所在地　大阪府八尾市光町2－40
設　計　佐藤武夫設計事務所
監　理　八尾市・佐藤武夫設計事務所
施　工　竹中・辻本共同企業体

新神戸オリエンタルシティ・C3見学会

8月23日　10時～1時・2時～4時半

参加者　150名

●建築概要
所在地　神戸市中央区北野町1丁目
建築主　㈱神戸セントラル開発
設計施工　竹中工務店
主要用途　ホテル、店舗、多目的ホール

京都府公館・京都府立府民ホール見学会
9月17日　2時～4時半
参加者　28名
●建築概要
所在地　京都市上京区烏丸通中立売上ル龍前町
設　計　石本建築事務所
監　理　京都府営繕課・石本建築事務所
施　工　鹿島・水島・ダイテツＪＶ

琵琶湖畔に歴史とロマンを訪ねて
10月28日～29日（一泊見学会）
参加者60名
主な見学先とスケジュール
〈第1日〉28日　8：30　大阪出発　10：30　大津出発
●大津プリンスホテル
●坂本の石垣と庭園
●積水ハウス滋賀工場
●近江八幡の近江商人の町なみと八幡堀、ヴォーリズ建築
●彦根城内の楽々園・八景亭、玄宮園
〈第2日〉29日
●彦根城博物館
●米原の滋賀県立文化産業交流会館
●長浜楽市、北国街道
●日本電気硝子高月工場
●関西電力美浜発電所

ＯＢＰキャッスルタワー見学会
11月11日　2時～4時半
参加者　67名
●建築概要
所在地　大阪市東区城見1－4
設　計　日建設計
施　工　竹中工務店・鹿島建設・熊谷組・住友建設ＪＶ

国際花と緑の博覧会
〝大阪市花の休憩所(大温室)〟見学会
2月23日　1時半～3時半
参加者　73名
●建築概要
所在地　大阪市鶴見区緑地公園2（鶴見緑地公園内）
事業主体　大阪市
設計監理　大阪市都市整備局営繕部・日建設計
施　工　竹中工務店

11. 若い会員の集い

「建築工芸と空間」展
■展覧会　作野旦平の創意によるステンドグラス／モザイック／アフレスコ
6月23日～25日　於本会会議室　入場者 119名
■講演会　「建築工芸と空間」―スライド併用―
6月23日　6時40分～9時半　於本会会議室
講師　作野旦平氏
インタヴュア　菅家克子氏
参加者　57名

みどり学習会（第13回）
チンチン電車で帝塚山―〝まち〟、〝みち〟、〝いえ〟のみどりの景ぶらりぶらり―
11月26日　1時半～6時
見　学　1時半～4時　於帝塚山界隈
講演会　4時～6時
講師　大塚守康氏（㈱大塚造園設計事務所所長）
会場　大阪市立西成区民センター
参加者　34名

12. ビデオ映写会

アメリカのウォーターフロント開発
ニューヨーク・サンフランシスコ・サンアントニオ
第1回　3月18日　2時～4時
第2回　〃　25日　1時～3時　｝於本会会議室
第3回　〃　25日　3時半～5時半
内容　ビデオ映写　約1時間30分
ニューヨーク、サンフランシスコ、サンアントニオ　各約30分
（制作：パル、ビジョンプロデュース、発売：総合ビジョン）
参加者　78名

13. コンクール

第34回工高生デザインコンクール
設計課題　カフェテリアのあるポケットパーク
応募数　18校　99点
審査会　10月1日
表彰式　11月19日
審査委員長　東　孝光（大阪大学工学部教授）
入選作　10点（内最優秀1点、優秀2点）

14. 表彰状授与

全国の工業高等専門学校、高等学校、専修学校建築科の優秀卒業生に対し本会会長の表彰状を授与しており、本年3月卒業生のうち177校187名を表彰した。

15. 会誌「建築と会社」(特集号)

4月号　建物の外装リフレッシュ
5月号　都心居住
6月号　中国地方の展望とひろしまの街なみ
7月号　21世紀への照明
8月号　制振
9月号　超高層住宅を考える
10月号　大阪府営繕／集合住宅のリフレッシュ
11月号　第35回青年技術者／800号記念
12月号　讀賣テレビ
1月号　夢をのせる輸送設備
2月号　竹中工務店創立90周年記念／リゾート事情
3月号　色の復権／東海の新建築と伝統技術

16. 出　版

「建築技術選書」姉妹篇
〈プロのノウハウ〉シリーズ
体裁　四六判2色刷イラスト入
定価　1,600円～2,000円
●仕上工事監理のチェックポイント
●ゼロ災への道
●木造住宅のしくみ

17. 午餐会・懇親会等

在阪建築8団体会長午餐会
11月8日　0時～2時　於大阪ガスビル8階
出席者　各会正副会長、支部長、事務局　計20名
建築関係団体合同忘年懇親会
12月14日　於太閤園ダイヤモンドルーム
出席者　315名
建築8団体合同新年交礼会
1月4日　2時～3時　於大阪コクサイホテル
出席者　544名

18. 会計監査

5月9・10日の2日間
太田昭和監査法人によって、昭和62年度の会計監査実施

19. 委託業務の受託

需要者参加型住宅供給の基礎調査研究
（大阪府住宅供給公社）

20. 資料の公開

本会保有の雑誌、文献、調査報告書、単行本、写真などの資料を会員利用の便に供するため、9月1日より資料公開をスタートさせた。なお、未整理のものについても、鋭意整理分類を急ぐ。閲覧……無料。

21. 本会が入会している団体

大阪商工会議所
大阪市街地再開発促進協議会
関西経済連合会
建築行政協会大阪市支部
建設関係公益法人協議会（建設省所管の社団財団）
建築国際連絡協議会　5団体　事務局：学会
建築関係団体連絡会　80団体　〃　：建築センター
四会連合工事請負契約約款委員会
大阪住宅振興協議会　24団体　〃：大阪住宅センター
大阪府社会保険協会
大阪市北区納税協会
大阪市防火管理協会

22. 本会より役員を送っている団体

大阪商工会議所	2号議員
大阪市街地再開発促進協議会	理　事
日本建築総合試験所	理　事
日本建築センター	評議員
大阪建築防災センター	理　事
大阪住宅センター	理　事
世界デザイン会議運営会	理　事

23. 建築クラブ

会員有志の組織する建築クラブでは毎月大阪グランドホテルにおいて講師を招き朝食会を行うほか、1月には新年宴会（晩餐）を開催して相互の親睦をはかっている。また、適宜見学会を行う。

24. ゴルフ同好会

会員のゴルフ同好者をもって組織し、年間5回の定例競技会を開催して、ゴルフを通じて会員相互の親睦、研鑽を図っている。

25. 後援または協賛した会

□建物の結露とカビ　その被害と防止対策
主催　㈱アローフィル
4月26日　於大阪府商工会館
□ＪＩＡ市民大学夏期講座（都市希望学）
主催　新日本建築家協会近畿支部
7月～8月の間、6日間　於綿業会館
□レム・コールハース建築展・講演会
主催　GALLERY・MA運営委員会
10月14日　於テイジンホール
□SOM最新建築作品展
主催　SOM

10月20日～22日　於綿業会館
□「新しい鋼構造の設計に向って」講習会
主催　日本建築学会近畿支部

11月２日　於大阪科学技術センター
□第４回高槻の街づくりセミナー
主催　高槻商工会議所

11月25日　於西武ＳＣバンケットルーム
□第11回情報システム利用技術シンポジウム
主催　日本建築学会

３月15日～17日　於建築会館ホール
□建築物のリニューアルに関する諸問題と解決事例シンポジウム
主催　日本建築学会近畿支部

３月17日　於建設交流館
□昭和63年度１級・２級建築工事技術者試験受験準備講習会（全国各地）
主催　財団法人地域開発研究所、建築施工管理技術研究会
□第８回大阪都市景観建築賞（大阪まちなみ賞）
主催　大阪府・大阪市・大阪府建築士会
●表彰式・記念講演

11月25日　於建設交流館
□'89世界デザイン博覧会・建築設計競技
主催　日本建築士会連合会ほか
応募締切'89年５月31日　表彰７月29日（予定）

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

創立70周年記念事業

昭和63年度事業報告・決算報告

本年度は前年度よりの継続事業として下記の事業を行い、記念事業総てを終了した。

■住宅資料集

「住宅近代化への歩みと日本建築協会」の発行

本会は大正11年９月、日本で初めて現地に実物住宅を建設展示する住宅改造博覧会を現箕面市桜ヶ丘で開催し、単に実物住宅の展示だけでなく、約15,000坪の敷地に博覧会本館、屋外映画館、飛行塔、テント村などを含む大博覧会として実66日間、延べ７万人に上る観客を集めた。また、25戸の展示住宅のうち、10戸は今なお現地に健在で、現在も、良好な住宅地の中で異彩を放っている。

今回、博覧会前後の社会情勢や住宅近代化への道程、出展作品をはじめ、当時協会が行った設計コンペ入選作の紹介などを集録した。

Ａ５判　174頁（昭和63年５月出版）
定価　1,500円

■住まいの絵本

「なっちゃんのたんじょうび」の発行

本会創立70周年記念事業ならびに大阪市のＨＯＰＥ計画（21世紀都市居住イベント構想）の一環として発行したこの絵本は、次代を担うこどもたちの住まいへの関心を高め、豊かで美しいまちづくりを支える住居観、住意識を育てるため、都市居住の魅力をテーマに、一少女の誕生日の一日を描いたもの。

文と絵　川村みづえ
Ａ４判変形　32頁　（昭和63年６月出版）
定価　上製本　1,00円　普及本　600円

収　支　内　訳　表

平成元年３月31日現在

（収入の部）

科　目	予　算　額	決　算　額	差　異
住まいの絵本頒布収入	5,300,000	5,004,850	△ 295,150
住宅資料集収入	1,000,000	1,033,675	33,675
雑　収　入	30,000	170,297	140,297
前期繰越金	9,302,837	9,302,837	0
合　計	**15,632,837**	**15,511,659**	**△ 121,178**

（支出の部）

科　目	金　額	決　算　額	差　異
住まいの絵本出版諸費	5,300,000	4,845,240	△ 454,760
住宅資料集　〃	2,500,000	2,905,211	405,211
会　合　費	1,500,000	0	△1,500,000
事　務　費	1,000,000	1,038,850	38,850
予　備　費	5,332,837	0	△5,332,837
一般勘定繰入額	0	6,722,358	6,722,358
合　計	**15,632,837**	**15,511,659**	**△ 121,178**

日本建築協会創立60周年記念事業・Ａ５判
建築技術選書　企画：日本建築協会　発行：学芸出版社

1 茶室の話／岡田孝男
2 ビルの省エネルギー／中村猛
3 マイコンによる構造設計のすすめ（改訂版）／魚木晴夫
4 都市の下水処理／松永一成
5 すまいの語録／茶谷正洋
6 コンクリート工事の管理／奥島正一
7 構造計画とやさしい力学１／須賀好富
8 建具の知識と意匠／山片三郎
9 エレベータ・エスカレータ立体駐車場／木村利雄
10 構造計画とやさしい力学２／須賀好富
11 建築と設備の接点１／日建設計「接点」研究会
12 ソーラーハウス／内山武夫
13 医院・診療所の計画と設計／池田有隣・船越暉由
14 設計のコンピューター手法／飯塚英雄
15 ＰＣ建築の話／下伊豆隆三
16 石垣と石積壁／窪田祐
17 基礎と地盤の手ほどき／中堀和英
18 ショッピングセンターの計画／西脇顕正
19 住宅設計とインテリア／福岡喜久雄
20 タイルの話／田中弘
21 住宅の家具／光藤俊夫
22 建築と設備の接点２／宮脇毅・久保富士治
23 設備技術者のための建築再入門／光安義光
24 鉄骨構造の話／金多潔・甲津功夫・西沢英和
25 建物の断熱と防湿／宮野秋彦
26 建物と地震災害／竹内吉弘・島田耕一
27 建築積算業務／生島道春
28 建築金物の知識／立野一郎
29 瓦と屋根構造／佐藤滋朗
30 住宅三備心得帳／平田純一
31 住宅のエレクトロニクス／監修　小林郁
32 建築塗装の手引き／児島修二
33 建築式典の実際／若林嘉津雄
34 建築設計と高齢者・身障者／吉田あこ
35 高層集合住宅の維持管理／福嶋孝之
36 日本壁／山田幸一
37 身近な耐震設計法／前川陽一
38 住宅の照明／住宅の照明執筆グループ
特装本● 火災安全学入門／岡田光正

日本建築協会創立60周年記念事業「建築技術選書」姉妹篇・四六判２色刷
〈プロのノウハウ〉シリーズ　企画：日本建築協会　発行：学芸出版社

ＴＱＣから見た建設業／荒木睦彦
躯体工事監理のチェックポイント100／須賀好富
パソコン会計術／西部明郎
建物の値打ちの高め方ビル・マンションの新しい評価法／小林清周
空調設備のトラブル50／建築設備トラブル研究会
衛生設備のトラブル50／建築設備トラブル研究会
現場マンのアイデア発想／合原一夫
建築基準法の実際／矢吹茂郎
工務店の税金対策100ポイント／建設税務研究会
工業化住宅・考これからのプレハブ住宅／松村秀一
鉄骨工事の現場学／石田満裔
建築紛争の実際／岡本辰義
仕上工事監理のチェックポイント／日建設計監理業務研究会
ゼロ災への道建設現場の安全管理活動／表　一郎
木造住宅のしくみ在来工法の基本と応用／浅野平八・東敏博
コンクリート工事のチェックポイント100（近刊）／加賀秀治
インテリアコーディネート100（予定）／町田アカデミー
建築基準法を読みこなすコツ（予定）／高木任之

日本建築協会創立70周年記念事業・Ｂ５判
選書特装版　企画：日本建築協会　発行：学芸出版社

構造コストと経済設計／須賀好富
新・建築と設備の接点／宮脇　毅・南部　武
建築設備の健康診断／牧野　茂
外壁構法チェックリスト／飯塚五郎蔵
建築と緑（近刊）／瀧　光夫
デザイナーが学ぶ構造計画（近刊）／須賀好富
場所打ち杭の設計と施工（近刊）／阪口　理

一般勘定
収支内訳表

平成元年3月31日現在

収入の部

（単位：円）

大科目	中科目	予算額	決算額	差異	備考
会費収入		**69,242,000**	**66,730,243**	△ **2,511,757**	
	個人正会員(本・支部)	29,640,000	26,743,637	△ 2,896,363	
	個人正会員(地方)	1,530,000	1,834,350	304,350	
	団体正会員	38,000,000	38,044,556	44,556	
	準会員	72,000	107,700	35,700	
事業収入		**81,500,000**	**88,391,467**	**6,891,467**	
	会誌収入	66,500,000	70,253,511	3,753,511	
	契約約款売上収入	2,000,000	2,470,370	470,370	
	会員名簿収入	0	0	0	
	建築技術選書収入	4,500,000	5,921,372	1,421,372	
	集会収入	1,500,000	1,708,000	208,000	
	講演講習会収入	2,000,000	3,210,754	1,210,754	
	雑入	5,000,000	4,827,460	△ 172,540	
寄付金収入		**700,000**	**600,000**	△ **100,000**	
雑収入		**2,000,000**	**2,214,250**	**214,250**	
借入金返済積立預金取崩収入		**4,200,000**	**4,200,000**	**0**	
創立70周年記念事業資金繰入額		**0**	**6,722,358**	**6,722,358**	
収入合計		**157,642,000**	**168,858,318**	**11,216,318**	

支出の部

大科目	中科目	予算額	決算額	差異	備考
事業費		**80,200,000**	**86,808,190**	**6,608,190**	
	会誌発行費	64,000,000	67,671,338	3,671,338	
	契約約款費	1,500,000	911,700	△ 588,300	
	会員名簿発行費	0	0	0	
	建築技術選書諸費	3,400,000	4,321,488	921,488	
	集会費	2,000,000	2,498,736	498,736	
	講演講習会費	1,500,000	2,780,727	1,280,727	
	教育振興費	1,200,000	1,193,738	△ 6,262	
	助成金支出	1,600,000	2,063,907	463,907	
	雑費	5,000,000	5,366,556	366,556	
管理費		**68,500,000**	**66,389,846**	△ **2,110,154**	
	給料・手当	48,700,000	49,449,830	749,830	
	退職金	1,000,000	0	△ 1,000,000	
	福利・厚生費	5,700,000	5,541,407	△ 158,593	
	会議費	1,400,000	1,102,703	△ 297,297	
	旅費交通費	300,000	333,020	33,020	
	通信運搬費	1,200,000	1,079,460	△ 120,540	
	集金費	1,400,000	1,304,540	△ 95,460	
	消耗品費	300,000	389,916	89,916	
	修繕費	100,000	28,500	△ 71,500	
	印刷製本費	350,000	303,900	△ 46,100	
	光熱水料費	300,000	239,093	△ 60,907	
	火災保険料	50,000	14,750	△ 35,250	
	租税公課	2,200,000	1,903,200	△ 296,800	
	清掃費	200,000	155,000	△ 45,000	
	借入金利息	800,000	670,000	△ 130,000	
	管理費	3,900,000	3,500,557	△ 399,443	
	雑費	600,000	373,970	△ 226,030	
借入金返済支出		**4,200,000**	**4,200,000**	**0**	
退職給与引当預金支出		**3,000,000**	**3,000,000**	**0**	
基金繰入		**700,000**	**600,000**	△ **100,000**	
減価償却費		**100,000**	**94,500**	△ **5,500**	
雑損失		**0**	**4,420**	**4,420**	
記念事業積立預金支出		**0**	**6,722,358**	**6,722,358**	
予備費		**942,000**	**0**	△ **942,000**	
支出合計		**157,642,000**	**167,819,314**	**10,177,314**	

差引当期剰余金　1,039,004

貸借対照表

平成元年３月31日現在

（単位：円）

科目	金額	科目	金額
（資産の部）		（負債の部）	
流動資産	**42,739,722**	**流動負債**	**26,427,578**
現金	74,527	未払金	9,846,844
普通預金	12,190,861	前受金	16,303,383
郵便振替	4,546,230	その他	277,351
未収金	20,848,960	**固定負債**	**22,094,499**
仮払金	3,899,536	長期借入金	15,700,000
前払費用	1,179,608	退職給与引当金	6,394,499
固定資産	**251,503,760**	**基本金**	**269,803,364**
土地	59,800,000	基本金	9,247,176
建物	191,120,000	基金	9,636,188
什器	583,760	会館基金	250,920,000
投資	**39,494,746**	**剰余金**	**15,412,787**
金銭信託	10,820,842	記念事業積立金	6,722,358
貸付信託	15,000,000	前期繰越剰余金	7,651,425
中期国債ファンド	3,951,546	当期剰余金	1,039,004
退職給与積立預金	3,000,000		
記念事業積立預金	6,722,358		
合計	**333,738,228**	**合計**	**333,738,228**

有形固定資産の償却費累計額 528,800円

財産目録

平成元年３月31日現在

（資産の部）		
流動資産		**42,739,722**
１．現金、預金		
(1)現金（手許有高）	**74,527**	
(2)普通預金	**12,190,861**	
三和銀行 瓦町支店	7,126,210	
大和銀行 北浜支店	969,501	
住友銀行 高麗橋支店	1,611,353	
中央信託銀行 梅田支店	2,483,797	
(3)郵便振替（大阪１－39975）	**4,546,230**	
２．未収金	**20,848,960**	
会誌収入	13,855,060	
個人正会員会費収入	2,904,150	
地方会員会費収入	20,400	
団体正会員会費収入	604,950	
準会員会費収入	14,400	
事業収入雑	3,000,000	
70周年記念事業本代	450,000	
３．仮払金	**3,899,536**	
借入金返済支出	3,700,000	
郵券代	184,976	
委員会食事代	14,560	
４．前払費用	**1,179,608**	
講習会テキスト印刷費	1,000,000	
会誌発行費	179,608	
固定資産		**251,503,760**
(1)土地 (2)建物 (3)什器	大阪市北区梅田１－１－３－2100 大阪駅前第３ビル21階	59,800,000 / 191,120,000 / 583,760
投資		**39,494,746**
(1)金銭信託（中央信託銀行 梅田支店）	10,820,842	
(2)貸付信託（同上）	15,000,000	
(3)中期国債ファンド（ユニバーサル証券大阪支店）	3,951,546	
(4)退職給与積立預金（住友銀行 高麗橋支店）	3,000,000	
(5)記念事業積立預金（同上）	6,722,358	
資産合計		**333,738,228**

（負債の部）		
流動負債		**26,427,578**
１．未払金	**9,846,844**	
(1)会誌発行費	7,301,963	
(2)70周年記念事業諸費	845,890	
(3)講演講習会費	129,600	
(4)建築技術選書諸費	51,360	
(5)事業費	1,089,186	
(6)集金費	89,350	
(7)助成金支出	339,495	
２．前受金	**16,303,383**	
(1)個人正会員会費収入	4,116,350	
(2)地方会員会費収入	477,000	
(3)団体正会員会費収入	10,366,668	
(4)準会員会費収入	14,400	
(5)会誌収入	1,328,965	
３．仮受金	**277,351**	
３月分給与税金	122,390	
〃 204条該当分	97,261	
本代	6,300	
住宅セミナー	5,400	
建築クラブ会費	36,000	
会誌収入広告料二重入金	10,000	
固定負債		**22,094,499**
１．借入金	15,700,000	
２．退職給与引当金	6,394,499	
負債合計		**48,522,077**
純財産		**285,216,151**
負債及び純財産合計		**333,738,228**

◀通常総会決議報告

平成元年６月28日開催の通常総会におきまして、下記議案がそれぞれ原案のとおり承認されましたので、ここに会告いたします。

記

(1)　昭和63年度一般勘定事業報告並びに決算報告(本号掲載)
(2)　昭和63年度創立70周年記念事業報告並びに決算報告(本号掲載)
(3)　平成元年度事業計画並びに収支予算(４月号会告済)

◀理事１名の補選

平成元年６月28日開催の定時評議員会において、理事１名の補選を行い、下記のとおり決定いたしました。

新任理事　和田克朗（大阪府建築部技監）
（辞任者）　原田明治（前大阪府建築部技監）

◀会員の受賞

このたび、下記会員の諸氏は、建設界における多年の功績によって、建設大臣より表彰を受けられました。

ここに誌して、その栄誉をお慶び申し上げます。

記

奥　村　俊　夫氏（奥村組代表取締役社長）
木　下　貞　三氏（木下工業代表取締役社長）
砂　田　純　男氏（近鉄不動産代表取締役社長）
長谷川　哲之助氏（曽根組顧問）
平　田　勝　久氏（平田タイル代表取締役社長）
宮　川　　稔氏（鹿島建設大阪支店滋賀出張所長）
宮　本　博　司氏（宮本工務設計事務所代表取締役）
元　川　賢　治氏（東急建設大阪支社松山出張所長）
山　本　　茂氏（湯浅建築設計事務所代表取締役）

（五十音順）

◀平成元年度支部通常総会報告

●京都支部

日時　平成元年６月29日(木) 17：00～20：00
場所　松乃(京都市東山区四条南座東)
次第　1.開　会（出席会員15名）
2.支部長挨拶
3.議長選出
4.議題審議
(1)昭和63年度事業報告
(2)昭和63年度収支決算報告・監査報告
(3)平成元年度事業計画
(4)平成元年度収支予算
(5)会員増強
懇親会　（出席会員15名）

●中国支部

日時　平成元年７月８日(土) 16：00～19：00
場所　広島県民文化センター(広島市中区大手町1―5―3)
次第　1.開　会（出席50名、委任状45名）
2.物故会員に対する黙禱
3.支部長挨拶
4.議　事
• 議案第１号　昭和63年度事業報告
• 議案第２号　昭和63年度収支決算報告
• 議案第３号　平成元年度事業計画(案)
• 議案第４号　平成元年度収支予算(案)
• 議案第５号　役員改選の件(案)
5.長期会員支部長表彰
• 個人会員（住所・入会年月日）
森　　定夫　（因島市・S.15.9.2）
大坪　哲夫　（下松市・S.25.12.7）
小西　俊彦　（倉敷市・S.26.1.18）
竹内　　肇　（岡山市・S.29.9.8）
佐藤　重夫　（廿日市市・S.29.10.13）
前原　明治　（岡山市・S.31.7.11）
岩成　　卓　（松江市・S.32.11.13）
井上　敏男　（岡山市・S.35.11.10）
森畑　　武　（広島市・S.35.11.10）
横田　昇三　（広島市・S.36.10.11）
• 団体会員（入会年月日）
大之木建設㈱　（S.22.6.13）
五洋建設㈱中国支店　（S.22.6.13）
清水建設㈱広島支店　（S.22.6.13）
㈱竹中工務店広島支店　（S.22.6.13）
フジタ工業㈱広島支店　（S.22.6.13）
㈱増岡組広島支店　（S.22.6.13）
㈱松村組広島支店　（S.22.6.13）
松本建設㈱　（S.22.7.10）
大成建設㈱広島支店　（S.22.11.7）
アイサワ工業㈱　（S.25.2.8）
三機工業㈱中国支店　（S.25.4.12）
栗原工業㈱広島支店　（S.29.11.25）
新生電業㈱広島支店　（S.29.11.25）
懇親会　（会員53名、来賓・招待７名）
漫談・浪曲・司会のイエス玉川（広島県立工業高校中退）による余興

●東海支部

日時　平成元年５月27日(土) 14：30～18：00
場所　ライオンズプラザ・名古屋(名古屋市中区栄4―15―23)
次第　1.開　会（出席会員15名）
2.支部長挨拶
3.議長選出
4.議事録署名人指名
5.議　事
• 第１号議案
(イ)昭和63年度事業報告
(ロ)昭和63年度収支決算報告
(ハ)昭和63年度「建築と社会」東海特集特別会計収支決算報告
(ニ)昭和63年度「建築と社会」東海ルネサンス特別会計収支決算報告
• 第２号議案
(イ)平成元年度事業計画案
(ロ)平成元年度収支予算案
(ハ)平成元年度「建築と社会」東海特集特別編集
(ニ)平成元年度「建築と社会」東海特集特別会計収支予算案
(ホ)平成元年度「建築と社会」東海ルネサンス特別編集
(ヘ)平成元年度「建築と社会」東海ルネサンス特別会計収支予算案
• 第３号議案
(イ)支部役員半数改選
(ロ)支部選出本部評議員選出
懇親会　（出席会員15名）

●和歌山支部（建築士会和歌山市支部と合同開催）

日時　平成元年５月14日(日)
場所　大阪府堺市オランダフェスティバル・ダッハらんど会場
次第　1.開　会（士会支部会員とも87名）
2.支部長挨拶
3.来賓挨拶
4.議　事
• 第１号議案　昭和63年度事業報告
• 第２号議案　昭和63年度収支決算報告
• 第３号議案　平成元年度事業計画
• 第４号議案　平成元年度収支予算
懇親会　（車中および会場にて開催）

◀平成元年度各支部役員

●京都支部(京都府、滋賀県)

支部長　井手　正己
副支部長　神谷　　治　山口　　明
常議員　井川　栄一　池田　有隣
市川　繁雄　卯田　隆一
大原　　正　岡野　武司
小滝　一夫　佐藤　滋朗
神野　武司　水野　善雄
森島　照雄　山田　一義
監事　鈴木　覚也　安井洋太郎

●中国支部(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)

支部長　平本　俊秋
副支部長　稲葉　　登　古林　敏郎
常議員　佐藤　重夫　富士田亮子
滝川　俊幸　小西　正文
窪田　宏志　臼井　敏男
佐藤　公三　前西　菊人
橋本　秀夫　和田　哲三
池田　裕昭　高野　清二
森畑　　武　宮本　健司
幹事　横田　昇三　柴田　修身

●東海支部(愛知県、三重県、岐阜県、静岡県)

支部長　中島　　一
副支部長　岩田　正弘　宮崎　辰敬
幹事　手塚　二郎　林　　金之
森　　鉦一　盛田　輝勇
桝林　宏二　長谷部利夫
常議員　小坂　忠勝　広瀬　敏郎
森口　雅文　畑中　啓助
松本壮一郎　寺本　英一
監査　五十嵐　昇
相談役　一圓　俊郎　川口喜代枝
黒川　巳喜　染木　正夫
浜田　瑞穂

●和歌山支部(和歌山県)

支部長　北山　　俊
副支部長　寺地　　清　野島　育夫
幹事　上野　嘉一　岡　　隆
尾上　　収　大手山隆之
北野　常夫　北山　泰秀
黒田征四郎　雑賀　幹夫
辻本　　豊　永長　　博
東野　信義
監事　秋月　正兵　貴志　満二
相談役　井崎　梁次　加山　増一
富松　助六

暑中お見舞申し上げます

平成元年盛夏　　(50音順)

青山幸夫

株式会社 青山建築積算事務所 代表取締役
〒550 大阪市西区京町堀1-10-19江南ビル 電話06(443)0430
〒610-11 自宅・京都市西京区大原野上里勝山町14-6
電話075(331)8082

生島道春

社団法人 日本建築積算協会関西支部 支部長
〒542 大阪市中央区東心斎橋1-10-7 市川ビル2F
電話06(245)6645

今井忠臣

イマヰ建設工業株式会社 代表取締役
〒547 大阪市平野区加美北5丁目11番12号 電話06(792)4425
FAX06(792)5837
〒547 大阪市平野区平野北2－9－15 電話06(792)4404

浅井泰

株式会社 笠谷工務店 専務取締役
〒659 芦屋市業平町4－1 電話0797(22)0703
〒659 自宅・芦屋市翠ヶ丘町13－5 電話0797(22)5291

泉沢哲史

株式会社 泉沢建築設計事務所 代表取締役
〒530 大阪市北区神山町14番3号 木津信ビル
電話06(364)9071代

今西茂雄

株式会社 今西建築デザインルーム 代表取締役
〒550 大阪市西区北堀江1丁目13番21号 今西ビル5F
電話06(541)3051～3

浅野昭夫

株式会社 浅野建築設計事務所 代表取締役
〒540 大阪市中央区農人橋2丁目1番30号 電話06(945)0008代
〒631 自宅・奈良市西登美ヶ丘6丁目4番5号
電話0742(46)4346

市川繁雄

日本管工業株式会社 取締役社長
〒601 京都市南区西九条豊田町20 電話075(681)5101～6
〒606 自宅・京都市左京区下鴨芝本町37 電話075(781)0289



今西祥郎

財団法人 大阪住宅センター 理事長
〒542 大阪市中央区南船場4丁目4番3号
御堂筋アーバンライフビル4F
電話06(253)0071～3
〒591 堺市新金岡町3丁1－23－102 電話0722(51)1902

淺沼茂夫

株式会社 淺沼組 取締役社長
〒543 大阪市天王寺区東高津町12番6号 電話06(768)5222
〒168 自宅・東京都杉並区下高井戸3丁目17番1号
電話03(302)1922

今村騰

取締役相談役

糸岡義太郎

取締役会長

矢野卓生

取締役社長

中央電気工業株式会社
〒530 大阪市北区太融寺町3番24号 電話06(312)8881代表

浅海正雄

会長

浅海伸之

社長

浅海電気株式会社
〒530 大阪市北区西天満3丁目7番4号 電話06(362)8701
〒665 自宅・宝塚市御殿山2丁目31番50－109号
電話0797(85)0745
〒665 自宅・宝塚市栄町2丁目10番26－712号
電話0797(81)1174

今村祐三郎

社団法人 大阪建設業協会 専務理事
事務局長
〒540 大阪市中央区北浜東1番30号 電話 06(941)4821
〒630 自宅・奈良市南永井町344－8 電話0742(62)0784

井上隆

井上窯業株式会社 代表取締役
〒543 大阪市天王寺区生玉町11番28号 電話06(771)2851代
〒659 自宅・芦屋市川西町4番23号 電話0797(22)5930

市川宏

株式会社 東畑建築事務所 取締役社長
〒541 大阪市中央区伏見町4－4－10 電話06(202)0391
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉山手4丁目4－32
電話078(811)0216

岩崎弘

専務取締役

吉竹寛

常務取締役西日本本部長

株式会社 教育施設研究所 大阪事務所
〒550 大阪市西区立売堀1丁目13番1号 電話 06(531)0916
大信ビル FAX 06(541)7301
〒630 自宅・奈良市法蓮立花町1046-2 電話0742(22)2217
〒560 自宅・豊中市東寺内10－36 電話 06(339)3550
グリンパークハイツ304

飯田精三

共同設計株式会社
〒530 大阪市北区西天満5丁目10番14号 電話06(364)5836
〒560 自宅・豊中市本町2丁目2番24号 電話06(848)0775

指宿真智雄

株式会社 **建築デザイン**一級建築士事務所 代表者
〒564 吹田市江坂町1丁目23番101号 大同生命ビル12F
電話06(386)1311代
〒606 京都市左京区下鴨北野々神町8－5 電話075(781)6573

上西圭治

株式会社 大気社 代表取締役会長
〒530 大阪市北区中之島3－2－18 住友中之島ビル7階
電話06(448)3603
〒659 自宅・兵庫県芦屋市浜町12－14 電話0797(22)5949

暑中お見舞申し上げます

平成元年盛夏　(50音順)

植野寿雄

株式会社 寿建築積算事務所 所長

〒542 大阪市中央区東心斎橋1丁目16-29つるのすビル
電話06(244)1561代
〒588 自宅・堺市大美野5－9 電話0722(37)1162

奥村紘行

奥村重兵衛株式会社 取締役社長

〒530 大阪市北区西天満5丁目3番7号 電話06(312)4131代
〒662 自宅・西宮市南郷町14番34号 電話0798(71)0011

鎌谷秀男

修成建設専門学校 理事長

〒555 大阪市西淀川区大和田5丁目19-30 電話06(474)1644
〒665 自宅・宝塚市千種3丁目8番23号 電話0797(72)1380

尾亀清四郎

株式会社 三晃空調 取締役会長

〒540 大阪市中央区城見2丁目1番61号ツイン21MIDタワー11階
電話06(949)1371
〒573 自宅・枚方市岡山手町15－4 電話0720(41)3427

加藤忠三郎

株式会社 平田タイル 取締役相談役

〒550 大阪市西区阿波座1丁目1番10号
電話06(532)1231代
〒601 自宅・京都市南区東九条北鳥丸町24電話075(691)1334

川岸繁夫

株式会社 川岸窯業商店 代表取締役会長

〒550 大阪市西区西本町1丁目13－33 電話06(532)0461代
FAX06(535)5181
〒563 自宅・池田市天神1丁目10－10 電話 0727(61)8598

尾原重信

株式会社 コアプラン設計 代表取締役

〒550 大阪市西区新町2丁目3番8号 電話06(531)4488
〒532 自宅・大阪市淀川区十三東3-14-13 電話06(302)1051

数井利美

株式会社 西村建築事務所 取締役社長

〒652 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-8 楠六パレスビル
電話078(521)0205～0207
〒654-01 自宅・神戸市須磨区白川台2丁目39－13
電話078(792)5862

川瀬甲子雄

扶桑管工業株式会社 代表取締役

〒616 京都市右京区太秦和泉式部町12番地 電話075(861)1157
大阪支店 電話06(304)0777 東京支店 電話03(263)0501
〒565 自宅・吹田市津雲台6－7－2 電話06(834)1734

多井幸男（オオイ）

多井建築研究所 所長

〒541 大阪市中央区今橋1丁目1番地 1番館ビル
電話06(226)0008
〒657 自宅・神戸市灘区曽和町3丁目1－11
電話078(821)6133



河井覚弘

河井建築事務所 所長

〒631 奈良市中山町西3丁目210－25 電話0742(44)8100
0742(45)4378

大西孝夫

株式会社 日建設計 専務取締役大阪統轄

〒541 大阪市中央区高麗橋4丁目6番1号 電話06(203)2361

河裾和夫

螢光産業株式会社 代表取締役

〒531 大阪市北区本庄西3丁目9番20号
電話06(371)5146代
〒560 自宅・豊中市中桜塚4丁目6-4 電話06(852)4148

岡澤勇

岡澤建築設計事務所 所長

〒530 大阪事務所・大阪市北区西天満4丁目4番12号
近藤ビル6F 電話06(362)6082代表
FAX06(362)6084
〒567 茨木市藤の里2丁目16番6号
電話0726(43)5230・8953

亀井晃治

一級建築士事務所 株式会社 A.R.I.（アリ）建築事務所 代表取締役

〒542 本社事務所・大阪市中央区谷町7丁目3番4－203
新谷町第3ビル2F
電話06(768)1771代 FAX06(768)1406
〒577 アトリエ・東大阪市上石切町2－14－35
電話0743(73)6137
〒631 自宅・奈良市藤ノ木台3丁目33番5号
電話0742(43)1226

木下國男

内外パーキング施設株式会社 取締役社長

〒550 大阪市西区江戸堀2丁目6－25 電話06(441)0477代
〒665 自宅・宝塚市逆瀬台6丁目15番11号 電話0797(73)3228

岡本行善

株式会社 昭和設計 代表取締役社長

〒550 大阪市西区新町1丁目5番7号 四ツ橋ビル
電話06(532)3421代
〒659 自宅・芦屋市岩園町35－7 電話0797(31)3201

亀田六夫

株式会社 増島製作所 大阪営業所 取締役所長

〒530 大阪市北区西天満3丁目13番18号 島根ビル
電話06(364)1951
〒560 自宅・豊中市刀根山元町8－12 電話06(855)5356

小島勝巳

有限会社 小島勝巳建築事務所 代表取締役

〒541 大阪事務所・大阪市中央区南本町4丁目2-21
イヨビル8階 電話06(252)8088代 FAX06(243)0640
〒103 東京事務所・東京都中央区日本橋本町4－15－10
山本ビル7階 電話03(661)0768代 FAX03(661)7157
〒166 自宅・東京都杉並区成田西1丁目16－17
電話03(315)5435

暑中お見舞申し上げます

平成元年盛夏　　(50音順)

小西弘治

日本住宅パネル工業協同組合　理事長

〒170 東京都豊島区南大塚３丁目46番３号
大塚セントコアビル　電話03(945)2311大代

名誉正会員

白石登喜男

株式会社 藤木工務店 常務理事

〒540 大阪市中央区常盤町１－３－９　電話06(944)1468
〒558 自宅・大阪市住吉区墨江1―7―39　電話06(671)3792

田中忠明

大阪エスピー紙工株式会社　代表取締役社長

〒540 大阪市中央区玉造２丁目25番20号　電話06(765)5650
FAX06(765)5655
〒614 自宅・八幡市八幡福禄谷98-7　電話075(971)0395

取締役会長 **小西岬**
取締役社長 **橋本正章**

株式会社 小西設計

〒550 大阪市西区立売堀１丁目12―16　電話06(532)4051

城口庸平

株式会社 大阪城口研究所　取締役社長

〒530 大阪市北区角田町２番15号　電話06(372)7151代

田中優

株式会社 ユソニアン一級建築設計事務所　代表取締役

〒530 大阪市北区天神橋2丁目5番25号 若杉グランドビル10F
電話06(354)2781
〒536 大阪市城東区成育４丁目20番２号　電話06(931)8857

鴻池藤一

株式会社 鴻池組　代表取締役会長

〒541 大阪市中央区北久宝寺町3丁目6番1号
ダイヤルイン電話06(244)3500(受付台)
〒603 自宅・京都市北区平野鳥居前町86 電話075(461)1526

須賀好富

近畿大学理工学部建築学科 教授

〒577 東大阪市小若江３―４―１　電話06(721)2332
内線4519
〒577 自宅・東大阪市小阪３―４―B911
電話06(789)8114

田村真二

株式会社 竹中工務店　取締役副社長

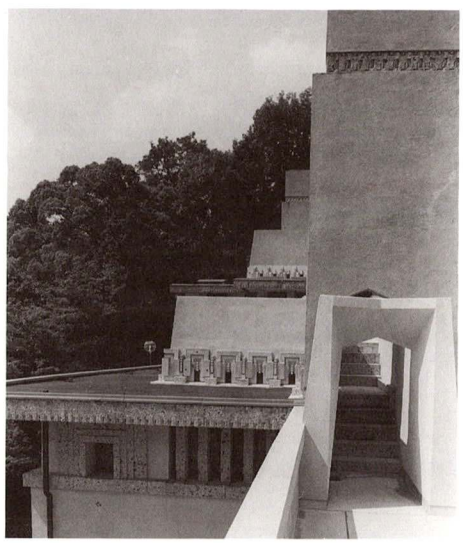
〒541 大阪市中央区本町４丁目１－13　電話06(252)1201
〒663 西宮市浜甲子園２丁目５－19　電話0798(41)4300

会長

佐野正一

株式会社 安井建築設計事務所 代表取締役会長

〒540 大阪市中央区島町２丁目4番7号　電話06(943)1371代
〒662 自宅・西宮市雲井町４の９　電話0798(72)1569



取締役会長 **高橋慶夫**
取締役社長 **上田宏二**

株式会社 高橋上田設計事務所

〒550 本社・大阪市西区新町１―４―21 大幸ビル
電話06(533)0971～3
〒113 東京事務所・東京都文京区本郷3-5-4
朝日中山ビル5F　電話03(818)5173

齋藤觀

高砂熱学工業株式会社大阪支店　常務取締役 支店長

〒530 大阪市北区芝田１丁目４番８号北阪急ビル
電話06(372)8411

竹内哲

日本電設工業株式会社 大阪支店　取締役支店長

〒531 大阪市北区豊崎３丁目17－15　電話06(372)3533
〒560 自宅・豊中市蛍池東町２―７―６　電話06(841)3822

斉藤國義

株式会社 斉藤工業所 代表取締役

〒557 大阪市西成区岸里2丁目6番5号　電話06(661)3325代
〒557 自宅・大阪市西成区岸里東１丁目21番３号
電話06(652)0208

菅谷節

ダイダン株式会社 代表取締役社長

〒550 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　電話06(441)8231
〒158 自宅・東京都世田谷区等々力６丁目３番18号
電話03(703)1027

橘泰治

東邦パーライト株式会社 代表取締役

〒540 大阪市中央区森之宮中央２丁目７番15号　電話06(941)9445～9
〒590-01 自宅・堺市若松台3丁26番3号　電話0722(91)2267

堺徳吾

西日本建設業保証株式会社　取締役社長

〒550 大阪市西区立売堀２丁目１番２号　電話06(543)2553

曽我部輝雄

株式会社 笹川組　取締役社長

〒520 大津市打出浜13－15　電話0775(23)2314
〒520-21 自宅・大津市一里山5―9―11　電話0775(45)3966

立野一郎

株式会社 ユニオン　代表取締役

〒550 大阪市西区南堀江２丁目13番22号
電話06(532)3731代

暑中お見舞申し上げます

平成元年盛夏　　(50音順)

知見義夫

元・本会理事

〒601 自宅・京都市南区西九条春日町48　電話075(691)3860

徳岡昌克

徳岡昌克建築設計事務所　所長

〒530 大阪市北区西天満6丁目3番11−205号　電話06(314)1688
〒661 尼崎市次屋3丁目6番60号　電話06(499)0701
〒813 福岡市東区千早2丁目3番41-305号　電話092(682)5301
〒532 自宅・大阪市淀川区新高6丁目6番18号　電話06(391)1438

蜷川守男

大阪装飾株式会社　代表取締役

〒550 大阪市西区京町堀1丁目13番24号　電話 06(444)1410
〒665 自宅・兵庫県宝塚市社町3番10号　電話0797(72)6045

名誉会長

塚本猛次

株式会社 日建設計 最高顧問

〒541 大阪市中央区高麗橋4丁目6番2号　電話06(203)2361
〒665 自宅・宝塚市清荒神2−6−27　電話0797(87)1940

内藤正克

株式会社 内藤建築設計事務所 代表取締役会長

〒675-13 兵庫県小野市上本町240 小野ビル　電話07946(2)4757代
〒675-13 自宅・兵庫県小野市久保木町1063　電話07946(2)4668

野村文英

野村建設工業株式会社　取締役社長

〒541 大阪市中央区高麗橋2丁目1番2号　電話06(202)4791代

辻本豊

株式会社 ツジモトユタカ設計事務所 代表取締役

〒640 和歌山市東長町中の丁12−3 電話0734(26)2030代
FAX0734(26)2032
〒640 自宅・和歌山市東長町中の丁12-3電話0734(26)2030代

中原英雄

株式会社 創美設計　代表取締役

〒530 大阪市北区末広町3番21号 新星和扇町ビル
電話06(312)3587代
〒565 吹田市桃山台4丁目3番1−808

林唯夫

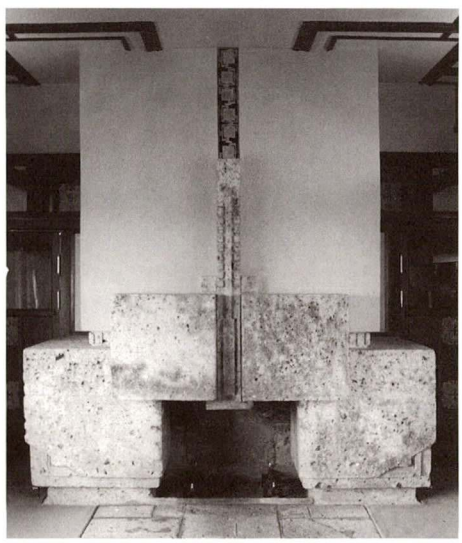
株式会社 昭和設計 代表取締役副社長

〒550 大阪市西区新町1丁目5番7号　四ッ橋ビル
電話06(532)3421
〒565 自宅・吹田市青山台3丁目41−11　電話06(872)3608

津村芳仁

オリエンタルメタル製造株式会社　代表取締役社長

〒660 尼崎市昭和南通3丁目26番地　電話06(412)5131代
〒330 自宅・埼玉県蕨市塚越5丁目6番32号
電話0484(42)3115



原精一

コーナン建設株式会社　代表取締役

〒532 大阪市淀川区十三本町2丁目4番28号
電話06(308)1551大代
〒662 自宅・西宮市名次町12番9号　電話0798(72)1504

寺嶋繁久

株式会社 Sim建築事務所　代表取締役

〒604 京都市中京区東洞院通蛸薬師下ル
エステートビル402　電話075(256)3993
〒616 自宅・京都市右京区嵯峨鳥居本化野町12-45
電話075(871)3921

伴昭秀

株式会社 西原衛生工業所大阪店 代表取締役社長

〒531 大阪市北区中津6丁目8番4号　電話 06(458)3628
〒563 自宅・池田市石橋3−11−14　電話0727(61)8652

傳馬正明

ムツミ産業株式会社　代表取締役

〒550 大阪市西区靱本町1丁目17番15号
電話06(441)0378大代
〒558 自宅・大阪市住吉区長居東3丁目14番22−515
電話06(698)7895

長澤孝行

日本住宅パネル工業協同組合大阪支所　支所長

〒530 大阪市北区西天満5丁目6番10号 富田町パークビル
電話06(313)3321
〒598 自宅・大阪府泉佐野市佐野台20-52 電話0724(63)1260

福永薫

株式会社 建設技術センター　代表取締役

〒532 大阪市淀川区西中島5丁目7番17−602号
電話06(304)1148代　FAX06(304)0935
〒542 自宅・大阪市中央区南船場4丁目7−3
電話06(252)8626

名誉会長・名誉正会員

東畑謙三

株式会社 東畑建築事務所　取締役会長

〒541 大阪市中央区伏見町4−4−10　電話06(202)0391
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉山手4-4-35　電話078(851)5043

西村昭三

大鉄工業株式会社　取締役社長

〒532 大阪市淀川区宮原4丁目4番44号
電話06(394)1281
〒663 自宅・西宮市上甲子園1丁目6-27-202
電話0798(41)3082

藤木鐵三

株式会社 藤木工務店　取締役社長

〒540 大阪市中央区常盤町1−3−9　電話06(944)1468代

暑中お見舞申し上げます

平成元年盛夏　　(50音順)

堀内史郎

第一工業株式会社大阪支店　専務取締役支店長
〒530 大阪市北区西天満3丁目6番14号　電話06(364)6661代
〒573 自宅・大阪府枚方市朝日丘町12-18 電話0720(41)5396

前田平一郎

ゼネラル事務機株式会社　社長
〒550 大阪市西区靱本町3丁目2番7号 第1横井ビル
電話06(441)1462代
〒560 自宅・豊中市上野東1丁目16—21　電話06(849)5764

前田敏男

財団法人　日本建築総合試験所　理事長
〒565 本所・吹田市藤白台5—8—1
電話06(872) 0391
〒531 大淀分室・大阪市北区長柄西2—1—18
電話06(351)7217
〒592 堺分室・堺市浜寺石津町西2—1—34
電話0722(44)3912
〒612 京都分室・京都市伏見区中島前山町24—2
電話075(622)0713
〒675-01 加古川分室・加古川市別府町新野辺字畑下1311-3
電話0794(35)5811

松田恒彦

株式会社 ART建築設計事務所　代表取締役所長
〒530 大阪市北区東天満2丁目3—10 トップス天満ビル
電話06(357)5351代
〒546 大阪市東住吉区西今川2丁8—7　電話06(702)6738

松原満佐子

有限会社　柳々堂　代表取締役
〒550 大阪市西区京町堀1—12—3　電話06(443)0167～8
営業所：鴻池ビル1階　電話06(251)8233

松本重太郎

マツ六株式会社　取締役社長
〒543 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
電話06 (774)2200

名誉正会員

松本与作

建築家 第一生命保険相互会社 顧問技師
〒145 自宅・東京都大田区田園調布3-17-3 電話03(721)4723

三品哲夫

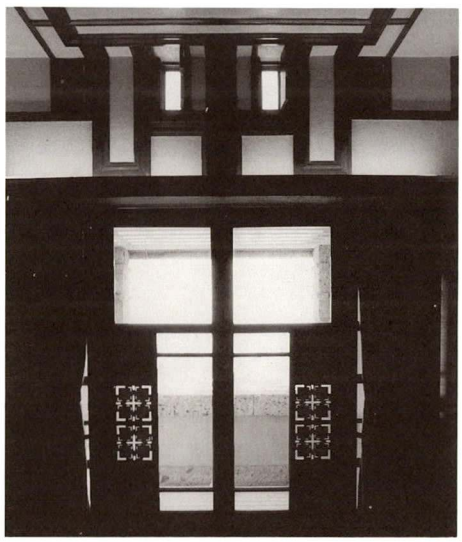
財団法人　大阪市建築技術協会　理事長
〒541 大阪市中央区北浜4—1—21　住友生命淀屋橋ビル4階
電話06(208)8144
〒560 自宅・豊中市上野東1-10-45-205　電話06(848)9067

三田村嘉也

三機工業株式会社大阪支店　大阪支店長
〒541 大阪市中央区北浜2丁目2番21号　電話06(202)3071

三谷忠義

株式会社　三谷設計　代表取締役
〒694 島根県大田市久手町波根西777の1
電話08548(2)8121代
〒694 自宅・島根県大田市久手町波根西225の2
電話08548(5)8320



三輪泰司

株式会社 地域計画・建築研究所　代表取締役会長
〒600 京都市下京区四条通高倉西入ル立売西町82番地
大和銀行京都ビル　電話075(221)5132代
〒540 大阪市中央区石町1丁目1番1号 天満橋千代田ビル2号館
電話06(942)5732
〒460 名古屋市中区丸の内3丁目18番30号 ツボウチビル
電話052(962)1224
〒612 自宅・京都市伏見区桃山南大島町95—45
電話075(601)3962

薬袋公明

株式会社　日建設計　取締役社長
〒541 大阪市中央区高麗橋4丁目6番2号　電話06(203)2361

水間義雄

株式会社　水間組　代表取締役社長
〒534 大阪市都島区東野田町1丁目1番4号
電話06(352)3121代
〒538 自宅・大阪市鶴見区今津南4-10-15　電話06(961)0785

宮後浩

株式会社　コラムデザインセンター　代表取締役
株式会社　大阪パースアカデミー
〒542 大阪市中央区南船場4—13—15　コラムビル
電話06(245)4631
〒546 自宅・大阪市東住吉区山坂5—19—24—704
電話06(607)7571

村石全

浪速合板株式会社　代表取締役社長
〒556 大阪市浪速区幸町2丁目5番3号　電話06(568)3671
〒659 自宅・芦屋市岩園町25番15号　電話0797(34)0835

室谷山水

室谷商事株式会社　取締役会長
〒650 神戸市中央区三宮町3丁目7-6 神戸フクトクビル
電話078(331)0881
〒650 自宅・神戸市中央区山本通4丁目17—17
電話078(221)5050

毛利哲三

松尾橋梁株式会社　取締役社長
〒551 大阪市大正区鶴町3丁目4番18号
電話06 (552)1551代表

両角保

浦安工業株式会社　専務取締役 大阪支店長
〒530 大阪支店・大阪市北区天満2丁目3番5号
電話06(351)7502代
〒530 自宅・大阪市北区天満2丁目3番5号
電話06(353)7596

森淳

三和電気土木工事株式会社　取締役社長
〒530 大阪市北区南森町1丁目4番19号　電話06(361)6451代
〒596 自宅・大阪府岸和田市別所町2丁目3番5号
電話0724(22)7710

暑中お見舞申し上げます

平成元年盛夏　　(50音順)

八木喜美蔵

YAGISO BRICKS
八木惣株式会社　代表取締役社長
〒593 堺市津久野町3丁28番10号電話0722(62)3838代
〒593 自宅・堺市津久野町3丁28番10号　電話0722(62)0722

八十島健二

株式会社 竹中工務店　特別顧問
〒541 大阪市中央区本町4丁目1－13　電話06(252)1201
〒663 自宅・西宮市甲子園二番町5—30　電話0798(41)0598

山内恒男

株式会社 石本建築事務所　大阪支所長
〒542 大阪支所・大阪市中央区島之内1-20-19 白水ビル
電話06(251)7507
〒102 本社・東京都千代田区九段南4-6-12　電話03(262)7161
札幌・名古屋・九州・仙台・横浜

山田恒治

株式会社 山田工務店　取締役社長
〒651 神戸市中央区雲井通4丁目1番3号
電話078(232)1800代
〒651-11 自宅・神戸市北区泉台4丁目9番12号
電話078(592)5902

山本貴士

朝陽電気株式会社　代表取締役
〒530 大阪市北区中之島3丁目2番4号　電話06(385)1361代
朝日ビルディング内
〒565 自宅・吹田市藤白台4丁目23番8号
電話06(871)0851

和田眞一

株式会社 東和組　代表取締役
〒530 大阪市北区西天満4丁目5番14号　電話06(363)4051
〒659 自宅・芦屋市公光町3番8号　電話0797(22)3282

和中勝

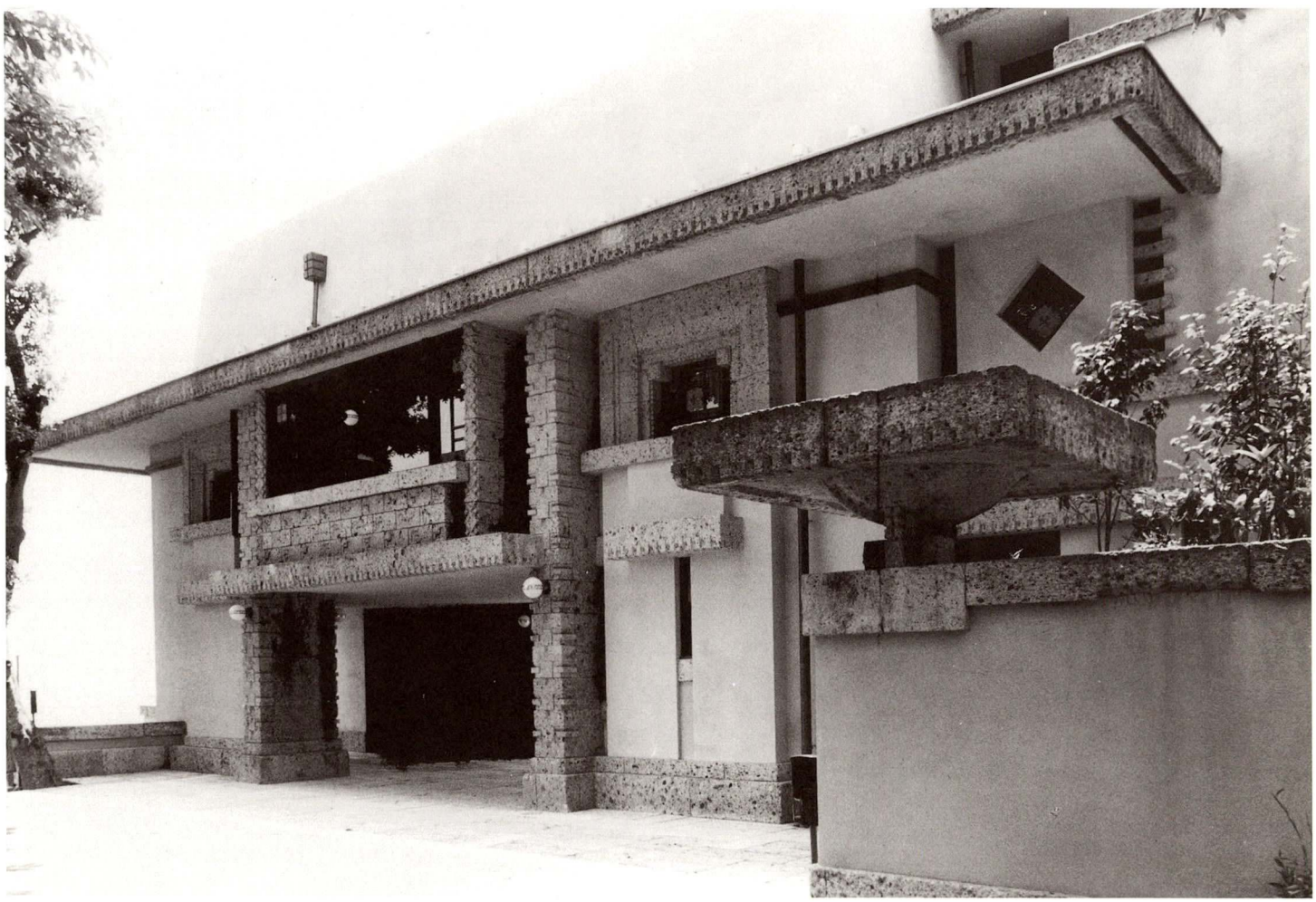
株式会社 和中商店　相談役
〒531 大阪市北区豊崎5丁目8番11号　電話06(371)0731～5
〒150 東京都渋谷区桜丘町11－5　電話03(464)9723
〒453 名古屋市中村区黄金通3丁目34番地
電話052(481)7338
〒659 自宅・芦屋市楠町16—18 芦屋フラッツ201
電話0797(31)7950

渡辺恵

東洋シヤッター株式会社　取締役 相談役
〒540 大阪市中央区常盤町1-3-8 日本生命谷町ビル
電話06(943)6571代
〒560 自宅・豊中市緑丘3丁目21番8号　電話06(856)0988

渡部慶一

株式会社 松田平田坂本設計事務所　大阪事務所取締役所長
〒530 大阪市北区堂島2－2－25　電話06(344)7821
〒530 自宅・大阪市北区中之島5—3—92
ルイシャトレ中之島622号　電話06(448)5645



「建築と社会」バックナンバー総目次(号別)Vol.15 No.10～Vol.16 No. 5 (昭和７年10月～昭和８年５月発行)

會　告

協會紋章ノ件

當協會ノ紋章ヘ今回次ノ通決定致シマシタ



昭和７年10月協会紋章発表

●建築と社会（Vol.15No.10）
創立満15年記念号　昭和7年10月１日発行

会告　協会紋章及協会員胸章決定　創立満15年記念建築通俗大講演会（11月２日午後１時　大阪中央公会堂）
緑ヶ丘保健住宅設計当選図案（４点）
大美野田園都市住宅設計当選図案（４点）
実際に建てる住宅設計当選図案（４点）
住宅三懸賞当選図案審査評
緑ヶ丘保健住宅博覧会出品住宅図録（20戸）
大美野田園都市住宅博覧会出品住宅図録（16戸）
創立拾五周年を顧みて……片岡　安
我協会の十五周年の記念の日に際して……武田五一
その頃を語る座談会―本会創立当時の懐旧……関係15氏
最近十五年間に於ける関西建築界の変遷を語る会…関係17氏
協会の将来を語る座談会……関係17氏
本会の既往を顧みて―本会創立当初の実情と其事業の概記
雑誌の変遷
緑ヶ丘保健住宅博覧会開会式……徳政金吾
大美野田園都市住宅博覧会開場式に参列して……坪井誠一
南洋旅行漫談……工学博士　武田五一
耐震木造建築への一考察……巽　純一
鎔接と電気鎔接（下）……鶴田　明
会報　役員会　例会　創立15年記念事業各種委員会
会員動静　建築倶楽部室
国際新建築……英国倫敦放送局　米国ワシントン商業省　進歩の一世紀博・科学の殿堂　独乙フライブルグ・ミッション学校　独乙エッセン・国立病院小児科　独逸伯林・シエルハウス　独逸漢堡・シエルハウス

●建築と社会（Vol.15No.11）
最近建築研究Ⅲ特集　昭和７年11月１日発行

阪和上野芝住宅設計図案懸賞募集規定
大阪歌舞伎座　口絵……写真（９頁）図面（５頁）工事概要
大阪歌舞伎座新築設計について……小田島兵吉
大阪歌舞伎座主体構造計算について……黒田　茂
大阪歌舞伎座電気設備に就いて……杉浦　豊
大阪歌舞伎座新築工事施工に就て……渡辺家三
南海ビルディング　口絵…写真（12頁）図面（３頁）工事概要
南海ビルディング建築工事を終へて……坪井誠一
南海ビルディング新築工事に就て……平井勇馬・牧　毅
東豊中住宅設計図案審査概要
土木建築請負工事入札並契約に関する条項を改正統一の問題
国際新建築……英国ビーストン・靴工場　英国リッチモンド・ウエスレイヤン神学校図書館　佛国巴里シャンゼリゼー街事務所　デンマーク・コペンハーゲン・アパートメント　独逸ラーン河辺・マールブルグ・療養院　独逸ハゲローデ・小児療養院　独逸ノルデルネー・旧教寺院
談話室……津田　鑿　ＲＴ生
会報　各官庁司掌営繕事業促進ニ関スル陳情書　住宅建築助成並二不良住宅改良促進ニ関スル陳情書　役員会　会員動静

●建築と社会（Vol.15No.12）
常設委員会調査研究報告　昭和７年12月１日発行

常設委員会昭和７年度調査報告の特輯に就て
大阪駅前整理工事に関する建議案……法制委員会
日本建築士会の「建築競技執行基準」草案に対する意見書……同上
償還方法によるアパート計画案……住宅委員会
衛生用陶器の調査……材料委員会
本邦瓦の研究……材料委員会
混凝土の配合決定に関する提案……災害強度委員会
電弧鎔接概要……災害強度料委会
潜函工法……災害強度委員会
国際新建築……佛国巴里ベルサイユ街・アパート　佛国巴里アンリーマルタン街・アパート　佛国巴里シャンゼリゼー街・メーゾン・ド・フランス　墺国ウィーン・住宅国際博覧会
満十五年記念各事業を記録して
会報　鉄材暴騰に関する緩和運動　役員会

●建築と社会（Vol.16No.1）昭和８年１月１日発行

会告　創立満15年記念出版「大阪市地質調査図表」出版（定価３円50銭）
昭和８年を迎へて―経済界の大波瀾に善処せよ……片岡　安
現代世相と建築界……池田　実
建築美批判の新基調……古塚正治
忘れられ、忘らるべからざる事実……石川純一郎
建築左右展望……村野藤吾
断想……中西六郎
ゲージ確立の急務……徳政金吾
ガラスの使途の拡大……新名種夫
大阪市とその郊外地の展望……矢田鉄蔵
昭和７年の住宅建築界を顧みて……松本儀八
建物の窓から……吾山　生
東京白木屋本店の火災・百貨店建築ニ関スル建議（内務大臣宛）満15年記念建築通俗大講演会速記録
昭和７年11月２日於大阪市中央公会堂　聴衆２千を越ふ
開会の辞…記念講演会委員長　神戸高等工業校長古宇田　実
都市建築改造の急務……前大阪市建築課長　工学士波江悌夫
住居問題の将来……本協会住宅委員長　工学士葛野壮一郎
満州の土木建築の将来……㈱満州建築協会派遣員石田　茂
世界の建築様式の傾向……京都帝国大学教授　工学博士武田五一
建築と社会……本会会長　工学博士片岡　安
閉会の辞……本会副会長　工学士池田　実
ポルトランドセメント界最近の趨勢……三浦尚史
工学博士武田五一氏の還暦祝賀・武田博士作品集目録
国際新建築集、京阪神新建築集（阪急ビル、淀屋橋ビル、浜寺・農業博物館）

●建築と社会（Vol.16No. 2）
百貨店の防火号　昭和８年２月１日発行

会告　創立満15年記念事業第２期計画に就て（阪和沿線上野芝に於ける住宅博覧会開催、京阪沿線千里山に於ける住宅博覧会開催、建築巡回講演会の開催、東京・満州其の他の見学旅行、図書の出版、建築会館建設の企画）
白木屋百貨店火災の教訓……池田　実
防火か避難か……村野藤吾
百貨店の災害防止設備について……中沢誠一郎
可燃性物質を集蔵するビルディングの消火設備に就いて……古塚正治
高層建築物に対する災害防止策……豊国火災保険㈱社長　大谷順作
百貨店の防火消火避難設備に就いて……坪井誠一
百貨店内交通機関の非常時に於ける対策……日本エレベーター製造㈱山本　一
火災に対する構造と設備に就いて……㈱大丸専務取締役　里見純吉
新築に際して―防火設備私見……㈱十合常務取締役　木水栄太郎
阪急百科店の防火設備に就いて……阪神急行電鉄㈱専務取締役　上田　寧
大阪三越の防火施設に就いて……㈱三越大阪支店長　竹内蓁次
東京白木屋被害視察報告……本会調査員落藤藤吉、岡部顕則
黒田　茂
東京白木屋百貨店火災の座談会
府庁　消防課長岸本潔、建築課長中沢誠一郎
百貨店（百貨店協会）木庭俊一、（高島屋）大谷友之進、（十合）木水栄太郎、（大丸）里見純吉、（阪急）鈴木祥六郎、（三越）竹内蓁次、（新京阪）藤崎正太郎、（松坂屋）松岡正礼
協会　池田実、今林彦太郎、岡部顕則、落藤藤吉、黒田茂、玉置豊次郎、坪井誠一、村野藤吾、安井武雄
大阪府主催・百貨店建築防火避難設備に関する懇談会
建築学会提唱に依る百貨店防火施設・内務大臣宛建議
内務省の高層建築物に対する災害予防法
日本放送協会関西支部局舎設計競技図案（当選渡辺仁、佳作高橋貞太郎、同安井武雄、同山下寿郎、同渡辺仁）
第一生命保険相互会社本館設計懸賞競技当選図案（石原信之、岡本馨、岡村顕三、渡辺光雄、吉武東里、吉永京蔵外４名、田島勝雄、辻廉三外１名、矢部金太郎、松田軍平外１名）
リノリユームに就いて……材料委員会
旅順大谷邸新築について……城　始

●建築と社会（Vol.16No. 3）
昭和８年３月１日発行

傍花閣……工学博士　天沼俊一
現代建築に於ける美的基準……城戸　久
昭和新建築……黒田鵬心
都市の印象……津田　鑿
職工住宅素人設計懸賞当選図案（１等森林之助、２等１席小田政義、２等２席杉山善千代、３等１席武藤三郎、３等２席北島恒明、３等３席中村主税）
談話室……ＴＳ生、登陽域
「建築競技執行規準草案」に対する日本建築協会法制委員会の意見書を読む……堀越三郎
国際新建築
刊行「日本趣味を基調とせよ最近建築懸賞図集」（東京帝室博物館、京都美術館、日本生命館、軍人会館）―募集規程、当選者名、当選図案―（60頁、定価70銭）

●建築と社会（Vol.16No. 4）
住宅号　昭和８年４月１日発行

阪和上野芝住宅懸賞設計当選図案（１等村瀬鉱一、２等久保田健祿、３等１席西田哲郎、３等２席金子春夫、佳作１席荒川利一、同２席喜多村義雄、同３席高木貞一、審査評）
住宅写真集（阪急曽根Ｋ，Ｔ氏邸、阪神魚崎・ＶＫ氏邸、阪神法甲子園ＴＳ氏邸、阪神打出ＳＳ氏邸、阪急御影Ｙ氏邸、阪急岡町伊藤氏邸、阪急中山上田氏邸、阪急夙川白江氏邸、同ＦＴ氏邸、阪神灘住吉木原氏邸、阪急芦屋新荘氏邸、同吉岡氏邸、同福永氏邸、大軌山本Ｈ氏邸、阪急御影Ｏ氏邸、阪急夙川Ｔ氏邸、奈良ＮＮ氏邸）
住宅地経営に就て……松本儀八
小住宅対策提唱……清水栄二
住宅経営地の種々相……矢田鉄蔵
土地経営者の観たる住宅……大阪近郊土地㈱専務取締役　篠原正雄
土地経営に於ける分譲住宅地の一現勢……今井英雄
小住宅プランの研究(1)……岡田孝男
住宅及土地経営に関する座談会
経営者　安倍親雄、今井英雄、篠原正雄、篠崎兼二、清水栄治、西村辰次郎、福田担夫、松本儀八、森本喜太郎
協会　池田実、高橋栄治、中村義雄、堀田猷次郎、鷹取陽
談話室……ゆたか、欧遊生、達誠生、ＭＥ生、逸名氏
国際最新建築

●建築と社会（Vol.16No. 5）
社会事業建築号　昭和８年５月１日発行

大阪市の社会事業施設……大阪市社会部長　山口　正
大阪市に於ける社会事業建築に就いて……新名種夫
説明、写真、図面
東京・浴風会浴風園、大阪市鶴橋保護所、大阪市営杭全住宅、東京都深川区猿江裏町善隣館、同猿江裏町住宅、神戸市葺合新川改良住宅、大阪市南日東町細民住宅、神戸・西部無料宿泊所、大阪・今宮共同宿泊所、神戸・沖仲仕休憩所、大阪・公設田辺市場、大阪・公設中道市場、大阪・境川質舗、神戸・西部質舗、大阪・中央職業紹介所、大阪・千鳥橋労働紹介所、神戸・西部労働紹介所、東京・同潤会啓成社、大阪健康相談所、大阪市立刀根山療養所、岡山県・長島愛生園、大阪・木津保育園、大阪・日之出託児所、神戸市立児童院、

特集
都市環境創造と設備
—Ⅰ—

昨今、再び訪れた街の変貌ぶりにはよく驚かされる。人や車の往来のみにとどまらず、いつの間にか街全体の色調や音、匂い、などをふくめた街のたたずまいが大きく変化しているのである。



都市生活者のライフスタイルの変化にともなう時間的・空間的な拡大と変化は、24時間都市への変貌や都市機能の充実、都市環境の改善をも強く迫ってきている。その結果、市街地整備、商業地区開発、駅前再開発、道路整備、都市公園整備などなど、全国各地でまことに多くの事業が計画され、実行され、多彩に整備されはじめている。

良好な都市を形成し、都市の景観を『地域の共有財産、景観への配慮は都市生活のマナー』(建設省・都市景観懇談会)のレベルにまで向上させることが要請されている。都市の景観の改善は建築物や道路、植栽などに負うところが大きいであろうが、その環境の保全や機能性を支える諸設備の働きを見逃すことはできない。

設備は、都市環境という公共の場に安全性と快適性をサポートするものであるが、その設備内容は多種多様である。都市の道路、路地などから、河川、広場、公園、遊園地、建築物など、設置にかかわる場所も多様である。また法律面、行政面、管理面など、それぞれの成立条件も異なっている。

この多面的な都市のための設備を考察するにあたって、2号にわたる本特集では、設備を、都市景観を創造し充実させるものであるとの視点から、都市景観と設備とのかかわりをとりあげ、「みどり」「水」「熱」「空気」「音」「ひかり」といった環境と景観を創りあげる各要素と、設備との積極的なはたらきかけを各論とした。

本特集が、企画者、設計者、施工者各位の立案、計画の一助になれば幸いである。

(設備分科会委員・**村上幸三郎**)

★7月号
「都市環境創造と設備－Ⅰ－」
総論
より良い都市環境の創造に向けて
建設省都市局都市計画課 林田　康孝
各論Ⅰ
都市景観と環境装置－関係と組み換えの環境デザイン手法－
株式会社GK設計 西沢　健／森田　昌嗣

★10月号
「都市環境創造と設備－Ⅱ－」
各論Ⅱ
都市環境とみどり－大阪市の緑化－
大阪市建設局公園緑地部 西川　文夫／舞鶴　正治
都市環境と水
大阪市下水道局　色摩　勝司
都市環境と熱
…熱論ではなく、ヒートアイランドを…
神戸大学環境計画学科講師　森山　正和
都市環境と空気
…公害を含めて空気の質、においの景色、そのプラス要素は？…
日本気象協会関西本部技師長　中野　道雄
都市環境と音
…良い音、悪い音、サウンドスケープ等々…
株式会社シアターデザイン常務取締役　長谷　茂男
都市環境と光
…光、電気、無柱化、安全等々…
東芝ライテック株式会社セールスエンジニアリングセンター部長　村上幸三郎

「都市環境創造と設備」特集編集幹事
安倍　浩一（総合設備コンサルタント）／石野　幸義（新菱冷熱工業）／遠藤　進（近畿電気工事）／梶井　宏修（近畿大学）／河津　隆之（河津隆之事務所）／佐藤　秀彦（大阪市都市整備局）
別所　清（松下電器産業）／村上幸三郎（東芝ライテック）

総論

より良い都市環境の創造に向けて

林　田　康　孝

近年のわが国における、都市環境に対する関心の高まりや快適な都市環境創造への動きは、経済的・物質的豊かさの獲得と、高い知的教育水準への到達に伴う社会の成熟が招いた次なる豊かさの追求であり、より高次の文化的・質的豊かさへの欲求の現れと見ることができよう。21世紀初頭には、わが国の人口の約７割が都市に居住すると予想されているように、都市は社会経済活動が集中し国民の過半数が生活する重要な場である。だからこそ、ゆとりやうるおい、そして魅力ある都市環境の創造が強く求められていると言えよう。

わが国の都市整備においては、種々の困難な状況の下で戦後復興期、高度成長期を経ながら時代の要請に応えつつ街路、公園、下水道等の整備水準の向上に努めてきたところであるが、前述のような社会経済状況の変化に対応しながら、機能や効率のみならず景観や快適さなどをも含めた真に良好な都市環境の形成に向けて都市整備、そしてまちづくりを積極的に進めているところである。

建設省においては昭和50年代後半から、良好な都市景観の形成に資するべく、都市の基盤・骨格を担っている公共施設について景観に配慮した整備を行う事業制度を創設するとともに、民間建築物等についても景観形成のため規制・誘導方策の活用を図ってきている。そもそも、都市の骨格や構造を規定する都市計画は、良好な都市環境への配慮をその基本理念の一つとしており、わが国の都市計画法の目的、基本理念を定める第１条、第２条はもとより、都市計画の基準を定めている第13条においても、「都市施設は、…（中略）…円滑な都市活動を確保し、良好な都市環境を保持するように定めること。…（後略）」と定められている。



横浜イセザキモール

都市環境とは

ところで、都市環境とは何かということを考えてみると、それは「都市生活のあらゆる局面でわれわれを取り巻いているすべての外部要因のありよう」とでも言い換えられようか。

もともと、日本語の「環境」という言葉は、他の言葉で言い換えにくく、また、その指し示すものなり概念も漠としているため、広義では周囲のあらゆるものごとを包含した概念として使い得る言葉である。ちなみに、広辞苑によれば「【環境】①めぐり囲む区域、②四囲の外界。周囲の事物。特に、人間または生物をとりまき、それと相互作用を及ぼし合うところの外界。自然的環境と社会的環境とに分けることができる。」となっている。「都市環境」もまた自然的環境と社会的環境を包含する概念であることは間違いないが、人為が高度に加わりながら維持されている都市においては、両者を明確に分けることは困難であり、またあまり意味のないことである。

都市環境の今ある姿は、その都市における社会経済活動や日常生活、政治、文化、歴史、自然的条件などすべての反映であると考えられるが、都市環境の定義が曖昧であるがゆえに、捉える視点も指し示す範囲も、使われる場面ごとにさまざまに違っている。都市環境は、たとえば、住む、移動する、働く、休む、遊ぶ、物を買う、文化に親しむなどのあらゆる場面での利便性、効率性、快適性などの総体として捉えることができる。物理的には量、質、時間、価格の軸から、生理的・心理的には目、耳、鼻などを通した快、不快の軸から捉えられる。

近年、盛んに「良好な都市環境」と言われているが、こうした場合多くは、街なみが美しいとか、緑が多い、きれいな水辺に身近に親しめる、というようなことがイメージされているようであり、「都市環境」は一般にうるおい、あるいは快適性といった観点から捉えられていると言えそうである。

今年に入って、地球環境をめぐる問題が国際的に大きくクローズアップされ、世界共通の重要かつ緊急な課題として各国の取り組みが求められている。オゾン層破壊、地球の温暖化、酸性雨、有害廃棄物、海洋汚染、熱帯林の破壊、砂漠化、野生生物の減少などの問題に対して、原因者の一人として、また同じ地球に住む一員として、わが国もできる限りの対策や改善策を講じていく責任があるのである。

*

本稿では「都市環境」を、人の住むまちとしての快適性の視点と、人間の生存条件としての地球環境的観点から捉えていくこととした。さらに、一つの試みとして、都市環境を構成する要素を「景」として大まかにくくりながら、良好な都市環境創造に向けての取り組みや目指すべき方向を述べてみたいと思う。

全体を「みちの景」、「建物の景」、「水の景」、「緑の景」、「気の景」、「音の景」、「あかりの景」としたが、「景」とは必ずしも視覚的に捉えた景観という意味ではなく、人間を取り巻く環境としての他の影響要因も含めた「様相」、あるいはシステムとしての「系」の意味あいをも持たせて用いている。

みちの景

わが国の道づくりは、モータリゼーションの波とともに、自動車優先に進められてきたと見れよう。世界的に見れば、まだその整備水準の低さは否めないが、近年までの道路づくりは、歩行者と車を分離しつつ、交通空間を確保することに重点を置いて進められてきた。しかし、ここへきて歩行者への配慮、すなわち歩きやすく、楽しく、快適な歩行者空間の確保が重視され、景観的にも質の高い道路づくりが行われるようになってきている。

道路の拡幅や既存の広幅員街路の改修とあわせて、ゆったりとした幅の歩道をとり、美しい舗装材を敷き詰める。電線を地中化し、優れたデザインの街灯やベンチ、ごみ箱、バス停、電話ボックスなどのストリートファニチュアや標識、サインを配して、歩いて気持ちのよい、また立ち止まったり、休んだりすることのできる歩道が整備されてきている。歩道と車道との間には、街路樹が植えられ、歩行者を車から守り、木陰やうるおいある景観を与え、車で通る人には美しい並木の景観を見せている。

小樽運河に沿う臨港線や神戸の税関線フラワーロードは、シンボルロード整備事業によってこうした魅力ある道路整備が行われた好事例である。

歩行者空間の整備において、舗装材は、周辺の街なみに調和する素材、色、舗装パターンに配慮し、年月を経ても最初の美しさを失わないことが重要である。たとえば石畳のように地味ながら時間が経つほど丸みを帯びて味わいがでてくるような、飽きのこない舗装材の開発、普及が望まれる。


神戸フラワーロード〔税関線〕

道路沿いに立ち並ぶ電柱や空中を交錯する電線は、日本的な景観でよいと評する人もいるが、無くしてみると景観が非常にすっきりしてくる。共同溝やＣＡＢシステムによる電線の地中化は、都心部では行われているが、多大な費用がかかることから、すべての道路に行き渡るには相当な年月がかかることを覚悟しなければならない。地中化の困難な道路では、電柱を道沿いから、建物の裏、すなわち建物どうしの境界に移設し、道路の無柱化を行っている例も見られるが、これも電力会社の管理の都合から実現不可能なことが多いため、電柱と道路に沿う電線はそのままにしながらも、せめて道路を横断する電線だけでも地中化できれば、かなりの景観向上につながると思われる。

「人」も都市の景観の中で重要な要素であることを忘れてはいけない。人の表情、服装、歩く速さ、人の集まる賑わいなどは、街の景観を大きく左右するものである。ヨーロッパの都市に見られる広場や路上に椅

子とテーブルを並べたカフェなどは、景観を楽しむ人そのものを景観の一部として効果的に取り込んでいる良い例である。美しく飾られたショーウインドウはそれ自体も景観の要素となるが、また人の歩みを止めさせることで、ウインドウショッピングを楽しむ人々を景観に取り込み、街に表情を与えている。わが国の都市にも、人の表情をなごませ、人を景観の中にうまくとけ込ませる、こうした工夫がなされてもよいと思う。

建物の景

都市の景観は、道路とともに、建築物が大きな構成要素となるが、わが国の建築物の現状は、残念ながら美しい街なみを形成しているとは言い難い。

かつての建築物は、材料や技術の制約や気候風土条件からある程度その高さや形態、色彩が揃っており、様式の統一感からくる街なみの美しさがあった。雪国の重厚な木造の家並みや、京都の町屋、ヨーロッパの石造建築物の街なみはそんな美しい景観を呈していた。

20世紀の鉄とコンクリートの建築技法は、それまであったさまざまな制約を克服し、自由な形態や大きさの建築物をいかなる気候風土のもとでも同じようにつくることを可能にした。それゆえに現代建築は世界共通の様式となり、また、それぞれの建築物はさまざまな高さや形態で自分の個性を競って表現し、街なみの個性も、統一の美も、新たにつくられてきた市街地にはほとんど見られなくなっている。最近では、装飾を排し機能美を追求して画一化してきたこうした現代（モダン）建築から抜け出し、新たな個性を追求するポストモダンが隆盛しつつあるが、どれほど個々の建築物が美しくなろうとも、全体としての調和がなければ街なみの美しさは実現できないだろう。

建築物の高さは、面する道路の幅員との関係から、街の開放感、圧迫感に大きく影響する要因である。ビバリーヒルズの住宅地とニューヨークの摩天楼はちょうど対局にあると言えよう。また、都市のシンボルとなっている城の天守閣や山の眺望を確保するため、道路や川を通して見る代表的な眺望景観の軸線上にある建築物の高さを一定以下に抑えるための合意形成も必要である。



北上川を通して見る岩手山の眺望〔盛岡市〕

街なみの美しさは、建築物の高さ、形の統一とともに、色彩の統一によるところが大きい。これも、現在の日本の都市では、ほとんど考慮されていないところで、壁面も屋根もそれぞれの建物が思い思いの色で仕上げられ、全体としての統一がまるで見られない。色彩は人間の心理面に少なからぬ影響を与えているものであり、都市のアイデンティティや快適性を左右する一つの重要な要素である。

また、建築物は上から見おろされることも意識する必要が高まっている。高層ビルやタワー、都市近傍の山などの眺望点からだけでなく、高架の道路や鉄道、飛行機といった移動する視点からも、パノラマ景観として都市が上から見られることが多くなっており、ビルの屋上の設備や色、屋根の色にも十分な景観的配慮がなされなければならない。建物から無数に突き出した色とりどりの広告や看板、屋上の大きな広告塔なども、都市景観を阻害している要因である。屋外広告物条例などにより、ある程度規制されているとはいえ、あまり効果は見られない状況である。

こうした、建築物の高さ、大きさ、形態、色彩、広告物などは、基本的に、規制などで上から抑えつけるものではなく、建築物の外観は都市景観の一部をなすきわめて公共性の高いものであるという認識のもと、企業や個人それぞれが良好な景観形成に配慮していくことによって調和が醸し出されるべき問題であると思う。そうした意味では、関係者の合意のもと、協定などが結ばれ、それが守られていくという姿が望ましい。

かつての日本の伝統的な町並みは、戦災による被害もあって、多くが鉄とコンクリートの現代的建築物にとって代わられ、どこの都市も同じような表情となってしまった。今はまた、街の個性が見直され、歴史的建築物の保存や修復が行われているが、ただ残すという史跡的な保存ではなく、外観はそのままに内部をレストランやカフェ、ブティックなどに改装し、洒落たプレイスポットして現代の都市の中に活かしていく試みが見られる。古い建物が逆に流行の最先端として好評を得ているのである。

水の景

かつて、江戸は水の都とよばれるほど堀や運河、川の多いまちであった。幕末の日本に1859年から1862年まで滞在した初代英国公使ラザフォード・オールコックが、その著書で江戸の町の美しさを讃えていることからもわかるように、江戸は世界の都市の中でも際立って大きく美しい都市であった。東京も、百年少し前までは江戸城を中心に水と緑の豊かな美しい町並みを見せていたのである。明治以後、舟運の衰退、生活排水の流入による水質の悪化、ゴミの投棄、悪臭の発生、地域の分断や自動車交通のネックとなったことなどから堀や運河は無用の長物と化し、埋め立てられ、戦後、残土の処分場としてほとんど姿を消してしまった。

現代の都市河川は、都市の過密化に対応しつつ、水を流すという機能に特化した整備がなされてきた結果、暗渠化されたり、コンクリートの単調な護岸と柵で覆われ、建物が背を向ける文字どおり日の当たらない存在となっている。しかも、湧水や地下水の減少、上流での取水などで水量が著しく減少し、ゴミや土砂がたまりやすく、下水道が普及してきたとはいえ、そこに生活排水などが流入して水質の悪化をきたしている。

海はまた、工場や倉庫が立ち並んで人が近寄ることのできる海岸が少なくなっており、汚水や工場排水の流入などから水は汚れて、一時は有害物質などによる海水汚染が深刻な公害問題をもたらした。

こうした治水、利水に特化した水管理から踏み出し、水をまちづくりに活用していく動きが起こっている。

一つは、街の景観における水や水辺の復権への取り組みである。緩傾斜堤防や階段状護岸、水辺の緑化による親水空間づくりであり、ウォーターフロントのまちづくりである。河川事業では、ふるさとの川モデル事業やマイタウン・マイリバー整備事業といった、景観的にも美しい、水に親しめる河川改修を行ったり、川の周辺のまちづくりと一体的に川を整備する事業制度を創設して、その活用を図っているところである。また、神戸ポートアイランドやハーバーランド、横浜のみなとみらい21、東京隅田川の大川端再開発のような、水辺を活かしたまちづくりが始まっている。

二つめは、水の有効利用を図る動きであり、ビルなどで一度使った水を処理して、トイレなど飲料水以外の用途に再利用する「中水道」の導入や、下水道処理水を渇れた川や水路に流して失われたせせらぎを復活させるアメニティ下水道モデル事業の実施である。こうした、限られた水資源を有効に活用する技術の開発、導入は、今後さらに進められていくべき重要なテーマである。



多摩川高水敷の河川公園〔東京二子玉川付近〕

三つめは、水を使ったまちのうるおいづくりである。噴水は以前からつくられてきたが、水の、あるいは水と彫刻とを組み合わせたモニュメントをおいたり、街なかや公園の中に水をひいて滝やせせらぎをつくったりする取り組みが行われている。

緑の景

日本の都市の都心部では、街路樹は比較的よく整備されてきているが、公園のような大きな緑のオープンスペースはまだまだ量的に低い整備水準となっている。

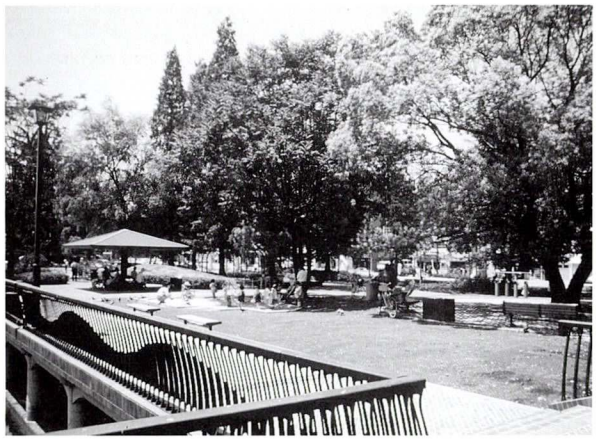
樹木の緑は、水と並んで現代の無機的な都市の景観にうるおいを与えるだけでなく、人に木陰を提供し、騒音を低減させるなど別の効用も併せ持っている。さらに、植物はその呼吸などにより空気を浄化し、酸素を供給し、気温を下げる効果もあり、保水効果により雨水の急速な流出を抑えることにも役立っている。このように、街の緑は、都市や地球の大気環境を維持保全する重要な要素である。この意味では、次に述べる「気の景」にも密接に関係してくるのである。

街路樹について言えば、大きくて豊かに繁る樹木を植えるには、その枝葉の広がりや根を大きく張る必要から、広い道路が必要であり、広幅員街路整備の必要性の一つとなっている。また、樹木の必要とする水分を供給するためには、根のまわりをなるべく広く土のままの地面とし、さらには周辺の地表を透水性の舗装にするなどの配慮が必要である。こうした高木の間に、低木や花の植え込みやフラワーポットを置くところ

も多く見られ、こうした人のスケールの身近な緑も、景観に魅力を与えるものとなる。

また、ビル敷地内の公開空地の緑化についても、最近盛んに行われており、ベンチなどを配して憩える空間としたり、流れる水と組み合わせて快適なポケットパークとして整備されていたりする。

あとの「あかりの景」で述べるが、最近、街路樹や公開空地、また公園などの樹木を夜間ライトアップしたり、イルミネーションを施して、夜の景観の中で沈みがちな緑を浮かび上がらせている例も増えてきている。



うるおいある公園づくり〔呉市〕

都市公園や緑地についても、より親しみやすく、美しいレクリエーションスペース、オープンスペースとして積極的な整備を図っている。さらに、広場公園整備事業やタウンスクウェア整備事業などにより、街角や商業、業務地の中に憩いの広場をつくりだしている。また、神社仏閣やかつての一里塚などの歴史的な大樹は、街の歴史を現代に残し伝えているだけでなく、都市のランドマークとして景観的シンボルとなり、街の個性を表現する貴重な資産であるため、保存樹の指定などにより残していくよう努力がなされている。

起伏の多い都市では、斜面の緑も景観の中で重要な要素となっているが、近年、斜面まで建築物敷地として使われるようになってきており、こうした貴重な緑を極力残していくよう努めていく必要があろう。

「建物の景」で触れた山の眺望も、遠くに見える緑として、街の貴重な財産となるものである。

気の景

都市の大気環境の要素は、気温、湿度、清澄さ、においなどである。気温と湿度は、屋内では空調装置などによって快適な条件に制御されているが、屋外では気象条件に左右され、都市整備の観点からは今のところコントロール不可能な要素である。むしろ都市における高密度な社会経済活動に伴う大量のエネルギー消費と熱の排出、そして屋内の冷房に伴う排熱のため都市の気温が高くなるヒートアイランド現象の発生が問題となっている。さらにフロンやメタンの放出、化石燃料使用に伴うCO_2濃度の上昇によって、地球全体の温暖化現象が進みつつあり、地球気象の変化や海面上昇の兆候が見られるようになってきている。

これからの都市づくりにおいては、エネルギー消費の合理化を図るため、ビルや住宅、工場など個々の企業や住民がエネルギー消費を抑える構造、設備への改善やエネルギー転換を進めていくとともに、都市全体としての構造やシステムの改善を行っていく必要があろう。大気汚染については、わが国では諸規制の充実によりかなりの改善が見られているが、大気中の窒素酸化物濃度は再び上昇傾向に変わりつつある。改善されてきたとはいえ、工場の排煙やビルの暖房給湯用ボイラーなどが、こうした大気汚染の一要因となっていることは言うまでもない。

島国である日本では、風が吹けば汚れた空気はどこかに消し飛ばされてしまうため、あまり問題となっていないが、多くの国が地続きで連なるヨーロッパでは、窒素酸化物、硫黄酸化物濃度の上昇によって強い酸性の雨が降り、森林被害や石造建築物への被害をもたらす酸性雨は国境を超えた大きな問題となっている。大気は水と同様、有限で人間の生存のための必須の要素であり、景観や音のように目や耳をふさげるような性質のものではないため、その維持、改善のための取り組みをあらゆる分野で真剣に進めていく必要がある。

前述したが、植物は酸素を供給し、大気汚染物質を吸着し、さらに気温を下げる効果を持っているため、残された緑の保全、都市の緑化は大気環境の維持、改善に重要な意味を持つものである。こうした観点からは、都市の樹木は景観的な美しさのみならず、空気の浄化作用の高い、頻呼吸性という観点も考慮して選択する必要があるように思われる。

においについての研究が、最近進められており、人を落ち着かせる効果のある檜の成分や、精神活動を活発にする花の香りなどが発見されて、空気清浄機などと併せてオフィスやリラックスルームなどに応用されつつあるようだが、屋外については、においのコントロールは困難である。当面、行っていくべきことは、

発生源対策の強化により大気汚染の低減を一層進めていくこと、また、排気ガスやゴミなどの悪臭を除去、低減させる技術の開発であろう。屋外での香りの付加は、人工的には困難だが、木や花を増やすことによって行っていけるのではないか。

音の景

現代の都市は、音に満ちあふれている。しかし、われわれは音に関しては鈍感にならされているのかもしれない。車の騒音、工事の騒音、人のざわめき、スピーカーから流れるアナウンスや音楽など、ある意味では活発な都市活動を象徴しているとも言えようが、見つめ直す必要がありそうである。

聴覚は、視覚に次いで重要な感覚であり、音が人間の心理、生理に与える影響は少なからぬものであるはずであり、快適な音環境づくりも都市環境を考える上で重要なテーマである。

高速道路をはじめとする自動車専用道路については、沿道に対する騒音を低減するために緩衝緑地帯や遮音壁の設置等の対策を講じているところであるが、一般道路では沿道の利用などから考えて、こうした「壁」で塞ぐことは困難である。したがって、こうした道路では、むしろ走行、排気騒音の低減を図る交通流の円滑化や自動車自体の対策が必要である。遮音壁についても、近年では周辺景観への配慮から見た目にも美しい色彩の工夫を行ったり、ドライバーに対する快適性の向上のため、ところどころに窓を設けたり、スリットから外の景色が見えるようにしたもの、透明板による遮音壁の試みなどさまざまな工夫を行っている。

スピーカーを通して街に流される音の問題は、人によりさまざまな評価もあろうが、その低減は法的規制をもってするものではなく、基本的に企業や市民のモラルの問題として取り組まれるべきものであると考える。これは、最近言われている近隣騒音、生活騒音も同様である。

騒音の低減の一方で、都市にうるおいのある音を付加する試みが見られる。まさに音の景としてのサウンドスケープと呼ばれる研究分野がでてきており、その試みの一つ、「ささやきの聞こえる橋」と名付けられた横浜駅西口の西鶴屋橋では、人が通ると微妙な音のささやきが聞こえてくる工夫がされている。昔の街にはあった時を知らせる寺の鐘のような自然の音も、最近では聞こえなくなった。代わりに、スピーカーを通してチャイムが流されたりしている。回顧趣味ではなく、都市の音も人工の音を抑えながら、自然の繊細な音を取り戻し、鈍くなった音への感受性を復活させるための取り組みが求められている。景観が目を楽しませるように、耳を楽しませる音環境の創造が必要なのである。

あかりの景

あかりは、特に夜の都市景観において重要な要素である。昼間の景観と比べて、夜間景観の最大の特徴は、照明されている部分だけが目に映ることであり、照明によって夜の景観は良くも悪くも大きく変わり得る。

近年、歴史的な建築物や橋などを投光照明するライトアップが各地で盛んに行われるようになってきている。昼間は目立たない存在であっても、ライトアップによって、都市のランドマークとして、街の歴史や個性のシンボルとして、夜の景観の中に浮かび上がらせることができるのである。横浜の歴史的建築物や新潟市の万代橋、新しい物では東京タワーや首都高速道路の葛飾ハープ橋などがライトアップの事例として有名である。また、街路樹や彫刻をライトアップしたり、樹木にイルミネーションを施して、夜間景観にうるおいやにぎやかさを演出したりする例も、仙台の定禅寺通りや札幌大通り公園のホワイトイルミネーションなどでイベントとして行われている。



キングの塔のライトアップ〔神奈川県庁〕

ただし、何でも明るければよいというのではない。ライトアップした建物などを引き立たせるには、その周辺の明るさはむしろ抑えなければ、せっかくの演出も意味をなくしてしまう。このように、明るくすべき

ところと暗くしておくべきところを明確にしながら、景観に配慮した照明を整備していかなければならない。これまで、街路などの照明は、路面での照度を確保し、車道および歩道の道路機能を保証することを目的として整備されてきた。明るさの確保が一定水準で行き渡ってきたことから、今後はさらに、夜の景観や道路を利用する人の快適さにも配慮した照明の整備へと進むべきであろう。たとえば、光源の高さに着目すれば、人の顔の高さにあって、顔を生き生きと見せる柔らかいあかりや、足元から出て歩道面だけを照らすあかりなど、人のためにもっと人のスケールに合った照明の工夫ができるのである。

また最近では、ガス灯風のデザインやアルミ、ステンレスを用いたモダンなデザインの照明灯が増えてきているが、昼間の景観上の効果だけをねらったものも見られる。灯具自体のデザインも重要であるが、むしろ夜間においては、照らされている面や発光しているあかり自体の明るさや色が重要なのであり、特にあかり自体は光の列として目に映ることから、そうしたあかりの見え方のデザインに配慮したり、強い光が直接目に入って眩しすぎたりしないような工夫が必要である。また、せっかくデザインに工夫してつくられた街路灯も、樹木やストリートファニチュアとの位置関係に配慮して設置されていない例が見られ、樹木に隠れてしまっている照明灯、バス停の屋根の真上にあって歩道に光が届かない照明灯などは、結局役に立たないものとなっている。

夜の景観の中で、ビルの窓から洩れるあかりも重要な要素であるが、下から見上げると、オフィスの天井に単調に並ぶ蛍光灯の列が、眩しく目に入ってくる。これは、屋内の問題ではあるが、オフィスビルの室内照明にも、こうした景観の一要素としての自覚を持った工夫が望まれるところである。

また、街にあふれる広告や看板などのあかりも、昼と同様、さまざまな色の光を放って夜の景観に大きな影響を与えている。賑わいを演出すべき通りなどはそれでもよいのだが、落ち着きある街なみや洗練された夜間景観を演出すべき場所では、設置者による景観への配慮を求めるべきであろう。

ショーウィンドウをはじめ、建物1階部分の照明も重要な要素であって、閉店後シャッターを降ろして光のなくなってしまう商店街やオフィス街の銀行などについてはシースルーシャッター化した上で、人通りのある時間まではショーウィンドウを照らしておくなどの取り組みが求められよう。



ショーウィンドウのあかり

おわりに

これまで見てきた個々の「景」は、それぞれ単独に存在するものではなく、互いに有機的に結びつきながら全体として一つのシステムをなし、複合的作用をわれわれにもたらしているものである。したがって、システムとして都市環境を捉える視点を持ちながら、個々の景においてその向上に努めていくことが、総体として、良好な都市環境の創造につながっていくのである。

良好な都市環境の実現に向けて、建設省としても質の高いものづくり、市民意識の向上をより一層進めていくため、今後も施策の一層の充実に努めていくこととしている。なかでも、良好な都市景観の形成を推進するため、景観形成の先導的モデルとなる都市を指定して、従来から個別の事業においてそれぞれ実施されてきた景観施策や規制・誘導方策を、景観ガイドプランに基づいて総合的に実施する「都市景観形成モデル都市」制度には、個性豊かで、魅力とうるおいあるまちづくりを実現するものとして、大きな期待が寄せられている。より良い都市環境の創造のため、個人、地域、企業、地方公共団体の各層においても、それぞれの役割を常に認識しながら、積極的な取り組みが行われていくことを期待するものである。

*

以上、都市環境のごく一部分ではあるが、「人の生きるまち」づくりを目指した良好な都市環境創造のための課題や取り組みについて、かなり私見も交えながらまとめてみたものである。

（はやしだ　やすたか　建設省都市局都市計画課都市環境計画係長）

各論 I

都市景観と環境装置
—関係と組み換えの環境デザイン手法—

西沢　健／森田昌嗣

■はじめに　我が国は戦後、工業化を主に、欧米諸国に肩を並べる経済大国として国際面での重要な役割を担うにいたっている。とくに、私たちの生活面で、工業化が家庭電気や車など私的生活面での充足を果たしているのに対して、都市整備の面では、他の先進諸国の三分の一にも整備レベルが満たない状況である。

工業化に託された夢は、生活の向上を願い、経済面での復興による豊かな生活基盤の形成にあったが、反面、私たちの生活を取り巻く環境基盤に対しての配慮までの余裕が持てなかったのが実情であろう。しかも、高度経済成長により大都市集中に拍車がかかり、早急な効率主義の整備（道路網の完備、土地利用の拡大等々）が先決で、都市景観の問題にまで手が回らず、まずは都市を支えるインフラにできるだけ簡便に対処する状況をつくり出してしまった。

当然のことながら、都市を成立させるためには、交通、エネルギー、物流、通信などのインフラを円滑に運用する必要がある。都市建設はこれらインフラを支える役割を担い、維持管理の関係上、公共空間の道路を中心に、所狭しとインフラを張り巡らせることになる。

都市計画レベルでのインフラ整備には、人々の身近な所で、さまざまなインフラ端末が出現する。たとえば、車交通の秩序を維持する信号や標識、公共輸送交通と歩行の接点となる各鉄道駅やバス停、エネルギー供給のための電柱や、電線の地中化に伴う配電ボックス類、物流が路上に出現する売店や、自動販売機、宅配便の荷降ろしと交通の関係、通信端末の電話ボックスや、今後展開が予想されるビデオテックスなどの情報端末などなど、公共空間に出現するイン

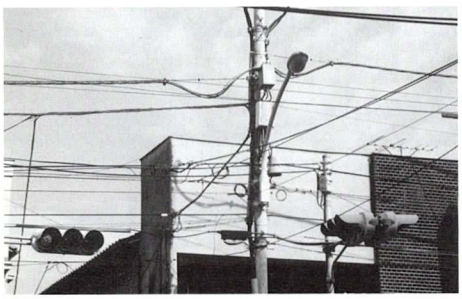


写真 1　インフラ端末の無秩序な現状。整理の手法が望まれる

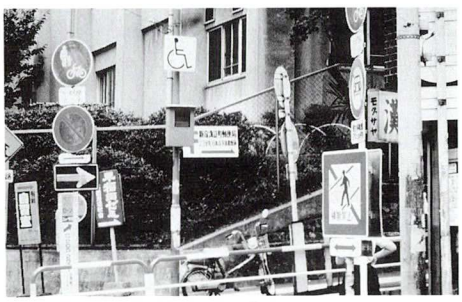


写真 2　各種標識類の混乱。集約や複合設置の手法が必要とされる



写真 7　交通インフラ。高速道路高架の現状。都市景観の大きな対象とする必要がある



写真 3　横断のためだけの装置でなく、景観に節をつくる対象として計画する必要がある

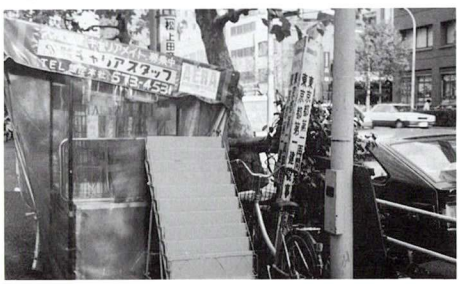


写真 5　路上の売店類。他の路上装置と同様に、一体となった整備が望まれる



写真 4　地下鉄出入口上屋。公共交通利用上のかなめとなる。景観上の配慮と、わかりやすさ、利用しやすさの視点で見直す必要がある



写真 6　ゴミ置き場の問題。空間の確保、住民へのルール化などが必要である



写真 8　都市の公共交通機関(交通インフラ)、モノレール高架の現状。新しく都市に突出する施設として景観面での検討が必要とされる

フラ端末は枚挙にいとまがない。

また、安全で快適な道路環境をつくり出すための照明や植樹の配備、歩車分離のための歩道橋や地下道の完備からガードレールや車止めなど、都市生活面での装置の出現も、道路空間でまかなわれている。〔**写真1～8**〕

インフラ端末の装置や都市生活装置は、人々の公共生活を助け、かつ日常で触れる都市景観の重要な要素である。これら都市装置が景観面で果たす役割を論点に、事例を紹介しながら述べてみたい。

■環境における価値の転換

近年、経済の活性に伴い所得水準の上昇、平準化が進み、余暇の増大とともに、より高次の豊かさが求められている。また一方、高学歴化社会の浸透が、多様な精神的、文化的な豊かさを求めるようになってきている。このことから、都市の文化や環境に対する意識が、今までの機能性、効率性に傾斜した考え方から、質と精神的充足を重視する状況を生み出しつつある。とくに緑豊かで潤いのあり、かつ個性をもとめる住宅地の建設や、より快適な執務環境を求めて、インテリジェントビルなどの業務施設の建設が進められている。今まで質より量の供給を目指してきた建築産業の方向から、量から質へ、かつ環境への広がりへの価値の転換である。この傾向は、都市の公共空間へ少なからず影響を与え始めている。

これら環境における価値の転換には、科学技術の進歩による情報化の波は一つの要因となろう。高度な情報化により、さまざまな多くの情報が同時に提供され、個人の判断で個々にその情報を見出していく必要から、価値の多様化や、その場その場で身軽に対応できる良い意味での軽薄短小な考え方が、価値の転換に起因していると思われる。

ここで重要なことは、価値の多様化や軽薄短小の考え方が、今までの一方向からの視点を、多数の可能性の視点に転換しえたことにより、都市環境への質の要求と精神的な充足を引き出しているが、都市づくりの新しい手法にはなりえてないことである。

多様化や軽薄短小の傾向は、情報化社会の中から生まれた現象であり、この現象面が流行として表面化している点が問題である。つまり多様で臨機応変、変幻自在な軽薄短小は、あたかも人間的な意味合いを強調し、一つの流行から目先のことに終始し、未来のイメージが欠如しているところに原因がある。

現象にとらわれ、目先の流行や私的要求を満足させるために、かたちだけの表層によるバリエーションの展開でその要求に答えることは、多様な価値の解釈の履き違いである。とくに公共環境を構成する装置や施設に対し、個々が個々の嗜好で展開することは、新たな都市景観の矛盾を見せる結果にもなりえる。

個性を尊重し、主張する手法は重要な都市景観の質を引き出す要因にはなる。が、しかし、そのこと以前に、都市を成立させ維持し続ける今までの社会のシステムと、これからの科学技術や思想が生み出していく新しい社会のシステムを踏まえた、大局的視野での未来像を模索する手法を見出すことこそ、都市景観づくりの鍵を握っているといえる。

環境の装置は、社会システムが空間に姿を表す対象であり、そこでの、〝しくみ〟と〝表現〟のコンビネーションの追求と試行錯誤が新たな質の景観を生み出してゆく。

■環境デザイン・関係と組み換えの手法

環境に対する関心は、1960、70年代に、多くの都市計画者や建築家が提唱したユートピア都市構想立案の時代から、80年代に入り、より身近な周辺環境づくりに向けられている。

ユートピア都市構想は、高度経済成長を背景に人々に、未来の夢と可能性を提案することであった。しかし、オイルショック（クライシス）以来、現実の都市環境（公害問題から都市生活そのものまで）が再認識されるようになった。それはマクロに都市を捉え、都市機能の充足と処理効率を主体とした、それまでの都市計画の問題が浮き彫りにされた結果ともいえる。

マクロな都市づくり（環境デザイン）は、都市生活の潤いを犠牲にしながらも、都市に活気と刺激、そして新たな夢をつくり出してきたことは否定できないし、ここで物知り顔で都市問題を云々する気はない。ただ、マクロの視点だけでは都市づくりは不十分であり、マクロな環境デザインとともに、ミクロな環境デザイン「人と触れ合う環境のさまざまな要素と空間のデザイン」との相互の関係をいかに計画するかが、重要な手法として浮き彫りにされてきた。

環境装置はミクロな手法の一つとして位置づけられる。都市の機能、景観と人、そしてそこでのデザインの関係について、近年、多

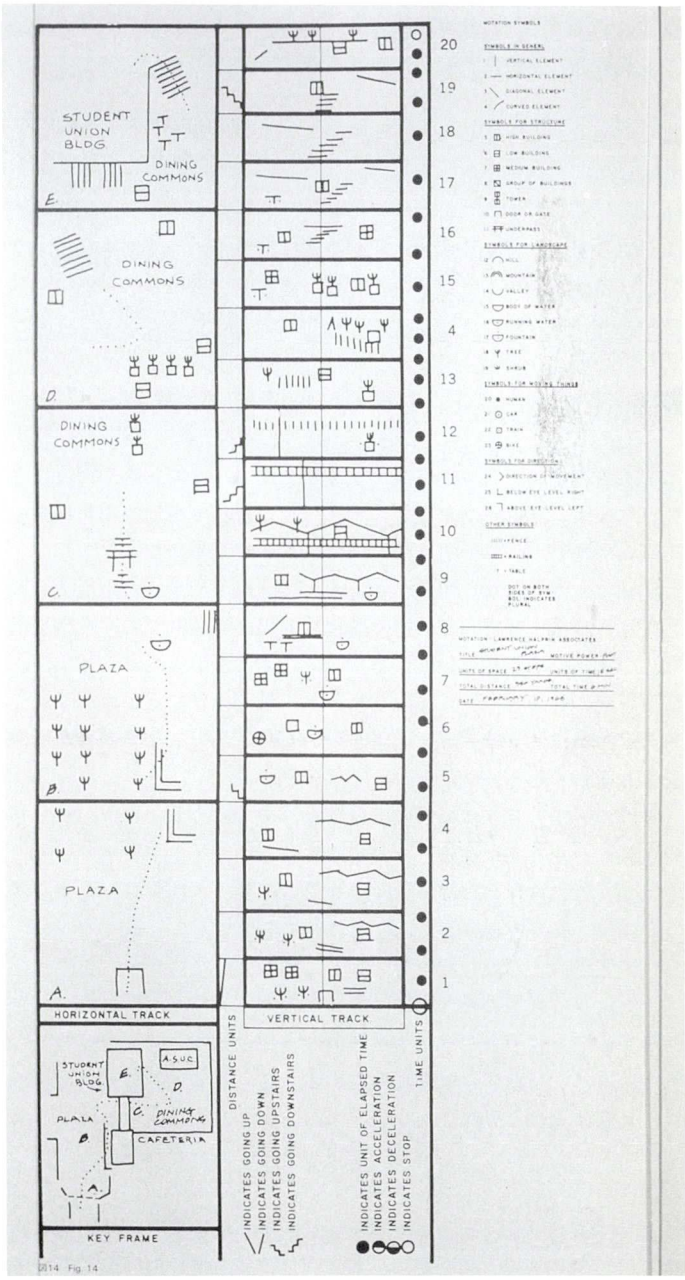


写真9　図：ハルプリンによる景観の譜面化の例

彩な計画方法が示され、注目されてきた。リンチが『都市のイメージ』で景観と都市デザインの方策を示し、アレグザンダーの『パターン・ランゲージ』では、人の行為と都市空間との関係をパターン化し、環境デザインの手法の中に共通の記号化を試み、ハルプリンの『テーキング・パート』では、住民参加の環境デザインの手法を、人のパフォーマンスから模索し、人の時間変化と景観の関係を譜面化するなど、さまざまな計画手法が示されている。〔**写真 9**〕

彼らの環境デザインの手法は、不特定多数の人々が共に生活する都市環境に対し、できる限り土俵の異なる広い範囲（行政担当者、計画者、設計者、デザイナー、芸術家、そして住民など）の相互の共通言語を見出し、互いの視点を闘わせることにより、不確定な都市生活に必要とされる環境をデザインする本質を引き出すことに力点が置かれている。換言すれば、環境デザインは一人の、または数人の天才が机上で熟考する方法ではつくれない対象であり、逆に多数決で決定できる簡単な問題でもないことを示している。多くの専門家とそこで生活する人々を取り込んだ、もっとも身近な総合造形の対象ともいえるだろう。

技術が先鋭化し、専門性が高度になるにつれ、細分化された現在においても環境づくりは、あくまでも人と直接に結びついた対象であり、そこで求められるのは、人の環境に対する欲求（刺激、安らぎ、楽しみ、落ち着きなど）を発散させる場である。

さまざまな要求を空間に取り入れた環境をデザインするという行為は、都市が抱える社会のシステムと、そこで専門分化された内容を結びつけ、新たな組み換え（リコンビネーション）、そこから生まれた新しい「しくみ」にかたちを与えていくことである。相互の関係と組み換えによる環境デザイン手法は、多くの可能性を秘め、その試行錯誤が環境をデザインする奥の深さと、方法の広さを予感させる。

■都市景観における環境装置の役割

都市景観は、マクロな環境デザインの面――土地形状や河川などの自然要素、鉄道や道路などのインフラ、そして用地の使われ方を決める土地利用、その用地内に建てられる建築施設などがつくり出す部分と、ミクロな環境デザインの面――路上や広場の生活上必要とされる施設・装置、インフラ端末などの環境装置がつくり出す部分、により形成されている。基本的に、マクロな環境デザインは、都市景観形成の中で、人々の遠景から中景の視野でその役割を示し、ミクロな環境デザインは、近景からの人々と身近に接する景観を構成する役割を担っている。

身近で近景を見せる環境装置は都市の中では小さな単位だが、多数出現し、そこでは連続して景観に秩序をつくり出す役割をも担っている。この秩序の形成は、マクロでは表現しきれなかった街並みの景観に、新たな個性を見出すことを可能にする。

環境装置は、景観の秩序をつくる役割を担っているからこそ、前述したように表層の処理だけに委ねたデザインでは、新しい秩序を創造することはできない。環境装置は厳然と都市の機能を受け持つ責任があり、いたずらに都市内に出現している要素ではない。連続して必要とされる意味が内在し、また、個々の成立条件とその形状についても、都市生活と機能の関係を明確に伝える義務を有している。

また、環境要素はその単位が小さく、個々に投入する整備費も限られた範囲で整備される場合が多い。日常の維持管理の面でも量と種類が多く、単体の建築施設とは異なり、行き届いた手入れが難しいのも実情である。ただ、再開発事業や区画整理事業などの面開発に比べ、環境装置による整備（たとえば街のサイン整備や照明、歩道の舗装などの点や線整備）は、新設の道路事業などの用地買収を伴わない限り、整備費や整備期間が比較的手頃で着手しやすい点で、各地での実践が進められている。

環境装置の整備は、事業への取り組みやすさに加え、地域の個性を求め、すぐに実績として目に触れる点も示される。とくに最近、商店街のモール化が各地に浸透し、商業の活性へ向けた個性づくりを進めている所が多く見受けられる。商業活性化の目標での実践のためか、表情や現象にとらわれたデザインが多く見受けられ、環境装置の持つ費用や整備のしやすさが、逆に表層処理に陥ってしまう端的な例といえる。とくに、西欧で歴史の変遷を踏まえて実践されてきた経緯を、表情の部分だけ模倣した借り物を展開している所が多く、国内各所に似て非なる西欧擬の街並みとなっている。

他方、街並み保存と修復の解釈を、客寄せ的な手法で実践する傾向も見受けられる。保存、修復の考え方には、歴史の蓄積と伝統を次代に継承する役割があり、都市景観づくりにおいて表層の化粧として実践することとは、解釈に違いがある。伝統を残す手法は、活動を続ける都市の景観を規制することではなく、その時代を十分に認識して、次の世代へ引き継げる新しい都市景観の整備を見出すことである。過去の都市にはなかった都市機能の存在（交通やエネルギーなどのインフラをはじめ、今後の技術の進展に伴う新しい都市機能の出現）を否定していては街づくりは実践できない。

西欧の模倣や伝統への回帰による手法は、すでにつくられた「しくみ」を場所を替えて展開しているのに過ぎず、各所でおのおのの個性を導き出すことが目的で整備したのにもかかわらず、多少の表情の違いこそあれ、似通った景観をくつり出すことになる。この傾向は商店街モールに限らず、公共道路や広場でも、商店街の影響からか同じような展開が見られる。環境装置とその空間や地域との関係を組み換えることでつくられる環境装置の新しい「しくみ」とデザインの追求が、商業地区、業務地区、住宅地区など、そこでの個性を生み出すことであり、安易な模倣や復元は、未来の都市像の創造へと結びつくことにはならない。

■関係と組み換えによる環境装置の実践

環境装置により都市景観を再構成する手法は、近年、私たちも含め、各所で試みられ始めたばかりである。ここでは、私たちの事務所で、この数年内に実践した以下の代表的事例を紹介しながら、今後の都市景観と環境装置の関係と、新しい組み換えの方向を探ってみたい。

□既成市街地での実践

既成市街地は、今までの整備により、煩雑にインフラ端末などの環境装置が露出している。環境装置が景観づくりに果たす効果は、既成市街地では、縦割りの管理運営体制により、今まで相互の関係を考慮せず、おのおのの装置が設置管理主体により個別に設置されている状況に対し、積極的に整理統合し、景観に秩序を与えることが、まず重要な計画テーマとなる。

地域によりさまざまな現状があり、それを十二分に取り込んで計画を進めることで、おのずと、その地域の特性を引き出すことができる。諸外国や他地区の好事例の「しくみ」は、先人の知恵として活用することが重要である。ただしそこでつくられた造形を模倣する手段では、本当の、その地域にあった個性を表現することはでき

ない。

私たちは、既成市街地での環境装置のデザインを実践するにあたって、上記の基本方針に基づき、たとえば道路景観全体にかかわる計画から、サインやストリートファニチャーの個別の装置の計画においても、一貫した姿勢で取り組んでいる。

●通りの総合的展開〔横浜市鶴見区／東口中央通り〕

横浜市は、魅力ある道路づくり事業の一つとして、鶴見区の中心地、ＪＲ鶴見駅東口から区役所へ至る通りを整備対象として、事業化した。この事業は、事業名が示す通り、横浜市内の主要通りに対して魅力づけを行うことが主題であり、各地でさまざまな工夫が施されている。

東口中央通りは、昔ながらの駅前商店街の通りであり、駅前広場を起終点に、整備前は片側車道３車線と６ｍ歩道の構成であった。計画では、車道１車線ずつ歩道に拡幅し、電線の地中化を行い、約９ｍのゆったりとした歩行空間を確保することであった。現状は、通常の一般道路と同様に、道路管理者や交通管理者のほか、各関係事業者が設置する装置が、個別に設置され、特徴のない煩雑な景観を見せていた。

計画では、次の点を骨子に、通りの連続景観のあり方を実践した。

(1) 周辺や路面と、工作物（環境装置）が互いに関係づけられた立体的な連続環境をつくる。

(2) 工作物に対し、デザイン上の集約化と、工作物相互の共存化を図り、秩序ある景観をつくる。

(3) 鶴見川に代表される水のイメージと、緑豊かな景観に支えられた地元のための空間をつくる。

具体的には、通り全体は、中央分離帯に線材構成（折り鶴の折れ線をモチーフ）の照明灯を連続させ、通りの軸線を強調する。歩道部は、植樹帯の線型を、流れをイメージした歩行速度で緩やかに変化するウェーブ状に計画し、その中に歩道照明、各標識、配電ボックスを配し、できる限り複合・共架する手法を盛り込む。

とくに、共存柱と呼ぶ列柱は、歩道空間を立体的に変化づける役割と、その共存柱に環境装置を共存させることにより、環境装置相互の関係を景観の流れにまとめ、新しい個性を生み出すことが目的であった。たとえば共存柱に取り付けたサインや掲示板、電話ボックス、宝くじ売り場と、配電ボックスの位置の調整を行い、互いに異なる装置を、共存柱により一体となった空間へと転換している。

この事例は、空間と装置の一体となった実践が目的であり、その中で、とくに装置相互の複合・集約・共存の手法による「しかけ」は、今後、より一層の工夫が必要とされる。〔写真10・１～５〕

●環境装置／ストリートファニチャーの展開〔大阪市と川崎市の事例〕

大阪市と川崎市の事例は、事業の目的や進め方こそ異なるが、歩行者サインを都市の環境装置として取り込む点で共通であり、そこで計画、実践した装置に対する考え方の違いや、地区の特性により、同じ装置の異なる「しくみ」と表情の違いを中心に述べてみたい。

道路の案内誘導にかかわるサイン類は、道路標識令に基づき、主に車交通利用上では、国内で一定の基準により整備されている。これに対し、歩行者利用の案内誘導サイン類の整備は、一部の地区を除き、ほとんど整備されていないのが現状である。

また、街をわかりやすくする目的は、表示（案内図や施設名誘導など）を伴う標識類だけの整備では不十分であり、ストリートファニチャーや他の環境装置との関係を検討し、まとまりのある景観を形成することが重要である。とくに、道路標識や、通りや広場の景観特性を見せる照明、バスストップや地下鉄の出入口などの交通施設などとは、密接な関係がある。



写真10・1 東口中央通り（横浜市・鶴見区）。中央分離帯の連続照明が、通りの軸景観を形成する



写真10・2 広幅員歩道、ウェーブ状の植栽帯と舗装、共存柱により建てられたバスストップのパーゴラが、ゆったりとした歩道空間を形造っている



写真10・3 歩道照明と、集約化された標識類。従来の支柱を整理し、秩序のある景観を生み出している



写真10・4 案内サイン、掲示板の背面に配置ボックスを共存させている



写真10・5 共存柱により複合化された装置群。左から、電話ボックス、宝くじ売り場、案内サイン、掲示板

①大阪市サインシステムとサインタワー







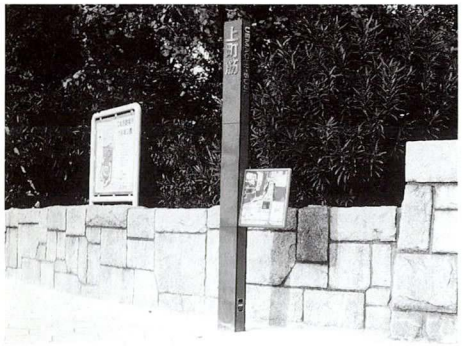


写真11・1（左上）
拠点サイン。通り名、市全体、周辺案内で構成。各主要交差点（地下鉄出入口）に配置

写真11・2（上の中）
街路サイン。通り名と通り周辺案内で構成。通り延長内に歩行距離と合わせて設置

写真11・3（右上）
周辺区主要拠点サイン。主要拠点名と、区を中心とした案内で構成

写真11・4 大阪市サインシステム。周辺案内サイン。通り名、周辺案内で構成。拠点サインと連係して配置



写真12・1
大阪サインタワー。基段部に大阪の歴史性、中央のシンボル部に大阪の現在、そして上部のトラス状の部分に未来へ伸びる大阪のモニュメントを構成



写真12・2
大阪市の記名、道路照明、シンボルのライトアップおよび道路標識を一体集約化している

大阪市は、骨格道路が南北軸を『通り』、東西軸を『筋』と呼ぶ通称名で親しまれ、その道路を基本に、地下鉄が整備されている。この都市構造に基づき、鉄道駅と主要施設、『通り』と『筋』の交差点（地下鉄の駅が多い）を拠点として位置づけ、歩行移動の幅広い可能性を拠点で受け止め、移動の手がかりとなるサインシステムを実践した。

各サインには、歩車両用の通り名か拠点名を明記し、通常、標識令で示されている道路名標識や著名地点標識に代わる役割も担い、集約化の考え方を取り入れている。支柱と表示面による単純な構成と、アルミ合金鋳物の素材の活用は、流行に左右されない、時の推移へのデザイン面での対応策として計画された。〔**写真11・1～4**〕

この計画の延長で、都市のスプロール現象により不明瞭となった大阪の市域を顕在化する目的で都市ゲート『大阪サインタワー』を計画し、現在、一部の設置が完了している。『大阪サインタワー』は、大阪市の記名を主体に、市境の主要交差点近くの立地性を考慮し、今まで設置されていた道路標識と車道照明および新たに歩道照明をこのサインタワーに共架し、かつモニュメントを取り込んでいる。このことで、今までは機能別の数本の支柱を要したものを、新たな環境装置として設置されるサインタワーにより、逆に一本に集約化し、景観面での整理と、そこに建つシンボルの個性を引き出すことができた。

今後、大阪市の例のように、サイン整備一つでも、景観と都市内の装置の解釈の組み換えにより、新たな景観整備の可能性を見出すことができよう。〔**写真12・1、2**〕

②川崎市ストリートファニチャー

川崎市は、川崎駅を中心にループ状に都心部が形成されていることから、この整備は、今後、都心全域にループの拡大により浸透することを計画の骨子とした。サイン・ストリートファニチャーは、各ループの主要拠点に点在させ、互いに関連した造形により、都心の独自性を表現する手法を展開している。

川崎市は、インテリジェントシティを目指し、今までの工業都市のイメージからの脱皮をこの開発のデザインに盛り込み、清潔さとまとまりのある景観づくりを心がけている。サイン・ストリートファニチャーの計画も上記のデザインイメージを踏襲し、ステンレス素材を生かし、簡潔で優美なデザインを基本としている。サインは表示内容別にユニット化し、設置状況に合わせ、組み合わせの展開が可能なシステムを取り入れている。ファニチャーについても、たとえばバスシェルターは、シェルと支柱の組み合わせの展開を基本に、設置条件に則した将来の適応を考慮して計画した。〔**写真13・1、2**〕

この事例は、今まで事業主が異なり、個々の都合によって進められてきた整備に対し、景観のまとまりとそれが生み出す個性づくりの一つの事例として示すことができる。

川崎市との比較事例として、松江市での実践を紹介する。この事例は、歴史観光都市の背景を持った街での、環境装置の実践について示すことにある。前述したように、歴史や伝統は、街の成り立ちや思想に反映されるものであって、現代都市に求められる機能に、表層の模倣で対処するものではない。私たちはこの考え方に基づき、都市の構造や観光価値を歴史や伝統に求め、環境のデザインについてはあくまで現代都市・松江を基本において計画を行った。

実践された事例は、駅前に建つサインやバスシェルターに限られるが、川崎と同様、ユニットで構成しながら、配置や照明の工夫により、駅前のシンボル性を表現している。これらのデザイン上の基本構成は伝統を取り込み、表現される形態や素材は都市機能と現代

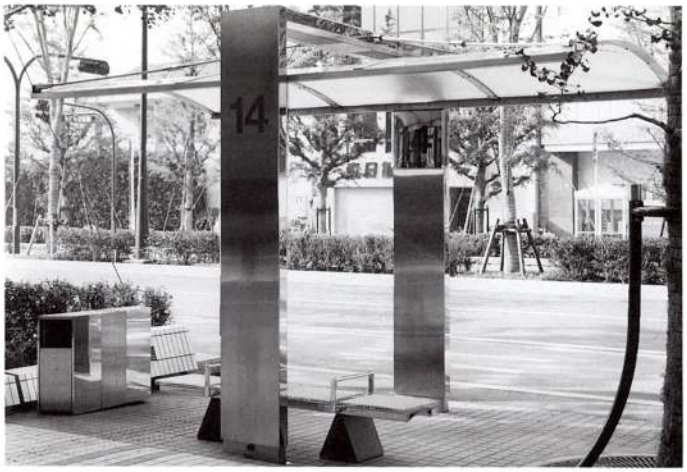


写真13・1
川崎市ストリートファニチャー。バスストップシェルター、ベンチ、くず入れ、すいがら入れをトータルで計画し、交通拠点空間を、装置により構成している



写真13・2
拠点サイン。市全体案内、市中心部案内、周辺案内の各ユニットを組み合わせて計画



写真14・1 松江駅前バスシェルター。伝統を造形の構成に取り入れ、表情としては、現代性を盛り込んで計画した



写真14・2 松江駅前総合案内サイン。ユニットによる構成と、照明（柱状のもの）との組み合わせにより駅前の核として計画した。視覚障害者対策への配慮も取り込んでいる（左側）

技術を取り入れている。〔**写真14・1、2**〕 川崎の事例と比べ、都市の地域性の解釈の組み換えにより、新しい環境デザインの実践の可能性と、今後の広がりを示す事例といえよう。

□新都市での展開

新都市は、過去の積み重ねはなく、現代技術により突如生まれ、街をかたちづくる。そこでは、事業者やプランナー、デザイナーが、今までの経験を糧に人の知恵だけでつくり出す危険性をはらんでいるが、既存の都市ではなしえない可能性を秘めている。とくに、今までの量的な充足に向けた方向から、質を伴った街づくりへ移行している現在、そこでの景観を考慮した計画のあり方については、既存都市の模範となる対象として位置づけられる。

ここでは、新都市のうち、住宅地開発を主体とするニュータウンでの実践と、複合新都市での実践を取り上げ、既存都市では見られない展開を中心に述べてみたい。

●ニュータウン（住宅地）での実践〔金沢シーサイドタウン、パークシティ守谷事例〕

住宅地開発には、都市部を中心とする集合住宅団地の構成と、郊外部を中心とする戸建て住宅団地の構成に大別できる。ここでの事例は、相異なる景観をかたちづくる、二つの事例を通して、その実践の手法の効果の違いを示す。

①金沢シーサイドタウン

金沢シーサイドタウンは、横浜市の金沢区に計画整備された集合住宅団地である。事業主体は横浜市と住宅・都市整備公団であり、都市部のニュータウンのモデル的位置づけで開発が進められた。私たちは、その中で、照明やサインなどの環境の装置の計画を担当したが、集合住宅団地の新しい環境装置のあり方について提案・実践することが目的であった。

当団地は、今後の団地開発の手本となるべき役割を担っていた。ここでのサインやストリートファニチャーは、他の団地への適応から既存市街地への派生を考慮し、装置の持つ機能を素直にデザインし、緻密に計画された景観の中で突出せず、必要な時に触れる対象として計画した。当時（昭和55年頃）、団地内のサインやストリートファニチャーなどはまだ雑工事の範疇にあり、景観に占める重要性の認識が乏しかった状況であったが、ここでの無理のない実践は、後に住宅・都市整備公団の標準仕様として広く展開されることとなった。とくに装置の複合化は、当時でもすでに取り込み、電電公社の管理である電話機と団地内サインを複合し、情報案内所として空間化を試みている。

この事例は、いたずらに地域の特性を取り込み表層で対処する方法とは異なり、各装置の持つ機能を前面に押し出すことで、生み出された新しい景観と調和し、それを引き立てる役割を認識し、今後の装置の整備の雛形になる役割を担ったものである〔**写真15・1〜3**〕





写真15・1（左上）
金沢シーサイドタウン（横浜市）。情報センター、電話ブースと案内サインの複合化により一体化を計画した

写真15・2（右上）
各案内レベルにより設置されるサインシステムの実践。標準化の考え方を入れて計画し、無理のない造形処理を心がけている



写真15・3（右下）
照明。写真の広場灯以外に、道路灯、足元灯、シンボル灯を一連のシリーズで展開

②パークシティ守谷

パークシティ守谷は、三井不動産が茨城県に宅地開発している戸建て住宅団地である。戸建て住宅は、集合住宅と異なり、建築によるまとまりや、広場などの共有空間の確保が難しく、かつ、宅地割りの関係から、単調な景観を見せることが多い。

私たちは、この団地の全体の環境デザイン計画を担当し、その中で、最寄り駅から団地の中心地へアプローチする道路と、団地内の要素について具体的な実践を行った。とくに、アプローチ道路は、宅地造成の前に計画を進め、道路の歩道線型から、舗装、モニュメント、照明、ベンチ、車止め、駐輪具などのすべての要素について、総合的な計画・設計を行った。この道路の計画に基づき、通り沿いの宅地に対しては、住宅の配置や色彩の計画を行い、「みちなみ」からの「まちなみ」づくりの実践を行った。

具体的には、広幅員の横断帯を立体ハンプによる広場化や、道路上のモニュメントの実践、駐輪場広場の展開、グレイシュ系の数種の色調と白のポイントを生かした色彩など、住宅地内ならではの実践を試みている。〔写真16・1～3〕



写真16・1 パークシティ守谷(茨城県)。戸頭アプローチ道路全景。広場と道路の一体整備。まずは道づくりが街づくりの基幹となる計画

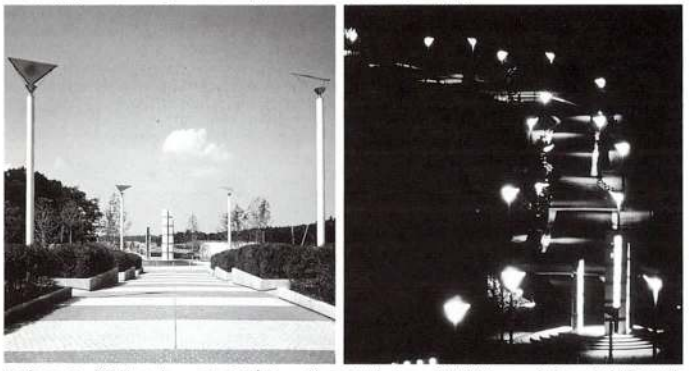


写真16・2 通りのすべての要素と一体でデザイン。照明は、三角形の反射板を使用することで、宅地内に光が入らない工夫を行った。中央は、団地のシンボル。右の写真は、同所における、シンボルと照明による夜間の光の景観



写真16・3 街並みの色彩計画。右端の角の宅地は景観住宅として位置づけ、ポイント（白系）の色彩、それに連なる建物はグレイシュ系の数色を組み合わせ、落ち着きある景観を計画した

この事例では、横浜市・金沢の事例とは対照的に、地域の特性を十二分に取り込み、空間と建築、要素が織りなす独自の景観を計画した。住宅団地でのさまざまな取り組みは、まだ始まったばかりであり、今後、住まい方と空間そして装置の関係の、解釈の積極的な組み換えが期待される。

●複合新都市での実践〔つくば市の事例〕

つくば市は、研究学園都市として我が国有数の新都市を形成している。現在、科学技術博覧会跡地の研究工業団地をはじめ、今までの研究学園区域周辺にも多数の研究団地の整備が進み、つくば市全体に研究学園都市づくりが広がりはじめている。

ここでは、整然と整備された研究学園区域の、似かよった通り景観に節をつくる『都市ゲート』と、周辺で開発が進められている研究工業団地（テクノパーク豊里）での、都市機能とシンボルを組み合わせた『交差点ゲート』を取り上げる。

①つくば都市ゲート

『都市ゲート』は、科学技術博覧会の開催に向け、研究学園区域を顕在化し、方位と位置の確認ができるシンボルの計画である。都市区域の東西南北と中心部に設置し、方位により異なる色彩を展開した。また、紡錘形のシンボルユニットを数本連続して設置することで、くぐり抜ける空間のゲート性を表現している。

都市ゲートという新しい要素を都市に付加することで、地域の個性の表現と、単調な景観に節をつくることは可能であるが、今後は、新しい都市をつくる上で土木、建築そして環境の装置が互いの関係を生かした景観への工夫が必要である。〔写真17〕



写真17
つくば都市ゲート（茨城県)。ユニットの連続設置により、通り抜けるゲート性を表現している

②テクノパーク豊里交差点ゲート

『交差点ゲート』は、新しく造られる工業団地へ導入する県道と市道の交差点２カ所と、団地内のほぼ中央の交差点１カ所で、実践した事例である。このゲートは、『都市ゲート』での成果を踏まえ、外からの導入と、団地内のシンボル空間を、従来の交差点に取り込み、ゲート化する手法を試みた。交差点は車利用上、歩行利用上の結節部であり、都市のインフラが集結する場所である。そこには通常、信号機や標識、照明などの装置が必要となり、おのおの別個に林立する支柱によって設置される。これらの装置は、交通安全上必要とされるものだが、多数の支柱が逆に視野の妨げとなりやすい問題も含んでいる。

ここでは、交差点に集中するこれらの装置を、民地境界に寄せた４本の支柱で空中に浮遊させたゲートに内在化させ、遮蔽しない視野の確保と、ゲートとしての独自性を展開している。

交差点形状に即した円形と方形の梁は、交差点記名と団地誘導の標識、歩車用の信号機、横断歩道面を高照度で照らし出す梁内蔵の照明を複合・共架している。〔写真18・1～4〕



写真18・1
テクノパーク豊里交差点ゲート（茨城県つくば市）。中央ゲート、円状の梁ゲートに、歩車両用の信号、サイン、照明を集約化している

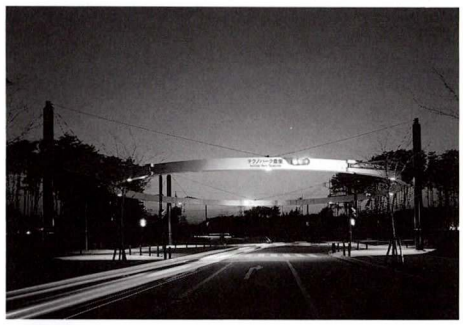


写真18・2
中央ゲート夜景。照明は横断歩道面を照らし出す工夫を行っている

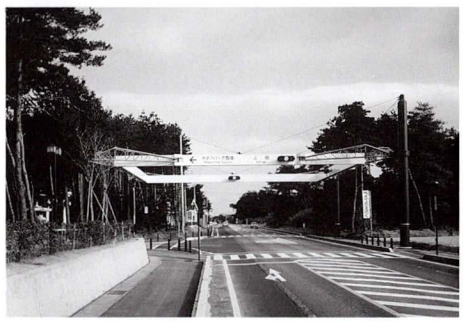


写真18・3
導入部ゲート。三叉路のため、方形のゲートを展開している。機能面では中央ゲートと同じ扱い

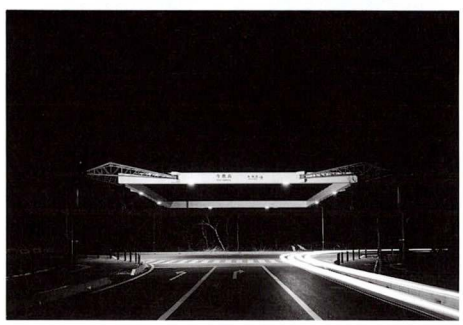


写真18・4
導入ゲート夜景

新しい研究工業団地の立地性が、この実践を可能とさせた面も多いが、既成市街地での交差点の課題はより重要なテーマであり、この実践をもとに、より一層の工夫と、既成概念の組み換えの発想が必要とされる。

□その他の新しい試み

ここでは、一つの装置や装置と空間の「しくみ」が果たす景観への役割について、地域や地区の特性を取り込んだ対象と、質を保つ標準化の対象について、多少事例を示す。

●橋の概念の組み換えによる事例〔横浜／西鶴屋橋〕

交通効率の考え方から、道路の一部として捉えられていた橋が、最近、都市のタウンスケープの個性を見出す対象として見直され始めている。この事例は、横浜駅西口近くを流れる帷子川の支流に架かる橋の一つ（西鶴屋橋）である。この川には、この橋を含め前後に4橋が架かり、上空を高速道路が縦断する、都市特有の景観を見せる。

この橋の上空の立体高速道路が川の存在を打ち消している点に着目し、橋の存在を顕在化することで、川への親水性を引き出すべく4橋にストーリーを与え、この橋は『林』をテーマとし、照明機能をその疑似モチーフにし、照度の確保とともに、特有なイメージづくりを試みた。

また高速道路が発する騒音は、とくに歩行者には快適な橋上環境とならないため、橋を渡る車の振動を受けて、高欄に仕掛けられた音具が軽やかな音色を奏でる「しかけ」を組み込んだ『音の橋』の実践を行った。この手法は、サウンドスケープデザインと呼ばれ、都市の雑踏が発するさまざまな音環境のあり方を問い直す、環境デザインの新しい領域である。〔写真19・1、2〕



写真19・1　西鶴屋橋（横浜市）全景。『林』をテーマに、照明と高欄による橋



写真19・2　高欄に仕組んだサウンドスケープ装置。橋の振動をひろい、軽やかな環境音を奏でる

西鶴屋橋の実践では、従来の橋の概念を現状の都市環境の課題から組み換え、他に類のない橋の提案を行った。橋のデザインは、ともすれば過去や他の事例の模倣に走り、その立地特性と現代都市の状況を踏まえない、表情だけのものに陥りやすいが、今後は、環境装置として都市景観に重要な効果をもたらす橋のデザインは、さまざまな展開の可能性を秘めたものでありたい。そのためには、多方向からの試行錯誤が必要である。

●空間の概念を組み換えるリゾート地の事例〔塩沢レイクランド〕

塩沢レイクランドは軽井沢塩沢地区に立地し、湖を有するリゾート地である。今までの都市環境とは立地性が異なるが、水と緑、そこでの施設や装置の空間上での組み換えによりつくり出す景観の事例として取り上げる。

軽井沢は、旧軽井沢地区をはじめとして、東京原宿のような客寄せの発想による安易な街づくりが浸透し始めている。塩沢レイクランドは、新たな空間の再構成で、避暑地、別荘地として独特の雰囲気を持っていた軽井沢の特性を引き出すことを目的に計画を進めた。

敷地内にペイネ美術館を誘致し、今までの財産である湖を生かすことを主題に、空間の組み換えを試みた。レイクランドに入る導線

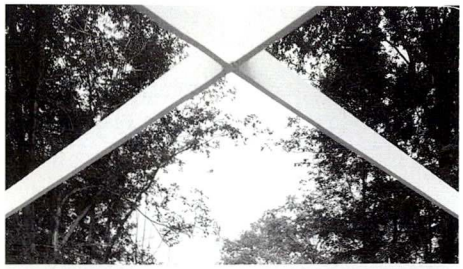


写真20・1
塩沢レイクランド（長野県軽井沢）。木製デッキによる空間軸の形成。このデッキの軸線は湖に向かって計画している

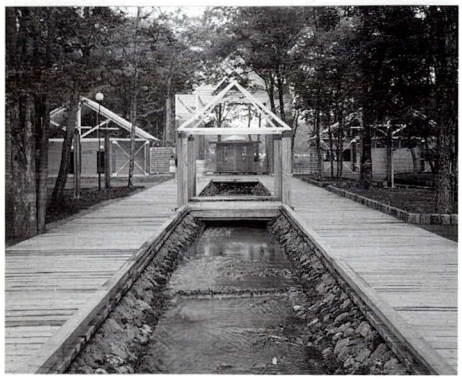
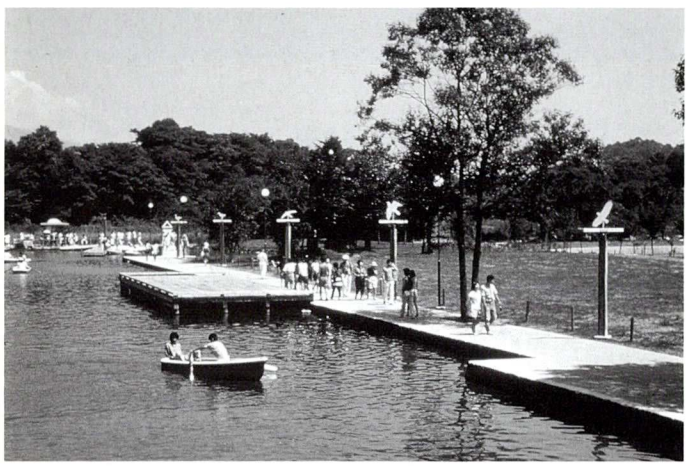


写真20・2
湖面沿いのデッキ。木製のデッキが、親水エッジを形造る



を、木質のデッキとゲート、照明、噴水などの装置により湖へ向かう景観軸をつくり出し、その軸から派生する移動軸の流れに、売店やレストランを配慮し、ペイネ美術館へのルートを設定している。〔写真20・1、2〕

この考え方も、関係と組み換えの発想の具現化で、装置が生む景観軸が、この地の最大の特性（湖）を引き出し、個々の施設のまとまりをもつくり出している。

●質を保つ標準化の事例

最後に、地域や個別の特性を取り込んだ今までの組み換えによる実践を踏まえ、都市内での装置の質の確保、汎用を目指した標準化の事例を挙げる。

①集合ポールの開発事例

既存市街地や新都市で示した都市のインフラ端末の複合・集約の手法を、一般解として製品化し、都市環境の中で、装置の集合による整理された景観をつくり出す方策として実践した。〔写真21・1、2〕

製品化による標準仕様の展開は、個別の個性をそこから引き出すことが目的ではなく、基盤となる景観を秩序づけ、その地域本来が持っている特性を顕在化する方法として活用されることが目的である。安定した製品の質を確保できる利点と、常に供給できる体制を維持できる点で、この事例に限らず、今後、環境装置の製品を開発する諸メーカーの努力が心要とされる。目先の需要だけに左右されず、未来の都市像へ向けて、多くの質の高い開発を互いに競い合うことこそ、各企業の都市づくりへの役割だと思われる。



写真21・1　集合ポール開発。照明、標識、信号機の共架を前提とした製品化



写真21・2　設置位置による景観との関連を考慮した展開タイプ

②公共トイレの開発事例

公共トイレの質の悪さは、近年、街づくりの話題となり、各地でさまざまな展開が見られる。とくに、個々の地区の特性を取り込んで表層のデザイン処理がされたものが目立ってきている。この現象は、公共トイレに限らず、交番についても似た状況を呈している。

公共でのこれらの施設の役割は、第一に、景観の中で、すぐに施設の用途が認識できることが、重要である。一見して、商業施設と見間違えるデザインでは、本来の目的を果たせず、美装だけが先走りした状況をつくり出すことにもなる。そういった意味で、この事例は、できる限りその施設の持つ機能性をデザインし、時代の変化や地域の特性に対し、空間構成の組み換えにより対応できる方策を試みている。〔写真22・1、2〕

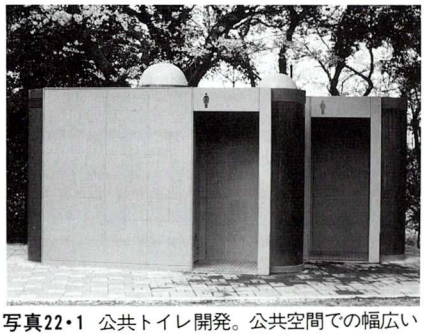


写真22・1　公共トイレ開発。公共空間での幅広い普及を考慮し、無理のないシンプルなデザインで計画した。写真は、男女用ユニットの組み合わせ例



写真22・2　内部装置のシステム化を計り、各種の対応を可能にしている。このほか、身障用ユニットも実践している

標準化は、個性を否定する手法ではなく、その組み合わせや展開の工夫に、多様な可能性が見出せるものと確信している。

■おわりに　都市景観での環境装置の役割について、少ない事例の中から紹介した。まだ、この分野での整備は始まったばかりであり、今後、科学技術の発展が生み出す新たな装置の出現も踏まえながら、私たちは、未来の都市像に向けて、表層や現象にとらわれない、本質の環境の関係とそこに隠された「しくみ」を見出す組み換えを、繰り返し試行錯誤しながら社会に問い続ける責任がある。

ここに示した実践では、まだ、その本質を探り出せていないかもしれないが、一つ一つの積み重ねの中から、次の挑戦に立ち向かうことこそ、未来の社会システムの構築と、『像』を生み出していくのである。

注）写真10～22のプロジェクトの設計は、すべてＧＫ設計の手がけたものである。

（にしざわ　たけし　株式会社ＧＫ設計取締役副社長・東京芸術大学講師
もりた　よしつぐ　株式会社ＧＫ設計環境設計部副部長）

「建築と社会」誌21年●特集一覧——昭和44年～平成元年

「建築と社会」誌は、昭和42年からＡ４変形判となり、特集と作品作風頁を二本柱に、シリーズものの頁を織り込み、その時々の社会を反映したテーマを選んで掲載してきた。売価は、消費税導入に伴い980円(消費税込)に改訂する。

購読希望者は事務局（06－348－0635）へ。

＊印は欠号

巻＼号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
昭和44年（50集）	●建築産業の構造と方向	鉄筋コンクリート構造耐震設計の再検討	計画と住民—中部からの報告	老人とすまい	●建築史の時代による方向—現代がえりみる過去—	●建築行政に期待するもの	転換しつつある住宅生産	●解決をせまられる公害問題	●海洋開発	●民家の系譜と保存計画	●第16回青年技術者	●九州からの報告
昭和45年（51集）	現代社会とは何か	建築と安全	●日本万国博と技術開発	●設計のシステム化	グッドデザイン運動	高層建築問題	欧米における契約	建築家の課題と責任	●工事計画	ディベロッパー	第17回青年技術者	●山陽・山陰からの報告
昭和46年（52集）	住宅—60年代の総括と70年代の展望	都市エネルギと無公害化ビル	建築基準法	都市生活とみどり	●企画と設計のプロセス	解体工学	都市と港湾	転換期のニュータウン	●軟弱地盤と震災	変貌する建築生産	第18回青年技術者	●自然とレジャ空間
昭和47年（53集）	冬期オリンピックと札幌	600号記念号	インテリアデザイン	●都市交通問題	●水利用	量産住宅の設備	●一般号（桂中学）		都市住環境へのアプローチ	●都市防災	第19回青年技術者	北陸の新建築
昭和48年（54集）	建築教育	●泉北ニュータウンのコミュニティ施設	●大阪大林ビルディング	●レジャーと施設	大阪国際ビルディング	●老人コミュニティ	住宅—建築家のすまい	●新用途地域制と環境	構造と施工	仕上と材料	第20回青年技術者	●ヨーロッパのまちづくり
昭和49年（55集）	歴史的環境保全	明日の建築はどうなるか	保養所作品	既成市街地の住宅地整備の方策	北摂ニュータウン計画	建築生産と流通機構の変容	ビルの省エネルギ化	高層プレハブ住宅の構造設計	●みどり	●屋根防水工事の失敗例とその対策	第21回青年技術者	ビル防災に関する12章
昭和50年（56集）	図書館	東海の新建築	●インテリア	PC板を使用した工業化住宅	社会・建築・法	都市の景観と施設	建築とプレストレストコンクリート	生活排水処理施設のあり方	●人間環境としてのターミナル	騒音対策と防音材料	第22回青年技術者	集合住宅の設備
昭和51年（57集）	証言'76—建築デザインの動向	建築基礎構造の問題点	医療施設	床工法と材料	建築防災と法	●市街地整備	工場建築と設備	鉄骨構造のジョイント	集住体のハードとソフト	●結露防止対策と断熱材料	第23回青年技術者	設備からみた建築の問題点
昭和52年（58集）	●デザインの動向—部分と全体	兵庫県—その風土と建築・建築界	●日本建築協会60周年記念号 ●ニュータウンの管理	コンクリートの品質管理と行政指導の方向	日影規制と法	●身障者施設	照明設備	埋立地における構造問題—大阪南港と芦屋浜を例として	日本住宅公団と建築作品	ミニ乱開発から計画的ミニ開発へ	建築における省エネルギー化	第24回青年技術者
昭和53年（59集）	デザインの動向—新旧のコントラスト	●水	医療施設—病院建築と情報システム	外壁塗装材料	電波障害と建築	組合方式による集合住宅計画	住宅設備	新しい耐震設計	CAD—設計とコンピュータ	●一般号	第25回青年技術者	ビル環境
昭和54年（60集）	●転換期の再開発	大阪南港ポートタウン	商業空間	コンクリートのひびわれ	日影規制	ホテル建築と情報システム	農村施設の変貌	建物の終局強度の検討	庄内のまちづくり	80年代のインテリア	第26回青年技術者	建設業の労務事情
昭和55年（61集）	80年代の都市と建築—まちづくりの歴史と展望	●今後の省エネルギーの趨勢 ●建築金物	●最近の銀行建築 ●安井建築設計事務所作品集	住宅の耐久性	建築行政と法規	最近の防水工法	都市景観とアメニティ	屋内体育施設の設備	水ぎわのまちづくり	今後の外装吹付仕上材	●第27回青年技術者 ●転機こたつマンション・集合住宅	設計のための新耐震設計法
昭和56年（62集）	職能論	中国の論文—北京の都市計画	ポートピア'81	台所まわりの計画と設備	シーリング材の知識	災害と法—安全な環境をめざして	都市住宅—住まい手からの発想	●建築物と風—デザイナーのために ●日建設計作品集	住宅・都市整備公団—関西における都市整備を中心とした新公団の役割	間仕切壁の性能評価	第28回青年技術者	障害者の暮らしやすい環境と設備
昭和57年（63集）	新たな商業空間の展開	省エネルギーと開口部	医療施設—地域医療と設備計画	近畿の地盤と地質	都市景観—まちなみ美観への誘い	大阪市庁舎（第1期）	音とホール建築	大スパン構造	昭和設計作品集	●絵本にみるすまいとまちづくり ●オー・エム・ホテル日航ビル	●第29回青年技術者 ●地方の庁舎建築	風土・空気と人間
昭和58年（64集）	●関西の建築文化を考える	マイコンの建築への利用	●多様化する運動施設	建築と品質管理	計画におけるコミュニケーションとプレゼンテーション	大阪駅とターミナルビル	維持管理と設備更新	東海の将来と文化を考える	オフィス・インテリアの変革	プレストレスト(鉄筋)コンクリート構造	●第30回青年技術者 ●大阪城国際文化スポーツホール	集合住宅と生活音
昭和59年（65集）	21世紀への関西一魅力あるまちづくりを問う——	関西の超高層ビル	ビルのリフレッシュー内外装補修技術の現状と発展—	建設産業とロボット開発	住環境と法制度	●まちの活性化と商業空間 ●京都駅南口再開発ビル（アバンティ）	消防設備のポイント	みどりとそれをとりまく人々	高齢化社会と生活空間	床の構工法	●第31回青年技術者 ●ディテールの思想	光応用システムと建築
昭和60年（66集）	大阪湾物語	東海の現在と近未来	●自由様式への道—建築家安井武雄 ●建築物の基礎を考える	情報化をめぐる建築・都市事情	ホール—それが生みだす文化—	建物の表情—最近の外壁材料	大阪国際見本市新会場	●建築と水の演出 ●神戸研究学園都市	都市と健康スポーツ	●接合 ●日建設計作品	●村野藤吾の一断章 ●東海特集	第32回青年技術者
昭和61年（67集）	これからの住空間—都市型集合住宅にみる	屋根—そのデザインと素材	●現代デザインーポストモダニズム10年 ●これからの防水工法	インテリジェントビル・の建築設備計画	自治体営繕と公共建築	●建築防災と法 ●大阪市庁舎	21世紀の住居と設備	●開発 ●ツイン21	CAD—その応用と展開	オフィス空間の構成	第33回青年技術者	インテリア・イクステンションとリニューアル
昭和62年（68集）	入浴物語	腐食	創立70周年記念号	躍動する東海へ	●保管・貯蔵施設 ●大阪府立体育会館	室内の仕上床	駅	行政建築家の可能性	シティホテルの設備	宝塚のまちづくり	●建物と街並みの接点 ●昭和設計作品集	第34回青年技術者
昭和63年（69集）	ホテル物語	●軟弱地盤と基礎 ●文化と伝統—東海からの報告	●設備におけるLCCとリフレッシュ ●東畑建築事務所作品集	建物の外装リフレッシュ	都心居住	中国地方の展望とひろしまの街なみ	21世紀への照明	制振	超高層住宅を考える	●大阪府営繕 ●集合住宅のリフレッシュ	●第35回青年技術者 ●800号記念	讀賣テレビ
昭和64年平成元年（70集）	夢をのせる輸送設備	●竹中工務店年創立90周年記念 ●リゾート情	●色の復権 ●東海の新建築と伝統技術	省力化のための材料・工法	まちづくりと法	博覧会とまちづくり	都市環境創造と設備Ⅰ	建築とアート	構造の省力化	都市環境創造と設備Ⅱ	第36回青年技術者	最近の博覧会パビリオン

構造の頁

171 OMMビル外装リフレッシュの構造設計

俣野　博／鈴木厚雄

OMMビル(大阪マーチャンダイズマートビル)は、昭和44年にわが国で最初の大規模卸売センターとして建設された超高層建物である。今回開業20周年を機に、ビルの抜本的リフレッシュ対策が計画され、その一環として外装リフレッシュ工事が実施された。ここではその概要を紹介する。

建築計画概要

OMMビルの概要を以下に示す。

延床面積　131,415㎡
建物規模　地下4階　地上22階
構造種別　鉄骨鉄筋コンクリート造
軒　　高　70.6m
建物高さ　78.0m
建物長さ　桁行 137.7m　張間 29.8m
外壁面積　約20,000㎡（PCa版塗装仕上げ）
テナント数　22業種　約300社



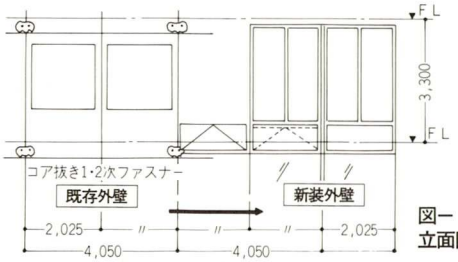
写真－1　施工中のOMMビル

外装リフレッシュ工事としては過去に例をみない規模であり、超高層建物の本格的外装リフレッシュ工事としても初めての試みとなっている。

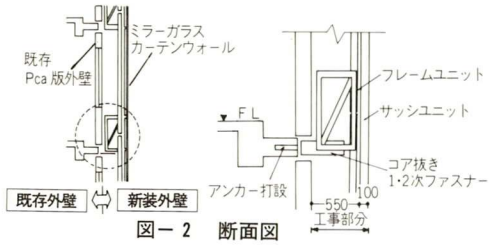
計画は単なる外装改修工事ではなく、ビルに新たな機能を付加することを目的としている。

①既存建物のイメージを一新する。
②情報化時代に対応したビルとする。
③エネルギー効率の高いビルとする。

そこで、既存のPCa版外壁をそのままにして、さらに650㎜外側にミラーガラスカーテンウォールを取り付け、外壁を二重にする構造とした。既存の窓割りにとらわれることなくファサードを構成することができ、建物のイメージを一新することができる。二重壁間の空間は、配管配線の増設スペース、個別空調機設置スペース、メンテナンス通路として利用される。また、外壁の二重化により夏季の日射熱はカットされ、冬季には保温効果が増大する。このため設備ランニングコストは約8％低減する。



図－1　立面図



図－2　断面図

構造計画概要

本構造計画は、リフレッシュ工事という特徴から、以下の与条件を満足させるものとして計画された。

①付加部材の軽量化を計る。
②一時休業等、テナントの営業に与える直接の影響を皆無にするため、貸室内からの作業は一切なくする。
③外部からの作業も無足場で施工し、テナントへの影響を最小限のものとする。
④防火対策として溶接等の火気を一切使用しない。
⑤騒音、漏水対策も十分配慮する。
⑥短工期で施工する。

主な構造要素は、アンカープレート部分、箱状に組まれた横架材、およびそれらを上下に連結する束材である。

アンカープレート部分は、既存PCa版を削孔し、各階ごとに、既存躯体スラブに直接アンカー打設して取り付けた。水平方向のアンカー間隔は、ゴンドラ揚重能力内で打設個所数が極力少なくなるように計画し、PCa版2枚分の4,050㎜とした。

横架材は、山形鋼により箱状に構成され、上下面に鉄筋ブレース、背面・側面に山形鋼ブレースを有している。

上下に連なる束材は溝形鋼とし、横架材とは、大きく間隔を取って打設した高力ボルトにより剛接合される。これにより、上下に連続したラーメンを形成し、鉛直荷重に抵抗させるとともに、アンカー部分の耐力のばらつきに対する配慮としている。

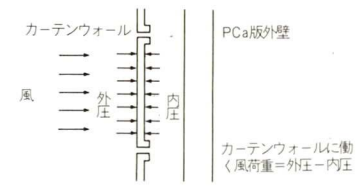
防錆対策として、鋼材は溶融亜鉛メッキ処理し、接合ボルトは、溶融亜鉛メッキ高力ボルトとした。また、ハードロックボルトを使用し、溶接作業を絶無にしている。

アルミサッシ枠のミラーガラスカーテンウォールは、横架材の前面にハンギングファスナーによって取り付けられる。構造フレームとミラーガラスカーテンウォールの重量はそれぞれユニット当たり370kg、480kgであり、合計で64kg／㎡となった。

また、風洞実験、および二重壁内部に空気の出入りがあることを考慮した解析を行った。その結果により、風荷重を桁行面中央部300kg/㎡、端部350kg/㎡、妻面420kg/㎡とした。妻面の風荷重は、基準法により算出される最大値522kg/㎡の約80％に相当している。

事前調査として既存建物の光波測量、アンカー部躯体のコンクリート強度、中性化試験、ファイバースコープによる施工状態の目視等を行った。光波測量により得られたデータにより既存建物の壁面精度を把握し、アンカー位置、構造フレーム、サッシユニットの製品寸法、寸法調整機構のルーズホールの大きさを設定した。

アンカー打設は、ケミカルアンカー工法とし、安定した耐力を得るために、躯体精度にかかわらずスラブ端までの距離を確保することとした。

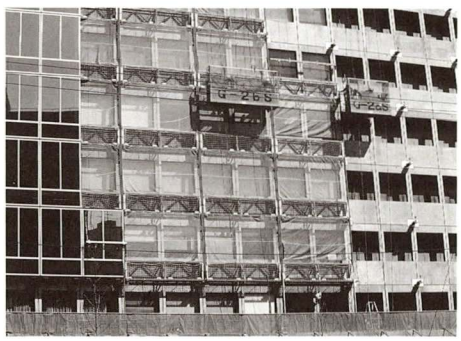


図－3　カーテンウォールに働く風荷重

施工概要

PCa版の削孔、アンカー打設、アンカープレートの取り付けは、すべて既設メンテナンスゴンドラを使用して施工された。

構造フレームは、各スパン単位でユニット化されており、下層階より順次取り付けられる。これが足場がわりとなり、サッシユニットが、これも下層階より取り付けられる。このとき、構造フレームの束材はガイドレールの役割をはたし、揚重は風等の影響を受けることなく施工され、無足場工法を完成させている。



写真－2　構造フレーム取り付け作業

これら一連の工程は、部材製作から取り付けまで、タクトシステム化されており、貸室内から見て既存窓1枚当たり延べ4日で工事が終了することとなり、テナントが営業したままでの外装リフレッシュ工事の目玉となっている。

おわりに

今回計画された外装リフレッシュ工事は、関連各部署の協力を得て実施され、竣工となった。当計画が今後増大するであろうリフレッシュ工事の設計にわずかでも参考になれば幸いである。

また、既存建物関連資料調査時に垣間見た先輩諸氏の当建物に対する並々ならぬ熱意に敬意をはらうとともに、リフレッシュなった当建物が一層社会に貢献することを願ってやまない。

（またの　ひろし　株式会社竹中工務店大阪本店設計部構造担当副部長
すずき　あつお　同　構造課主任）

設備の頁

173
光学薄膜技術の白熱灯器具への応用

桂山　和夫

最近の照明は、各種の施設空間へ単に明るさを提供するだけでなく、積極的な空間演出の手段として光の質や機能性をも求められ始めている。

より多彩で、精巧な照明テクニックを展開しようとすると、白熱灯器具を駆使することが多くなる。しかし、ダウンライトやスポットライトで代表される白熱灯器具では、常にその使用に伴う被照物への照明熱の影響や不快感などが問題となる。これらの照明熱を低減させる光学薄膜応用技術の一般照明用白熱灯器具への適用例を報告する。

光学薄膜とは、シャボン玉や水辺に浮かんだ油膜が虹色に発色する「干渉」現象を利用するもので、目的とする分光エネルギー分布を得るよう、光源の分光分布をもとに、薄膜の材料、層数、厚さなどを構成させ、基盤に蒸着コーティング処理する。たとえば、白熱電球はその発光原理より、フィラメントから可視光とともに赤外線も多く放射し、照明熱の原因となっているので、何層もの薄膜を形成させ、薄膜面で選択反射・透過をさせることにより、必要とする可視光を残し、不要な赤外線をできるだけ少なくすることができる。

*

赤外線反射膜付ハロゲンランプ

ハロゲンランプはランプ内に封入された微量のハロゲン族元素によるハロゲンサイクル効果により一般電球より効率が高く、小形で高出力である。

赤外線反射膜をランプバルブ外表面に付すことで、可視光を透過する一方、赤外線は反射してフィラメントに戻され再加熱に利用される。その結果、熱線は40%減少するとともに、15%の省電力となる。また赤外線反射膜が石英バルブを保護するので、ランプを素手で扱えるなどの特徴も加わる。

図1

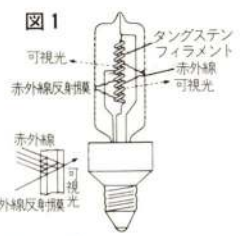


表1　ハロゲンランプの特性比較

	赤外線反射膜付ハロゲンランプ		従来のハロゲンランプ	
	定格消費電力	全光束	定格消費電力	全光束
75W形	65W	1120 lm	75W	1120 lm
100W形	85W	1600 lm	100W	1600 lm
150W形	130W	2400 lm	150W	2400 lm

硬質ガラス基板ダイクロイックミラー

硬質ガラスを素材とした光学ミラーの内面に屈折率の異なる赤外線透過膜を多層にハードコーティング処理し、可視光を反射させながら赤外線を透過させるのがダイクロイックミラーである。

上述の赤外線反射膜付ハロゲンランプと組み合わせ分光分布を最適に設計することで、ランプが40%を減少させた残りの赤外線を、さらに80%処理する。ランプとミラーの相乗効果により照明器具による照射熱は大きく減少し、熱線残存率は約10%となる。

図2

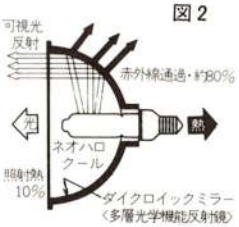
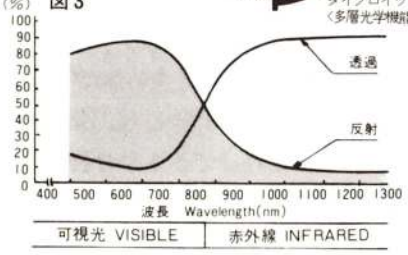


図3



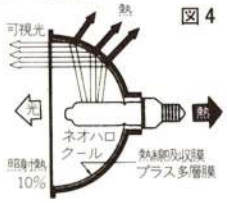
金属基板ダイクロイックミラー

特殊アルミ基板の内面に、黒色熱吸収層を構成させた反射鏡に、さらに可視光反射・赤外線透過させるダイクロイックコーティングを施した金属ミラーである。

黒色熱吸収層で吸収された熱はミラー後方に放射され、可視光は前方に反射する。ガラス基板ダイクロイックミラー同様、ランプとミラーの相乗効果で熱線約90%をカットできる。

直径200㎜の場合、ガラス基板のミラー重量約400ｇに比べてアルミミラーは128ｇと軽量となり、器具の軽量化がはかれる。

図4



樹脂基板ダイクロイックミラー

超耐熱樹脂フィルムの内面に、ガラス基板や金属基板と同様の多層ダイクロイックコーティングを施し、可視光を前方に反射させ後方に赤外線を透過させる光学ミラーである。

厚さ0.1㎜のフィルムを使用するのでミラーの重量はガラス基板の1.5%と非常に軽量であり、大型化が容易になるとともに、破損にも強く、また、丸形や角形のミラーにも対応できる。

樹脂基板のもつ平滑性を利用した鏡面反射面が得られるので、照明光の配光コントロールが容易となり、ハロゲンランプの特徴であるシャープな光演出ができる。なお、ランプはローボルトハロゲンランプを使用するので、熱線カット率はミラーによる80%である。

図5

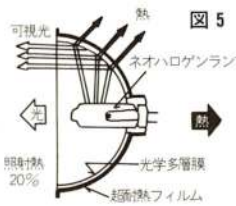
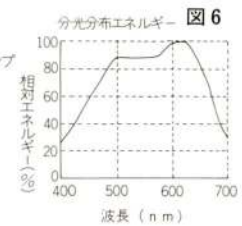


図6



効果演色用金属基板ダイクロイックミラー

照明演出手法の一つに、カラーフィルターを使用した色彩演出がある。しかし、自然な照明環境のなかで特定の色彩の彩度を強調し、効果的に表現するには、照明光のもつ演色性を活用するのは有効な手法である。

金属基板ダイクロイックミラーの熱線約90%カットの特徴を生かし、さらに、ミラー面に分光分布を考慮した光学反射被膜を施すことで、効果演色特性を付加したミラーで、下記の4種を開発した。単独使用に加え、組み合わせて使用すると一層効果的な色彩演出ができる。

1)レデッシュ　赤色群をより鮮やかに、生き生きとした感じに見せることができる。たとえば、肉や魚などの赤色系の生鮮食料品や赤いバラなどの色彩を自然な雰囲気のなかで鮮明に表現できる。

図7

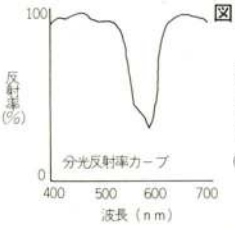
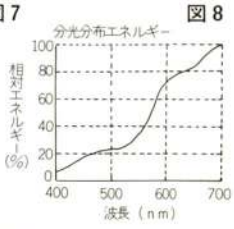


図8



2)イエローイッシュ　黄色系の色彩を柔らかく、優しく表現する。ナチュラルウッドの家具やパン、チーズなどの黄色系の食品のもつ色彩特徴を自然に強調できる。

図9

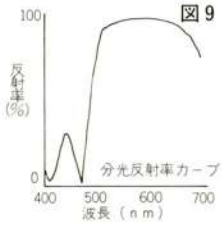
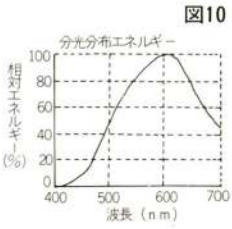


図10



3)ライトグリーン　グリーン系の色彩を自然に美しく、鮮明に表現できる。フレッシュに見せたい野菜や果物、生花などの緑色を生き生きと、みずみずしく演出できる。

図11

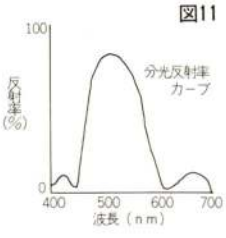
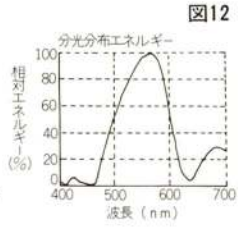


図12



4)ライトブルー　ソリッドな雰囲気と冷たい硬直感が強調できる。張りつめた透明感の欲しい貴金属品や宝石類、ガラス製品、磁器などの演出、ブルー系の色彩をより一層鮮やかに表現し効果的である。

図13

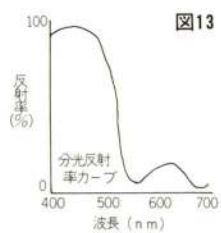
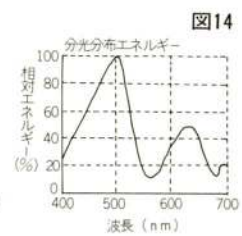


図14



*

以上、光学薄膜技術をハロゲンランプや光学ミラー開発に応用し、白熱灯器具における不要な赤外線を減少させた例、色彩の効果演色性を付与させた最近の例について記した。今後、光学薄膜技術は上記以外の照明器具などにも多く適用される要素技術である。

（かつらやま　かずお　東芝ライテック株式会社店舗事業推進部）

施工材料の頁

168
ピングラウト工法
—止水工法—

三浦　寛

ピングラウト工法とは

特別に開発された1液型水架橋ポリウレタン樹脂(以下商品"NLペースト"と称する)を、漏水しているコンクリートのひびわれ、打ち継ぎに沿って設けた空洞（樹脂ポケットと称する。**図－1**参照）に充填する。樹脂は水と化学反応して発泡し、膨張する。その膨張力を利用して、目視でも確認できないほどの微細なひびわれにまで浸透してゆき、硬化し、水密性を回復させる止水工法である。

工法の特徴

従来の樹脂注入の止水工法にはない、つぎのような特徴をもっている。

(1) 樹脂に硬化剤や膨張剤が添加されておらず、水とゆっくり反応し、漏水の出口面から水をセンサーのように求めて細かいひびわれ部にまで浸透し、確実に止水できる。

(2) 湿潤状態のコンクリート面との接着性に優れ、いったんひびわれに充填し硬化すると、肌分かれしたり、隙間が生じて再漏水する心配はない。

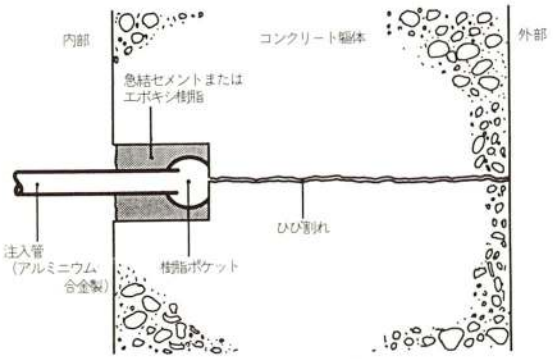
(3) 耐酸、耐アルカリ、耐塩水性等も有しており、長期の止水性が確保される。

(4) 特別な機器を必要とせず、グリスガン程度で充填するだけで施工できる。

なお、使用する樹脂の基本的性質は、**表－1**の通りである。

施工手順

本工法は、以下の状況に適用でき(**表－2**)、漏水の発生部位、発生状況に応じて「標準工法シート」として、**表－3**のようにA～Gまでの7工法が定められている。このうち、ひびわれからの漏水のA工法の止水依頼から工事、メンテまでにわ



図－1　工法の構成例

表－1　NLペーストの基本的性質

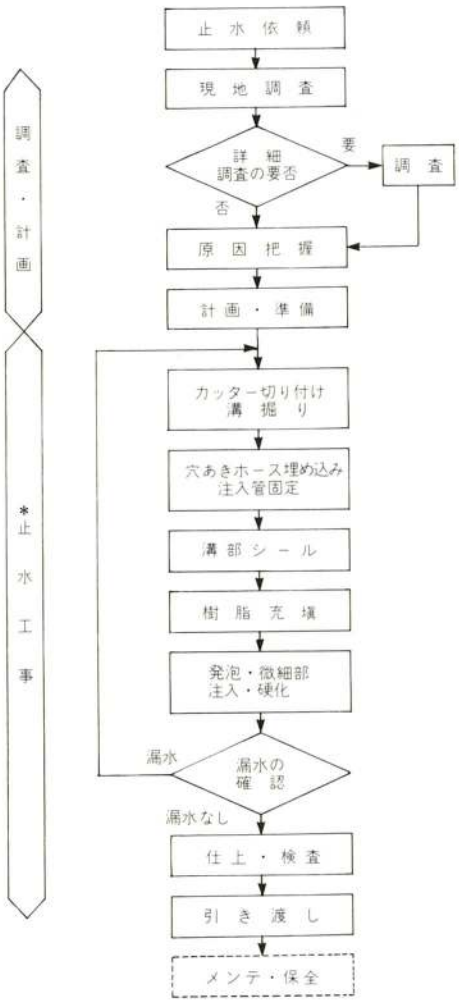
樹脂	外観	暗褐色液体
	粘度（25℃）	2,500～3,000（cps）
	比重	1.15
	アミン当量	225～245
	発泡開始時間(20℃)	2～20（分）
	消防法	危険物第4種第4石油類
発泡体	発泡体のみかけ密度	0.08（g／cm³）
	独立気泡率	81.9（%）
	圧縮強さ	2.95（kgf/cm²）
	曲げ強さ	6.53（kgf/cm²）
	引張り強さ	7.12（kgf/cm²）
	吸水率	0.30（%）

表－2　ピングラウト工法の適用条件

項目		適用内容・条件
適用構造		土木、建築の鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、無筋コンクリート部および岩盤に適用する。
適用対象	漏水要因	つぎのような原因で漏水しているところに適用する。 (1) ひび割れ、打ち継ぎ (2) コンクリート豆板、岩盤の空隙などの水密性の弱点部 (3) コンクリートを貫通しているパイプ、セパレーターなどの隙間
	適用部位	＜建築＞ (1) 屋根（モルタル、押えコンクリート） (2) 地下の壁、床、天井、底盤 (3) 地下階外壁、開口部周り、天井、バルコニー天井 (4) 厨房、浴室の使用水によるもの (5) 水槽、プール、ピットなど水圧のある箇所　など ＜土木＞ (1) トンネル、共同溝 (2) ダム (3) 橋桁　など
適用温度		構造体、注入対象物の温度が0～60℃の範囲
適用水質		生活排水、酸・アルカリ水、水道水（飲料水）、海水、含油水など

表－3　漏水状況と工法

工法	漏水状況および条件
A	連続したひび割れや打ち継ぎなどからの漏水
B	ひび割れおよび打ち継ぎで、その幅が0.5mm以上
C	壁・柱・梁・スラブなどの入隅部分
D	豆板・貫通パイプなどの局部的な部分の漏水
E	屋上や床などの止水
F	基礎スラブの集水ピットからの漏水
G	局所的で水量の多い漏水



* 止水工事
漏水の状況、部位などによりA工法～G工法までの7工法がある。

図－2　施工のフローチャート

たる流れを**図－2**に示した。

A工法の概要を、工程順に説明する。

① ひびわれに沿って溝状にカットする。

② 孔あきホースを溝に沿ってセットし、樹脂ポケット（図－1）を設ける。

③ 樹脂ポケットに充填する注入パイプをある間隔にセットし、溝部を急結セメントまたはエポキシ樹脂でシールする。

④ 樹脂ポケットに注入パイプからＮＬペーストを充填し、その後、パイプ先端をつぶして、かしめる。

⑤ ＮＬペーストが水と反応し発泡し、その圧力でひびわれ深部まで浸透し、硬化して一体化する。

⑥ 硬化後、止水を確認し、パイプを切断し、表面に所定の仕上げをする。

工法のひびわれ部充填状態

ＮＬペーストが発泡してひびわれに浸入し充填されていく状態については、ガラス板を重ね中間に隙間を設けて浸透する状況をモデル実験、および実際にひびわれが生じたコンクリート板にて確認した。

(1) ガラス板によるモデル実験

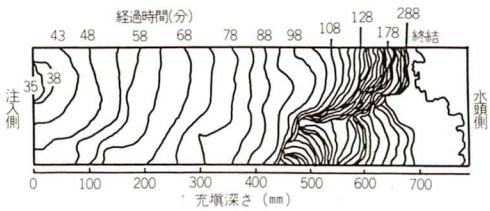
モデル実験については、**図－3、4、5**に示す。発泡圧４～５kgf/㎠を長時間（４～６時間）維持して、隙間に充填されることがわかる。

(2) コンクリート板での確認



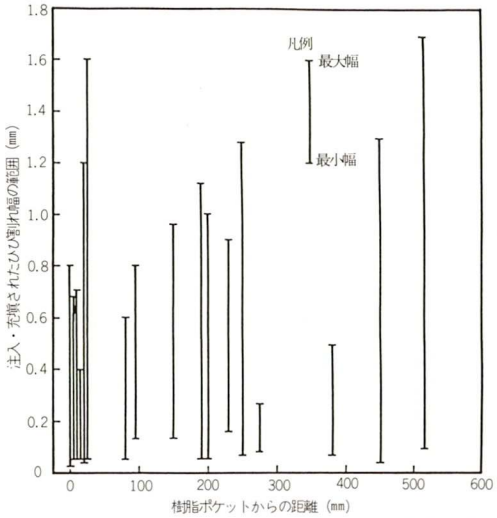
＊板ガラスの上下は、アルミニウム合金押出形材とＣ型クランプで固定

図－3　試験装置の構成



図－4　注入充填の等深線図例（隙間幅0.5mm）

ひびわれを発生させたコンクリート板を利用して標準工法で施工を行い、コアを採取して充填状態を調べた。実験の結果、0.02mmの狭いひびわれにも充填されていることが確認された。顕微鏡でみると、ひびわれに充填されている樹脂は緻密で、空泡が混じっていなかった。



図－6　樹脂ポケットからの距離と注入充填されたひび割れ幅の範囲

図－6は、樹脂ポケットからの距離と充填されたひびわれ幅の関係を示したものである。500mm離れた部分の細かいひびわれにも充填されていることがわかる。

工法の標準化と施工体制

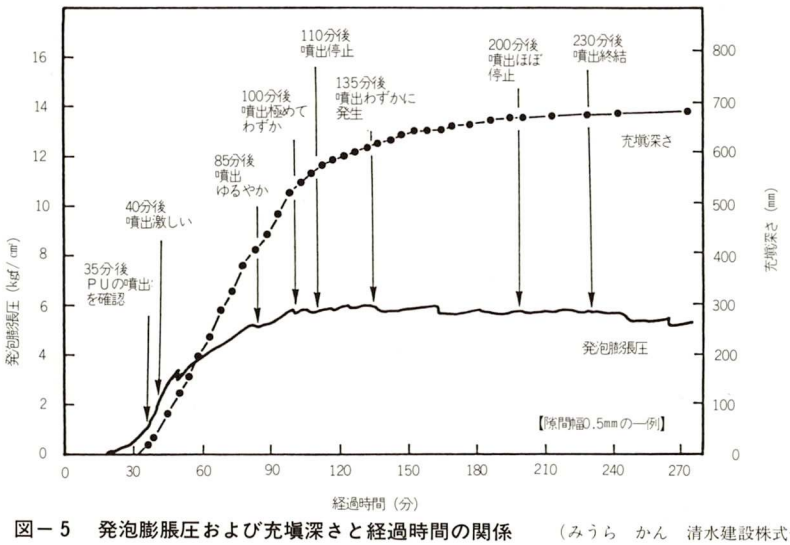
この工法は、前述のように「標準工法シート」にしたがって施工するようにしている。シートには〝工法選定表〟が示されており、漏水の条件から選んで工事をすることになる。

施工は全国組織の〝ピングラウト協議会〟の会員により行われる。現在約100社で組織され、技術の研鑽が技術委員会のもとでなされており、講習会、マニュアル作成、技術指導などきめ細かく運営されている。協議会発足は61年12月であるが、以来約1,000件を超える施工実績をもっている。

文献

1. コンクリート構造物の漏水部止水工法　清水建設㈱、武田薬品工業㈱

2. ポリウレタンの発泡圧によるコンクリートひびわれ部の止水工法　1988年　日本建築学会大会梗概集　三浦　寛ほか



図－5　発泡膨脹圧および充填深さと経過時間の関係

（みうら　かん　清水建設株式会社建築本部技術部部長）

日本建築協会

月間の動き

平成元年５月分

理　事　会

第１回常任理事会

24日　２時半～３時半　於本会会議室

出席者　佐野会長ほか10名

議事　(1)昭和63年度一般勘定収支決算報告の件
(2)昭和63年度創立70周年記念事業収支決算報告の件
(3)企画委員会委員委嘱の件
(4)事務局職員上期賞与支給の件
(5)入退会者承認の件
(6)報告事項

編　集　委　員　会

第２回会員企画小委員会

９日　６時～９時半　於本会会議室

出席者　今井副委員長代行ほか７名

議事　(1)シリーズものの掲載内容について
(2)その他

第２回構造分科会

９日　４時～６時　於本会会議室

出席者　福山幹事ほか６名

議事　(1)９月号「構造の省力化」特集の企画
(2)「構造の頁」の企画

第２回計画系分科会―建築―

10日　６時半～９時半　於本会会議室

出席者　加藤幹事ほか６名

議事　平成元年度「建築とアート」特集案検討

第２回編集委員会

11日　４時～６時　於本会会議室

出席者　長谷部委員長ほか８名

議事　(1)４月号「省力化のための材料・工法」特集報告
(2)５月号「まちづくりと法」特集経過報告
(3)６月号「博覧会とまちづくり」特集経過報告
(4)７月号「都市環境創造と設備１」特集経過報告
(5)８月号「建築とアート」特集の企画
(6)９月号「構造の省力化」特集の企画
(7)10月号「施工材料」特集の企画
(8)収支状況報告

第２回作品作風小委員会

11日　６時～７時半　於本会会議室

出席者　塘副委員長ほか７名

議事　(1)最近の掲載状況・予定の報告
(2)「新建築調査表」の作品の選定並びに本年度の調査依頼について
(3)「Gallery」内容報告と今後の検討

第３回施工材料分科会

18日　４時～７時半　於本会会議室

出席者　志水幹事ほか４名

議事　(1)10月号施工材料特集の企画
(2)「施工材料の頁」の企画

第２回広告企画小委員会

23日　４時～５時半　於本会会議室

出席者　長谷部委員長ほか４名

議事　(1)５月号「まちづくりと法」特集広告収入報告
(2)６月号「博覧会とまちづくり」特集広告収入途中経過報告
(3)７月号「都市環境創造と設備１」特集広告収入途中経過報告
(4)８月号「建築とアート」特集報告
(5)平成元年度独自特集企画及び検討
(6)収支状況報告

第１回設備分科会

24日　６時～８時15分　於本会ロビー

出席者　佐藤幹事ほか６名

議事　(1)７月号および12月号（予定)「都市環境創造と設備」特集経過報告
(2)「設備の頁」の企画
(3)そのほか

第２回計画系分科会―インテリア・住宅―

24日　６時半～９時　於本会会議室

出席者　加藤幹事ほか４名

議事　平成２年１月号特集案検討

第１回法令分科会

29日　２時～４時　於本会会議室

出席者　大前幹事ほか２名

議事　「法令コーナー」の企画

第３回計画系分科会―建築―

31日　６時半～９時　於本会会議室

出席者　加藤幹事ほか７名

議事　平成元年８月号「建築とアート」特集内容案検討

事　業　委　員　会

第２回若い会員の集い小委員会

９日　６時半～８時半　於本会会議室

出席者　宮野副委員長ほか12名

議事　(1)前回の事業委員会の報告
(2)「音楽と建築」講演会＋演奏会
(3)「関西の祭事の研究」
(4)「北村陸夫氏」個展・講演会
(5)エコロジカルアーバンプランニング

第２回広報小委員会

10日　６時～８時　於本会会議室

出席者　原見副委員長ほか７名

議事　(1)前回事業委員会の報告
(2)新年度の本小委員会担当事業副委員長、及び幹事の互選
(3)研修分科会の今後の企画
(4)教室分科会からの報告と今後の企画

第２回見学会小委員会

11日　６時～７時15分　於本会会議室

出席者　伊東副委員長ほか10名

議事　(1)伊東副委員長・南幹事から前回事業委員会の報告
(2)新旧委員の自己紹介
(3)本年度幹事の互選
(4)４月の見学会報告
(5)５月以降の見学会予定について

第１回教室分科会

17日　６時～８時　於本会会議室

出席者　奥村・川村両幹事ほか３名

議事　(1)話題建築を聞く
(2)ビデオ映写会
(3)スライド映写会

第２回事業委員会

18日　１時40分～３時　於本会会議室

出席者　島田・鶴田両副委員長ほか２名

議事　各小委員会からの報告

第１回研修分科会

18日　６時～８時　於本会会議室

出席者　原見副委員長ほか３名

議事　本年度の企画

第２回「関西の祭事」研究会

19日　６時半～10時　於本会会議室

出席者　大森幹事ほか２名

議事　(1)各々の祭事の調査報告
(2)今後の研究会の方針、やり方

第１回「The KANSAI 21」企画分科会

24日　６時半～８時45分　於本会会議室

出席者　山田主査ほか３名

議事　「The KANSAI 21」の放映と講演会

第３回「音楽と建築」企画分科会

30日　６時半～８時45分　於本会会議室

出席者　田畑主査ほか３名

議事　(1)企画内容の検討
(2)今後の作業予定

建　材　委　員　会

10日　３時半～５時半　於本会会議室

出席者　金井委員長ほか13名

材料説明　マイルドサンド（左官モルタル用軽量骨材)／山田委員（代理・事務局）

議事　今後の検討建材

出　版　委　員　会

第１回「プロのノウハウ」講座シリーズ

―構造計画と経済設計―

16日　６時～８時　於本会会議室

講師　須賀好富氏（近畿大学理工学部建築学科教授）

受講者　34名

第２回出版委員会

18日　５時～６時　於本会会議室

出席者　須賀委員長ほか３名

議事　(1)〈プロのノウハウ〉と特装本の経過報告
(2)今後のテーマと執筆者選定について
(3)プロのノウハウ講座シリーズ第１回「構造計画と経済設計」実施報告

(4)第２回以降の「プロのノウハウ」講座シリーズについて

話題建築を聞く会

第６回アップリカビル

20日　２時～４時　於本会会議室

講師　丹下憲孝氏、中川　巌氏（丹下健三・都市・建築設計研究所）

参加者　43名

見　学　会

第49回茶室見学会

―水無瀬神宮の燈心亭を訪ねる会―

27日　１時～４時

講師　岡田孝男氏（帝塚山学院名誉教授）

参加者　33名

建　築　ク　ラ　ブ

第205回朝食会

９日　８時～９時半　於大阪グランドホテル

講師　柳本卓治氏（大阪１区自民党）

演題　「商都大阪の挑戦」

参加者　52名

５月の入会者（敬称略）

〔団体会員２社〕

㈱エキスプラン　　㈱佐藤秀工務店

〔個人会員５名〕

石倉　健彦（住宅・都市整備公団）　江副　敏史（日建設計）　近藤　良彦（安井建築設計事務所）

斎木　憲二（広島工業高校）　澤　正男（神崎組）

〔准会員１名〕

岩崎　雅彦（大阪工業大学）

INFORMATION　お知らせ

「病院建築に関する研修会」開催――日本病院建築協会

と　き　1989年９月８日㈮・９日㈯

ところ　明治大学会館８階会議室
東京都千代田区神田駿河台１－１

内　容　**９月８日**
「病院トイレ再考」伊藤　誠（千葉大学工学部教授）ほか
「患者サービスをめぐって」藤原房子（日本経済新聞社）
「医療先端技術――オプトエレクトロニクスと医療の未来」藤正　巌（東京大学先端科学技術センター教授）
「医療先端技術――結石破砕治療」町田豊平（東京慈恵医科大学教授）
「医療機器解説」
――懇親会――
９月９日
「痴呆性老人ケア施設を考える」小滝一正（横浜国立大学講師）
「医療先端技術――MRIの導入と建築・設備」杉本　博（東芝那須工場ＭＲ技術部課長）
「老人保健施設の設計を考える」松本啓俊（東北大学工学部教授）
「病院建築のゆくえ」浦　良一（明治大学教授）

定　員　150名

会　費　会員20,000円　一般28,000円
（資料代、懇親会費を含む）

申込み　参加申込書に記入の上、下記宛送附。
〒108 東京都港区芝５－26－20
建築会館内　㈳日本病院建築協会
TEL　03－453－9904

振込先　会費は申込みと同時に下記金融機関に振り込み。受領後、領収書、受講証送附。
三菱銀行四谷支店　普通預金 No.0056130
三和銀行四谷支店　普通預金 No.117266
東京中央郵便局　振替口座 東京1-67977

「ライティング・デザインルーム」オープン――東芝ライテック

照明デザインが最近、注目を浴びているが、東芝ライテック㈱西日本支社では、照明技術と感性の融合をテーマに〈明かりのソフトエンジニアステーション〉「ライティング・デザインルーム」をこのほどオープンした。

照明のニーズは、
- 快適なオフィス環境の創造。
- 商業施設は人を魅きつけるビジュアル・マーチャンダイジングの追求。
- ホテル、美術館などでの効果的照明手法
- 都市景観向上のライティング

などが求められているが、そうした要望に応えるため、実際に照明の質を確認できる設備がそなえられている。

１．照明計画シミュレーション・コーナー
２．リアルタイム・シミュレーション・コーナー
３．ユーティリティ・コーナー（光源のもつ演出性、色温度などが検討できる）
４．ビジュアルプレゼンテーション・コーナー

問い合せ　「ライティング・デザインルーム」
東芝ライテック㈱西日本支社セールスエンジニアリングセンター内
大阪市中央区本町２－６－８（センバセントラルビル５Ｆ）
TEL　06－244－2880

「分譲オフィスビル」事業へ参入――朝日住建

分譲マンションの大手デベロッパー㈱朝日住建（本社・大阪市・資本金１億８千万円）では、このほど、分譲オフィスビル事業への参入を発表した。

同社の分譲オフィスビル事業計画の概要はつぎのとおり。
- 平成元年度事業予算　約130億円予定
- 商品シリーズ名称「インテリンクス」――インテリジェンス（知性・情報）とリンク（連結・輪）との合成造語による。
- 平成元年度分譲予定戸数　４物件・81区画
- 特長　(1)分譲スペースの大型化
(2)インテリジェントビル化へ対応できる施工
(3)24時間自在に利用できるセキュリテーシステム採用

問合せ　㈱朝日住建総合建設事業本部ＵＤ事業室
今村　TEL　06－245－1523

第２回公共建築賞募集――（社）営繕協会

第２回公共建築賞の募集が（社）営繕協会で行っている。同賞は去年、同協会の設立20周年を迎えたのを記念して設けられた表彰制度で、第１回は、兵庫県公館、岡山市立オリエント美術館、埼玉県立加須青年の家などが選ばれている。募集要領はつぎのとおり。

対　象　昭和61年３月以前に竣工した公共性の高い建築物

応募資格　表彰対象者３者（事業者、設計者、施工者）のいずれか。他の表彰者の了解、営繕協会会員の推薦が必要。

審査資料　図面、写真、キャビネサイズ以上10枚以内、説明書をＡ３判のファイル一冊にまとめたもの。および目録。

応募締切　1989年８月12日

問合せ　（社）営繕協会各地区事務局

日本インテリア学会発足——会長に小原二郎氏(千葉大名誉教授)

このほど、国立教育会館（東京）にて日本インテリア学会（英文名 JAPAN SOCIETY FOR INTERIOR STUDIES, 略称JASIS)の設立総会が催され、発足した。

発足には全国各地のインテリアに関連する研究・教育者あるいは企業人ら約300人が参加。このうち総会には約半数の150名ほどが出席し、会則案審議役員の選出、講演会などが行われた。

我が国ではインテリアに関するこのような学会はむろん始めてのことであり、今後の活動が注目される。

インテリア学会が発足した背景は、近年インテリアへの関心が高まり、産業界やデザイン界でのめざましい活動の中で、研究・教育の分野にも、活性化、体系化が強く要望され始めてきたことにもよる。

従来、インテリア関連の諸研究は、周辺領域である建築学、デザイン学、生活学あるいは人間工学などのさまざまな分野で取り扱われ、研究発表の機会なども与えられてきた。

だが、そうした為に、研究相互の成果を関連づけることが難しく、しかも交流を図りレベルを高めることまでは、結びつけられなかったのが実状である。そこで、この際、インテリアを一つの独立した分野として扱い、研究発表、情報交換、機関誌の発行などを行い、国内外に向け活動の活発化を図ろうとすることが発足に至る経過、目的であった。



会長には小原二郎（千葉大学名誉教授)、副会長には渡辺優（千葉工業大学教授)、島崎信（武蔵野美術大学教授）が選ばれた。

なお、本部事務局は以下の通りである。

千葉工業大学工業デザイン学科第2研究室
日本インテリア学会事務局（上野美雪）
〒275 千葉県習志野市津田沼2－17－1
TEL 0474(78)0552

新刊 全国書店で好評発売中！

（建築技術）6月増刊号
実践建築工事検査 I
調査・仮設・土・地業・鉄骨工事の検査・試験方法を、それぞれ項目をおって解説していく、品質確保のための必携マニュアル。
亀田泰弘 監修 A4判 292頁 税込定価3,100円

10年の超ロングセラー！
建築構造問題快答集 12
各分野の専門家が日常業務の中で出会う数々の疑問にQ&A形式で明快に回答する設計者必携の実用書。
石黒徳衛 監修 A5判 368頁 税込定価4,100円

精算法へのアプローチ！
保有水平耐力入門 下
新耐震設計法のなかで義務づけられている保有水平耐力の本質をやさしくまとめた実用入門書。上巻も好評発売中！
星 睦廣 著 B6判 128頁 税込定価1,350円

株式会社 建築技術
〒151 東京都渋谷区幡ヶ谷1-1-2 福西ビル
TEL.03(5371)3811 FAX.03(5371)8282

建築技術者必携の専門誌 建築技術 8月号
7月18日 全国書店一斉発売 税込定価1,240円

特集◉リニューアル *à la carte*
建物の修復と再生
（経年ビルオーナーのリニューアルニーズに応えるため、多くの設計者や建築技術者が的確な実施例を紹介します。）

新連載◉建築法令を考える
検証 構造強度規定の変遷と建築構造技術1
設計を始めるにあたって、最適な骨組寸法を容易に導き出せる略算法を紹介します。

連載◉だれにでもわかる
鉄骨造骨組の寸法計画セミナー5
建築法令と構造技術、その歴史的変遷を社会的・技術的背景から考えてみます。

1. 若返り改装
- 芦屋マンション外壁リフォーム
- 築地会館の改修工事
- 京橋郵便局のリニューアル
- 丸ビルの外壁改修
- 公団住宅のリニューア
- 九段会館の内外装工事
- 緑が丘社宅のリフレッシュ

2. 用途変更
- 木造建築をアパレル店舗に改修
- 開拓使麦酒記念館
- 森八本店改修工事
- 大浜第一病院改修工事

3. 設備更新・インテリジェント化
- 八重洲地下街の設備改修
- ホテルニューオータニの設備改修
- 広島バスセンターにおける設備改修

暑中お見舞申し上げます　平成元年盛夏

設計事務所有志

株式会社
A.R.I 建築事務所
代表取締役所長　亀井晃治
本社事務所　大阪市中央区谷町7丁目3番4-203号 新谷町第3ビル2F　TEL(06)768-1771(代)
テレファックス(06)768-1406
アトリエ　東大阪市上石切町2丁目14－35　TEL (0743) 73－6137

株式会社 **アーバンライフ建築事務所**
代表取締役　小沼俊平
大阪市北区梅田1丁目3番1－500号　電話　大阪　06 (341) 2451－5番
東京都港区六本木3丁目3番29号　電話　東京　03 (582) 2451－5番

株式会社 **伊東建築設計事務所**
代表取締役　竹原永一郎
〒556 大阪市浪速区元町2丁目12番30号 難波KIビル　電話 大阪(06)646-0161㈹

株式会社 **伊藤建築設計事務所**
代表取締役社長　鋤納忠治
本　　社　名古屋市中区錦3丁目3-6(日経錦別館)　電話〈052〉951-1110㈹
東京事務所　東京都千代田区神田美土代町5(第2日成ビル)　電話〈03〉294-6061㈹

株式会社 **石本建築事務所**
会　　長　長野八三二
代表取締役社長　古畠誠一
大阪支所長　山内恒男
本　　社　〒102 東京都千代田区九段南4－6－12　電話03 (262) 7161
大阪支所　〒542 大阪市中央区島之内1-20-19(白水ビル)　電話06 (251) 7507代
支　　所　札幌・名古屋・九州　　出張所　仙台・横浜



株式会社 泉沢建築設計事務所

代表取締役　泉　沢　哲　史

〒530 大阪市北区神山町14番3号(木津信ビル)　TEL(06)364-9071(代)

URABESEKKEI 株式会社 浦辺設計

URBAN DESIGN & ARCHITECTURE FOR BEAUTIFUL ENVIRONMENT

代表取締役　松　村　慶　三

大阪市北区梅田1丁目12番39号・新阪急ビル〒530　電話 06(341)1727

東京事務所　電 話 03(263)9758　岡山事務所　電 話 0862(33)6010

株式会社 小西設計

取締役会長　小　西　　岬

取締役社長　橋　本　正　章

本　　社　大阪市西区立売堀1丁目12番16号　電話(532)4051代表

大阪事務所　大阪市西区阿波座1丁目15番15号(第一協業ビル)　電話(532)4051代表

東京事務所　東京都千代田区神田鍛冶町3－3(大木ビル内)　電話(256)9301代表

広島事務所　広島市中区小町3番3号(原田ビル)　電話(246)0144



株式会社 昭和設計

建築・都市・上下水道
調査計画・設計監理

代表取締役社長　岡　本　行　善

代表取締役副社長　林　　唯　夫

本社事務所　大阪市西区新町1丁目5番7号 四ツ橋ビル　TEL代表 532－3421

神戸事務所　神戸市中央区八幡通4丁目2番17号 郵船航空ビル　TEL078－251－0651

東京事務所　東京都港区赤坂3丁目12番5号 赤坂田町ビル　TEL 03－583－2086

株式会社 AAA(スリーエース)総合設計

代表取締役社長　浅　井　潤　一

大阪市中央区東心斎橋1丁目6番27号(朝日プラザ心斎橋東ビル2F) 〒542　TEL 06(245)7300(代)



株式会社 創美設計

代表取締役　中　原　英　雄

〒530 大阪市北区末広町3番21号 新星和扇町ビル6階　TEL 大阪(06)312－3587代表

株式会社 大建設計

取締役社長　吉田　周

大阪市西区江戸堀1−12−8 安田生命大阪ビル　電話 06−441−9351(代)
東京・横浜・名古屋・京都・福岡・札幌

株式会社 東海設計

代表取締役社長　小坂忠勝

本　社　名古屋市中区栄3丁目7番1号（伊勢町ビル）〒460 TEL052-261-2651(代表)
東京事務所　東京都中央区京橋1丁目14番4号（東信ビル）〒104 TEL 03-561-0815(代表)

東西建築サービス株式会社

取締役社長　山口幸治

本　社　〒541 大阪市中央区高麗橋4丁目7番6号　電話 06-202-3626(代)
支　社　〒103 東京都中央区日本橋馬喰町2丁目1番1号　電話 03-663-1765(代)
（住友銀行浅草橋ビル4階）

株式会社 東畑建築事務所

取締役会長　東畑謙三
取締役社長　市川宏

本社 大阪事務所　大阪市中央区伏見町4丁目4番10号 電話 (06)202-0391
東京事務所　東京都千代田区永田町2丁目4番3号（永田町ビル）電話 (03)581-1251
名古屋事務所　名古屋市中村区名駅3丁目25番9号（堀内ビル）電話(052)571-8471
九州事務所　北九州市小倉北区魚町1丁目4番21号 電話(093)541-6531
（清和ビル）

株式会社 長田建築事務所

長田正雄

〒542 大阪市中央区上汐2丁目4-12　ケーエスビル　TEL(06)768-6121
FAX(06)768-1002

株式会社 日建設計

取締役社長　薬袋公明

〒541 大阪市中央区高麗橋4丁目6番2号
電話 06-203-2361(大代表)

日積工務株式会社

代表取締役　生島道春

本　　社　〒540 大阪市中央区谷町3丁目1番9号（MG大手前ビル）　TEL (06) 944—2755代表
東京支所　〒110 東京都台東区東上野3丁目16番5号(サンク・ユービル)　TEL (03) 836—1271代表
本社分室　〒542 大阪市中央区東心斎橋1丁目10番7号（市川ビル）　TEL (06) 245—7685代表
㈱京都日積　〒602 京都市上京区今出川通室町東入今出川町333番地(第2高橋ビル)　TEL (075)441—5690

株式会社 林設計事務所

代表取締役　林　茂

大阪事務所　〒531 大阪市北区長柄中3丁目1番8号　電話 (06) 351—6831
和歌山事務所　〒646 和歌山県田辺市稲成町東皆代231番地の6　電話 (0739) 22—8227

有限会社 婆佐羅建築工房

代表取締役　村中壽夫

〒532 大阪市淀川区西中島3丁目19番15号(第3三ツ矢ビル3F)　TEL 06(305)5378

株式会社 安井建築設計事務所

取締役会長　佐野正一
取締役社長　椚座正信

本　社　大阪市中央区島町2丁目4番7号　電話 06(943)1371(大代)

株式会社 横河建築設計事務所

代表取締役社長　小池正雄
取締役所長　河村栄蔵

本　　社　東京都目黒区下目黒1—2—18　TEL (03) 492—7441
大阪事務所　大阪市中央区淡路町4-7-5(本町ハイエストビル)　TEL (06) 202—4509



山邑邸(現・ヨドコウ記念館)

暑中お見舞申し上げます　平成元年盛夏

建設業者有志



株式会社　**あめりか屋**

取締役会長　前野慶太郎

〒530　大阪市北区中之島四丁目3番25号　電話（06）444－1501



株式会社　**淺沼組**

取締役社長　淺沼茂夫

本社・大阪本店　大阪市天王寺区東高津町12番6号　電話 06(768)5222
東京本店　東京都新宿区荒木町5番地　電話 03(357)0201
名古屋支店　名古屋市中村区名駅南三丁目3番41号　電話052(571)5571
支店　札幌・仙台・横浜・広島・福岡

技術と誠意で未来を築く



安藤建設株式会社大阪支店

取締役支店長　宮　貴久雄

大阪市福島区福島6丁目3番21号　電話代表 06（453）2190
本社・東京都港区芝浦三丁目12番8号　電話 大代表 03（457）0111
支店・名古屋・仙台・静岡・九州・広島・横浜・札幌
営業所・千葉・横浜・水戸・盛岡・新潟・神戸・京都・沼津・札幌・宇都宮・北九州・熊本



株式会社　**今西組**

取締役社長　今西壽雄

本社　大阪市天王寺区上本町6丁目6番23-309号　電話06(779)3361
支店　東京都新宿区内藤町1番地　電話03(354)0581
営業所　京都・奈良・西宮・神戸・埼玉



大之木建設株式会社

取締役社長　大之木一雄

本社　呉市中央3丁目12番4号　電話 0823(21)1511番
支社　広島市中区本川町3丁目1番5号　電話 082(231)5244番
支店　東京都港区麻布台2丁目2番12号 三貴ビル4F　電話 03（585）3655番
〃　福岡市城南区神松寺2丁目13番24号　電話 092(863)7171番

株式会社 **大林組**

取締役会長　大林芳郎

東京本社・東京都千代田区神田司町2丁目3番地　電話 03 (292) 1111番
本　店・大阪市中央区北浜東4番33号　電話 06 (946) 4578番
支　店・札幌・東北・横浜・北陸・名古屋・神戸・広島・四国・九州

株式会社 **奥村組**

取締役社長　奥村俊夫

本　社　大阪市阿倍野区松崎町2の2の2　電話 大阪(06)621−1101(大代表)
東京本社　東京都港区元赤坂1の3の10　電話 東京(03)404−8111(大代表)
支　社　東京・大阪
支　店　札幌・仙台・浦和・横浜・千葉・新潟・名古屋・神戸・広島・高松・北九州・福岡

鹿島建設株式会社

代表取締役社長　鹿島昭一
取締役大阪支店長　小島雄

本　社　東京都港区元赤坂1−2−7　電話 03(404)3311(大代)
大阪支店　大阪市西区阿波座1−3−15　電話 06(536)3311(大代)

海原建設株式会社

代表取締役　海原壹一

〒530 大阪市北区梅田1丁目2番2−300号(大阪駅前第2ビル3F)　電話06(346)1900番

株式會社柄谷工務店

取締役社長　柄谷順一郎

本　社　尼崎市玄番南之町4番地　電話大阪 06(415) 2800(代)
営業所　大阪・西宮・神戸・高砂・豊田・三田

共立建設株式会社 大阪支店

取締役支店長　加藤毅夫

支　店　大阪市中央区内本町2丁目2番5号　TEL 06−942−2491(代表)
　　FAX 06−946−0292
本　社　東京都渋谷区道玄坂1丁目16番10号　TEL 03−461−6141(代表)

今日を鍛え、明日に挑戦する

株式会社 近畿建設

取締役社長　川　﨑　健　市

本　　社　大阪市西区江之子島１丁目２番２号　電話 06 (448)5601代
東京支社　東京都港区芝大門2-6-4　芝大門笹野ビル　電話 03 (578)9123代
神戸支社　神戸市中央区加納町３丁目１―25　電話 078(392)5191代
滋賀支社　滋賀県栗太郡栗東町岡１９３の１　電話 0775(52)1361代
営業所　北大阪・南大阪・難　波

株式会社 熊谷組 大阪支店

取締役社長　熊　谷　太一郎
常務取締役大阪支店長　小　池　孝　之

本　　社　東京都新宿区津久戸町２番１　電話03(260)2111番(大代表)
大阪支店　大阪市都島区片町２丁目10番５号　電話06(352)1151番(大代表)

コーナン建設株式会社

代表取締役　原　精　一

大阪市淀川区十三本町２丁目４番28号　電話(06)308―1551大代表
東京都中央区京橋３丁目13番10号(中島ゴールドビル)　電話　(03)564―5711代表
神戸市中央区磯上通５丁目１番24号　電話 (078)221―6293代表

株式会社 鴻池組

代表取締役社長　鴻　池　一　季

本　　社
大阪本店　大阪市中央区北久宝寺町3丁目6番1号　電話 大阪(244)3500(ダイヤルイン受付台)
東京本店　東京都千代田区神田駿河台2-3-11　電話 東京(296)7700(ダイヤルイン受付台)
支　　店　神戸・京都・横浜・名古屋・北陸・広島・四国・山陰・福岡・南九州・仙台・北海道

株式会社 金剛組

代表取締役　金　剛　利　隆

本　　社　〒543 大阪市天王寺区四天王寺１丁目14番29号　TEL 大阪06(779)7731㈹
関東支店　〒350-02 埼玉県入間郡鶴ヶ島町脚折町１丁目40―12　埼玉0492(87) 0301

佐藤工業株式会社

取締役社長 佐藤嘉剛　常務取締役大阪支店長 梅木正二

本　　社　東京都中央区日本橋本町4-12-20　電話　東京(661)1231(大代)
大阪支店　〒541 大阪市中央区北浜1丁目1番6号　電話　大阪(203)7221(代表)

三和建設株式会社

取締役社長　森　本　晴　夫

本　社　大阪市淀川区加島１丁目55番６号　電話 06(301)6636
支　店　東京都荒川区東日暮里４丁目10番10号　電話 03(891)8871
支　店　京都市右京区西院高田町31番地１　電話075(311)8897

SHMZ

清水建設株式会社

社　長　吉　野　照　蔵
取締役 大阪支店長　久　保　　力

本　社　東京都中央区京橋２－16－１　電話03(535)4111
大阪支店　大阪市中央区本町３－５－７　電話06(263)2811
支　店　名古屋・広島・高松・福岡・金沢・仙台・札幌・横浜・千葉

SEKISUI HOUSE

積水ハウス株式会社

代表取締役社長　田　鍋　健

本　社　〒530 大阪市北区中之島6丁目2番27号(中之島センタービル)　☎06(446)3111
東京支社　〒160 東京都新宿区西新宿1丁目10番1号(安田生命第2ビル)　☎03(342)7221

大地への愛　人間への愛

錢高組

社長 錢高一善

本　社　大阪市西区西本町２丁目２番11号 大阪(06)531－6431
東京本社　東京都千代田区一番町31番地 東京(03)265－4611
支社・支店　大阪・東京・北海道・東北・北関東・千葉 横浜・北陸・名古屋・広島・四国・九州

大成建設株式会社

取締役 社長　里　見　泰　男
専務取締役 大阪支店長　平　島　　治

本　社　東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 新宿センタービル　TEL 東京(348)1111大代表
大阪支店　大阪市中央区北浜3丁目7番12号　ＴＥＬ大阪(203)1131大代表
支　店　東京・名古屋・九州・札幌・東北・広島・横浜・北信越・四国

限りない未来への挑戦

大日本土木株式会社

専務取締役 大阪支店長　牧　野　　保

大阪支店　〒530 大阪市北区堂島二丁目2番2号 近鉄堂島ビル　電話 06 (341) 5931
東京本社　〒162 東京都新宿区市ヶ谷田町２丁目35番地　電話 03 (268) 5511

株式会社 竹中工務店

取締役社長　竹中統一

〒541 大阪市中央区本町4丁目1－13　電話 大阪（252）1201番(大代表)

鉄建建設株式会社大阪支店

専務取締役支店長　安藤昭太郎

〒541 大阪市中央区瓦町3丁目3番7号　電話 大阪(201)1881(代表)
本社・東京都千代田区三崎町二丁目五番三号　電話 東京(262)3411(代表)

戸田建設株式会社

代表取締役社長　戸田守二
常務取締役 大阪支店長　西川秀信

本　社　東京都中央区京橋1丁目7番1号　TEL東京03(562)6111
大阪支店　大阪市西区西本町1丁目13番47号　TEL大阪06(531)6095
支　店　東京・関東・横浜・北陸・名古屋・札幌・東北・広島・四国・九州

東海興業株式會社大阪支店

専務取締役支店長　三富和

本　社　東京都中央区銀座7－13－10　電話 東京(545)5111
大阪支店　大阪市北区堂島浜2-2-8 東洋紡ビル　電話 大阪(348)5602
支　店　名古屋・仙台・札幌・福岡・横浜・広島

東洋土建株式会社

取締役社長　阿部暢

本　社　〒546 大阪市東住吉区東田辺2丁目3番2号　電話06(692)1331～5代表
東京支店　〒106 東京都港区六本木2丁目3番9号 亀甲ビル　電話03(586)0751　代表
営業所　横浜・名古屋

飛島建設株式会社 大阪支店

専務取締役支店長　石原昭一郎

大阪市中央区島町2－2－21　〒540　TEL 06（942）2481
本社/東京都千代田区三番町2　〒102　TEL 03（263）3151
支店/札幌・東北・東京・横浜・名古屋・北陸・大阪・広島・四国・九州

南海建設株式会社

取締役社長　松川義一

本　社　大阪市浪速区難波中3丁目5番19号　電話 06(644) 7808番
東京支店　東京都千代田区神田須田町1丁目5(新須田町ビル)　電話 03(251) 8431番
岸和田支店・和歌山支店　営業所　堺・泉佐野・橋本・神戸・枚方・京都南

明日をささえる

西松建設

代表取締役社長　柴田平
取締役関西支店長　瀬尾貞甚

本　社　東京都港区虎ノ門1－20－10　電話 03(502)0211
関西支店　大阪市中央区釣鐘町2－4－7　電話 06(942)1131

株式会社 日興

取締役会長　平本俊秋
取締役社長　平本俊友

本　社　広島市中区国泰寺町1丁目8番4号　電話（082）244－2111番

限りない可能性を追求する

日本建設株式会社

社長　積山吉興

本　社　大阪市中央区備後町1丁目6－15　TEL(06)226－0630(代)
東京本社　東京都文京区小石川2丁目6番22号　TEL(03)818－6081(代)
支　店　東京・大阪・名古屋・福岡・札幌・仙台・広島

野村建設工業株式会社

取締役社長　野村文英

本　社　大阪市中央区高麗橋2丁目1番2号　電話(202)4791代表
東京本部　東京都千代田区大手町2丁目1番1号　電話(241)4171代表

先端技術と建設をむすぶ フジタ工業

大阪支店　大阪市北区堂島2丁目1番16号　電話 06(348)4510

FUJIKEN

不二建設株式会社

取締役社長　山口慎一郎

大阪本社　大阪市中央区農人橋1丁目1番22号 〒540　電話06－946－2241
FAX06－946－2316
東京本社　東京都新宿区西新宿4丁目5番2号 〒160　電話03－377－5171代表
FAX03－374－2217
札幌・名古屋・福岡・ロスアンゼルス・仙台・静岡・大垣・京都・広畑・広島

不動建設株式会社

取締役社長　庄野勝

大阪本社　大阪市中央区平野町4丁目2番16号　電話 06（201）1121番
東京本社　東京都台東区台東1丁目2番1号　電話 03（831）9111番
支　店　北海道・東北・千葉・横浜・名古屋・神戸・広島・四国・南四国・九州・北九州

FUJIKI

株式会社 藤木工務店

取締役社長　藤木鐵三

本　社　〒540 大阪市中央区常盤町1-3-9　☎ 06-944-1468代　本支店　大阪・東京・倉敷・四国・京都・福岡
東京本社　〒160 東京都新宿区三栄町23－4　☎ 03-357-1600代　営業所　埼玉・多摩・横浜・静岡・名古屋・宇治・泉南・神戸・岡山・広島・徳島・新居浜・松山・長崎・南九州

地域社会に貢献する
総合建設

株式会社 前田組

取締役社長　前田覚

大阪府寝屋川市大成町1－1　TEL（0720）24－1111

前田建設工業株式会社大阪支店

取締役支店長　西利治

支　店　大阪市都島区東野田町2丁目4番20号　電話 大阪（353）7891（代表）
本　社　東京都千代田区富士見2丁目10番26号　電話 東京（265）5551（代表）

株式会社 松村組

取締役会長　松村雄二
取締役社長　松村雄吾

本　社・大阪市北区天満2丁目1番33号　電話 大代表 大阪(353)1131
支　店・東京・名古屋・札幌・仙台・広島・福岡

株式会社 道田工務店

代表取締役　道田泰平

本　　社・兵庫県川西市中央町18番21号　電話　0727(57) 9 7 7 7番
大阪支店・大阪市中央区平野町3丁目1番10号 電話　06(203) 6 8 6 8番

三井建設 株式会社 大阪支店

常務取締役大阪支店長　高尾清次

大阪支店　大阪市中央区本町4－4－25(本町三井ビル)　TEL　06－243－3411
本　　店　東京都千代田区岩本町3－10－1　TEL　03－864－3456

海と陸の明日を拓く技術のムラズミ

源 村角建設株式会社

代表取締役社長　土山喜代士

本社　大阪市住之江区浜口西2丁目12－9　TEL 06－672－3551
支店　北海道・東京・神戸

村本建設株式会社

代表取締役　村本豊嗣

奈良本店　奈良県北葛城郡広陵町安部547番地　電話 0745 (55) 1151(代表)
大阪本社　大阪市天王寺区四天王寺一丁目5番43号　電話　06(774) 2111(代表)
東京本社　東京都千代田区二番町3番4　電話　03(238) 2151(代表)
支　　店　札幌・東北・横浜・名古屋・三重・京都・神戸・和歌山・中国・九州他

望月建設株式会社

代表取締役社長　望月小太郎

本　　社　大阪市北区中崎西2丁目3番12号　電話 大阪 (375) 2345(代表)

株式会社 森組

取締役社長　森　幸彦

本　　社　大阪市中央区道修町4丁目5番17号　電話201－2761(代)
支　　店　東京・東北・横浜・北陸・名古屋・奈良・神戸・中国・四国・九州
営 業 所　甲府・滋賀・京都・和歌山・紀泉・西宮・松山・徳島・熊本

株式会社 森長工務店

代表取締役 森長堯熙

大阪市旭区中宮1丁目1番11号 電話 代表 06－952－3331

総合建設業

株式会社 安井杢工務店

代表取締役 安井洋太郎

本 社 〒617 京都府向日市上植野町御塔道42
TEL (075)933－0012㈹ FAX (075)933－4931

株式會社 米田工務店

代表取締役 米田良男

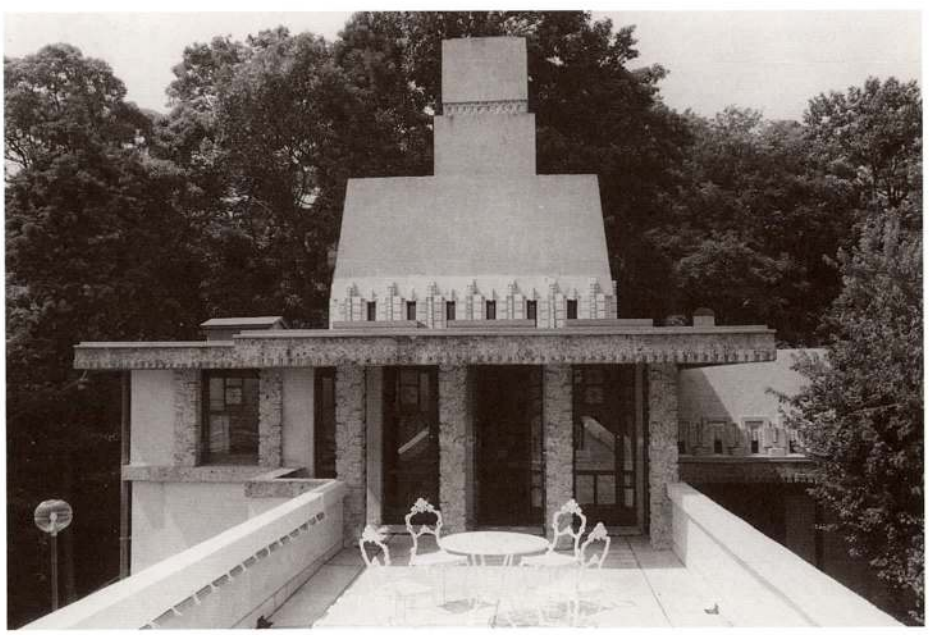
本 社 〒543 大阪市天王寺区逢阪1丁目1番7号 TEL 大阪(06)771-7771代表
FAX 大阪(06)779-2676

YSC

寄神建設株式会社

取締役社長 寄神美好

本社	〒652 神戸市兵庫区七宮町2－1－1	☎078－681－3121
東京支店	〒103 東京都中央区日本橋茅場町1－6－12	☎ 03－668－1871
横浜支店	〒231 横浜市中区翁町1－6－4（新翁ビル）	☎045－681－5085
名古屋支店	〒456 名古屋市熱田区森後町8－27	☎052－681－8661
大阪支店	〒551 大阪市大正区三軒家東4－1－18	☎ 06－552－2551
姫路支店	〒672 姫路市飾磨区須賀294(姫路ポートセンタービル)	☎0792－35－7748
九州支店	〒812 福岡市博多駅前1-15-20(日本団体生命ビル9F)	☎092－482－4300
営業所	岡山・四国・淡路・横須賀・北九州	



山邑邸(現・ヨドコウ記念館)

暑中お見舞申し上げます　平成元年盛夏

鉄道・団体・報道・建材・設備工事有志



泉北高速鉄道

大阪府都市開発株式会社

本　社　〒541 大阪市中央区瓦町3丁目5番7号　TEL. 06 (201) 2471
技術部　〒594 大阪府和泉市伏屋町3360番地　TEL. 0725(57)2600

社団法人 日本建築協会京都支部

支部長　井手正己

〒604 京都市中京区押小路通柳馬場東入 建設会館別館　電話075(211)2857・2877

社団法人 日本建築協会中国支部

支部長　平本俊秋

〒730 広島市中区国泰寺町1丁目8-4日興ビル内　TEL 082(244)6830

社団法人 日本建築協会東海支部

支部長　中島一

〒460 名古屋市中区栄4丁目3－26(昭和ビル5階)　電話052(261)1451

社団法人 日本建築協会和歌山支部

支部長　北山俊

〒640 和歌山市卜半町38番地 建築士会館内　電話0734(23)2562

財団法人 **大阪建築防災センター**

理事長 小西 岬

〒540 大阪市中央区常盤町1丁目2番17号(大阪フコク生命ビル5階) 電話 06(943)7253

創業34年

―もっとも信頼され、読まれている情報紙―

株式会社 **建設日報社**

代表取締役社主 重村 登龍

本 社 〒550 大阪市西区靱本町2－5－2 TEL 06(444)2405-9
別 館 〒550 大阪市西区江之子島1-6-2 TEL 06(444)6431-4

大阪で唯一の

株式会社 **日刊建設新聞社**

代表取締役社長 中山敏夫

大阪本社 〒541 大阪市中央区高麗橋1丁目2番4号(高麗橋ビル) 電話 202―6861(代表)
FAX 202―8651
社長室 〒541 大阪市中央区高麗橋1丁目2番4号(高麗橋ビル) 電話 229―0341・0346
分 室 〒541 大阪市中央区東高麗橋1番10(ユニ高麗橋) 電話 941―6847(代表)

株式会社 **日刊建設通信新聞社関西支社**

常務取締役関西支社長 向後定男

大阪市西区京町堀1－6－23 エハラビル 電話 06(444)4451代表
本 社・東京都港区西新橋2－11－4 電話 03(502)8581代表

技術と信頼で人と企業に貢献する

青葉印刷株式会社

代表取締役社長 依藤孝蔵

〒534 大阪市都島区中野町2丁目10番11号 TEL(06)351―5428㈹
FAX(06)351―5299

株式会社 **梅彦**

取締役社長 松永嘉一郎

営業所 大阪市北区中崎西2丁目1番3号 電話 06(312) 6171代
茨木工場 茨木市豊川3丁目1番6号 電話0726(43) 5185代

建築用板硝子販売施工

キムラ硝子建材株式会社

代表取締役　木　村　雅　秀

〒540 大阪市中央区内平野町3丁目2番11号　電話 06(941) 4 1 8 1(代)

クリヤマ株式会社

代表取締役社長　栗　山　芳　雄

本　　社　大阪市淀川区西中島1丁目12番4号〒532　TEL. 06—305—2871大代表
TELEX. 523—3908
東京支店　東京都渋谷区南平台町15番13号〒150　TEL. 03 — 463 — 1841代表

写真製版

株式会社 コスモカラー

代表取締役　長　崎　和　志

〒543 大阪市天王寺区空堀町14番1号　福保ビル2F
TEL (06)763—4358～9　FAX (06)768—1437

結露防止に卓効のある　湿度を調節する断熱建材

防火 防音 **モクセン板** 防腐 防虫

KFK

神戸不燃板工業株式会社

〒673-05 兵庫県三木市志染町三津田　TEL (07948) 7 —3121(代)

装飾合わせグラス

レインボーグラス　セーフティオパール

JIS表示許可工場　UL規格認承工場

株式会社 サトーセン

大阪工場　〒557 大阪市西成区南津守5丁目12番3号　TEL (06)658-1305(代)
東京工場　〒144 東京都大田区東糀谷5丁目12番7号　TEL (03)743-5851(代)
東京支店　〒105 東京都港区東新橋2丁目6番3号(昭栄ビル4F)　TEL (03)435-9221(代)

経験を基礎に新時代のニーズに応える

三精輸送機株式会社

代表取締役　太　田　昭　比　古

本　　社：大阪府吹田市江坂町1丁目13-18 〒564　☎ 06 (385) 5621 (代)
東京支店：東京都渋谷区千駄ヶ谷5の29の11　☎ 03 (356) 5651
福知山工場：福知山市長田野町2丁目45番地　☎ 0773 (27) 1211
出　張　所：札幌・青森・秋田・仙台・名古屋・金沢・広島・福岡・沖縄

塩田工業株式会社

取締役社長　塩田勝宏

本　社　〒734　広島市南区東雲2－14－6　TEL(082)281-9161代表
FAX(082)286-8722
工　場　〒739-01　東広島市八本松町大字原字中横野沖郷4515番地　TEL(0824)29-0459
山口支店　〒745　徳山市桜馬場通り1－20　TEL(0834)21-3038

よりよき環境へ技術で挑む――

株式会社 精研

クリーンルーム
実験動物室空調
設計施工

取締役社長　和田正八郎

本　社　大阪市中央区瓦屋町2丁目11番16号(オートセンタービル)　電話 768－5031㈹
東京支店　東京都千代田区九段南2丁目2－5(九段ビル)電話 262－3241㈹
四国営業所　徳島県鳴門市撫養町小桑島前浜28－3(西谷ビル)　電話0886－85－0924㈹

東西アスファルト事業協同組合
西日本床工事事業協同組合

株式会社 タテバヤシ商店

代表取締役　舘林彦四郎

〒601 京都市南区西九条大国町37　電話（075）681－7221(代)
FAX（075）681－7224

TAJIMA

株式会社 タジマ

東京営業本部　〒101 東京都千代田区岩本町3－11　電話（03）866－6101
大阪営業所　〒550 大阪市西区京町堀1－10－5　電話（06）441－5951

田島ルーフィング株式会社

東西アスファルト事業協同組合

東　京：〒101　東京都千代田区岩本町3－11－14　電話（03）862－8531
大　阪：〒550　大阪市西区京町堀1－10－5　電話（06）443－0431

東亜印ルーフィング　日本工業規格表示許可工場 許可番号585038

東亜工業株式会社

建設省計振発
第55号認可

東亜アスファルト防水事業協同組合

本　社　〒581 大阪府八尾市南太子堂6丁目4番27号　電話0729－94－5682　FAX0729－91－3172
東亜アスファルト防水事業協同組合　〒581 大阪府八尾市南太子堂6丁目4番27号
電話0729－91－1536　FAX0729－23－6496
営業所　東京・名古屋・九州　　工　場　大阪・東京・和歌山

東洋シヤッター株式会社

代表取締役社長　岡　田　　敏

本　　社　〒540 大阪市中央区常盤町1-3-8(日生谷町ビル) 電話(06)943-6571㈹
東京本社　〒106 東京都港区六本木6-3(第一地所麻布ビル) 電話(03)497-2911㈹

造園土木　　設計施工

株式会社 西川造園

〒573 大阪府枚方市北中振3丁目27番17号
TEL 0720—33—8998代

株式会社 西原衛生工業所大阪店

代表取締役社長　伴　　昭　　秀

大阪市北区中津6丁目8番4号　電話 大阪 (06) 458—3628

マルエス印▲ルーフィング▲シングル

日新工業株式会社 大阪支店

大阪支店長　中　田　　勝

本社営業所　東京都足立区千住東2－23－4　☎東京(882) 2424 (代)
大阪支店　大阪市西区新町1丁目12番22号　☎大阪(533)3191大代表
出張所　名古屋・広島・福岡・札幌・山形・工場／東京・埼玉・山形

日本アスファルト防水工業 協同組合 関西支部

大阪市西区新町1丁目12番22号　日新工業株式会社大阪支店内
電話 (533) 3191大代表

印刷システム設計・コンピュータ組版・電算写植

日本写植印刷株式会社

代表取締役　神　田　都　義

本　　社	〒545 大阪市阿倍野区阪南町7－5－30	電話06(606)1111代
東京営業所	〒105 東京都港区西新橋2丁目27番7号	電話03(578)8501代
広島営業所	〒739-01 東広島市八本松町米満109－5	電話0824 (28) 6253
津山写植センター	〒708 津山市福田1372－1	電話08682(8)4377
日本写植センター	〒892 鹿児島市名山町4－7　三宝ビル	電話0992 (26) 4371

National
松下電工

松下電工株式会社

本　　社　〒571 門真市門真1048　電話(06)908-1131
大阪電設営業所　〒540 大阪市中央区城見2丁目1−3　電話(06)942-7540
大阪特機営業所　〒540 大阪市中央区城見2丁目1−3　電話(06)946-1155
大阪環境システム営業所　〒540 大阪市中央区城見2丁目1−3　電話(06)945-9041

デッキコーティング　責任施工
ビニロイド防水　責任施工
アコシート防水　責任施工
ACフロア35　責任施工
防熱工事設計施工
プラスオール／コーキング　製造販売

三星産業株式会社

〒550 大阪市西区京町堀1−10−18(大栄ビル)　Tel.〈443〉9721(代)
〒101 東京都千代田区神田小川町3-28(三東ビル)　Tel.〈292〉1961(代)
営業所：札　幌011〈551〉3781(代)　仙台022〈262〉5201(代)
名古屋052〈931〉3390(代)　福岡092〈781〉3361(代)

三協アルミニウム工業株式会社代理店　日立化成工業株式会社代理店
アルケン工業株式会社代理店　新明和工業株式会社代理店
豊和工業株式会社代理店　近畿車輛株式会社代理店
倉庫ユニット株式会社代理店　住友ゴム工業株式会社代理店

ムツミ産業

ムツミ産業株式会社

代表取締役　傳馬正明

〒550 大阪市西区靭本町1丁目17番15号　電話(06)大代表441−0378番
出張所：東京・広島　　工場：大津・竹原

SSS改修工法、調査、診断

ヤブ原産業株式会社

代表取締役社長　渡貫嘉明

大阪支店　大阪府茨木市高田町25−11　電話0726−25−8560
本　　社　東京都文京区湯島3−39−5　電話 03−836−4111
札幌支店・仙台支店・新潟支店・福岡支店

シート防水は リベットルーフ　目地材は クラクタイト

山出興産株式会社

代表取締役社長　山出敬二

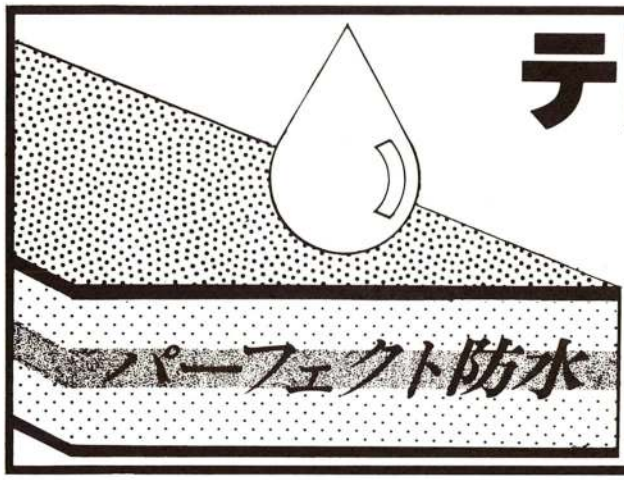
〒564 大阪府吹田市江の木町24−10 TEL(06)385−1261 FAX(06)386−6271
支店・営業所　東京・仙台・大宮・横浜・名古屋・広島・福岡

建築工事金属製品の
UNION

株式会社ユニオン

代表取締役　立野一郎

本　　社　大阪市西区南堀江2-13-22　〒550 電話 06(532)3731(代)
東京営業所　東京都江東区白河2−9−5　〒135 電話 03(630)2811(代)
名古屋営業所　名古屋市東区筒井町1-14-9　〒461 電話052(935)6021(代)
大阪ショールーム　大阪市西区京町堀1-17-16　〒550 電話 06(443)6620(代)



テトカッパー防水層

防水専業の研究・経験から生れたすくない資源のパーフェクトな防水層です。
この防水層は（一層防水）施工するだけで、防水は完璧です。
温度変化に伸びがなく、柔軟性に富み、耐酸、耐薬品性に優れ、腐蝕しません。

カッパー防水帯　コーバータイト　新工法
オクロン防水帯　プレノテクト吹付工法

●お申込次第カタログ進呈

奥山化工業株式會社

本　社	東京都中央区銀座8—4—9	電話03（571）2703
大阪事務所	大阪市淀川区東三国6—1—41	電話06（391）1081-2
埼玉営業所	埼玉県桶川市東1—3—30	電話0487(74)2845-6
厚木出張所	神奈川県厚木市金田259	電話0462（21）1761
名古屋出張所	名古屋市南区若草町33	電話052（811）3660
九州出張所	佐賀県佐賀郡諸富町大字諸富津450	電話0952（47）2945

新しい時代の、新しい扉をひらきたい。

TOYO Shutter

東洋シヤッター株式会社

本　社　〒540 大阪市中央区常盤町1－3－8（日本生命谷町ビル）
TEL（06）943－6571（代）
■東京/横浜/盛岡/仙台/水戸/静岡/岡崎/名古屋/富山/大津/京都/神戸/広島/高松/福岡/他全国主要都市

特　許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

半世紀の実績が誇る技術とアフターケアー！

長尺物・色彩豊富・責任施工

品　種
- オリエンタルカラースーパーメタル(CSPM)
- オリエンタルスチールライト(ＳＴＬ)
- オリエンタルメタル(ＯＰＭ)
- 鋼板製オリエンタルフネンシングル
- オリエンタルオリセラム


体育館屋根フネンシングル

波板規格　S小波・S大波・V波・ボックス波・Wジャンボ波・Vデッキ
SVジャンボ波・ボルトレスルーフBL・其の他

用　途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・堅樋・軒樋
各種換気装置〔モニター・ベンチレーター・ムーバー・エキゾスター(強制)〕
ボーロイド(断熱材)D.G.K.　※カタログを御請求下さい

オリエンタルメタル製造株式会社

大阪本社　〒660　尼崎市昭和南通り３－26 松本ビル　電話大阪(06)412－5131(代)
大阪支店及工場　大阪・九州・名古屋・広島・東条・刈谷・姫路

東京本社及工場　〒335　蕨市塚越５丁目６番32号　電話 蕨(0484)42－3115(代)
支店及工場　東北・東京・関東・熊谷

空気調和・給排水・衛生・防災設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区浜松町1-25-7　電話（434）6171（大代）
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話（302）2271（代）
支　店　北海道・東北・名古屋・中国・九州
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

商品は空気です。



熱と空気のエンジニア
株式会社
大気社

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　塗装設備　公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京本店　東京都新宿区西新宿2-6-1　☎03-344-1851（大代）　大阪本社 ☎06-448-3603（代）
大阪支社 ☎06-448-5851（代）　名古屋支店 ☎052-211-1535（代）　中国支店 ☎082-247-5541
九州支店 ☎092-431-2147（代）　営業所：北関東・横浜・神戸・京都・岡山・四国

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設　計　施　工

ダイダン株式会社

本店・大阪本社　〒650 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　電話(06)441-8231
東京本社　〒102 東京都千代田区富士見2丁目15番10号　電話(03)261-8231
支　社　名古屋・福岡
支　店　札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・横浜・金沢・京都・神戸・天理・岡山・広島・高松・熊本
営業所　帯広・函館・青森・秋田・盛岡・前橋・長野・静岡・豊田・津・富山・福井・徳山・松山・高知・北九州・鹿児島・那覇
出張所　旭川・福島・川崎・松江・徳島・下関・長崎・大分・宮崎
海外支店　シンガポール・ホンコン
技術研究所　〒354 埼玉県入間郡三芳町大字北永井390番地　電話(0492)58-1511

空気調和　搬送機設備
給排水衛生　設計施工
人に優しい環境づくり

第一工業株式会社

大阪支店　〒530 大阪市北区西天満3丁目6番14号
電話　06-364-6661（代表）
本　社　〒100 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話　03-211-8511（代表）

空気調和設備　産業設備
給排水設備　水処理施設
電気設備　環境施設

三機工業株式会社

取締役社長　白谷清二
大阪支店長　三田村嘉也

大阪支店　大阪市中央区北浜2-2-21　電話06(202)3071(代表)
本　店　東京都千代田区有楽町1-4-1　電話03(502)6111(大代)
支　店　名古屋・九州・北海道・中国・東北・北陸・四国

ガス設備の設計・施工のご相談は
大阪ガス指定工事会社・大阪ガス住設機器特約店

大晃設備株式会社

本　社
大阪営業所　大阪市北区西天満5-11-12　電 06-313-1846
枚方営業所　枚方市甲斐田東町9-3　電0720-49-2128

空気調和設備
衛生設備　設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町3番5号　電話（352）1131(代)
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2-22　電話（667）3431（大代）
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

MODAIR

空気調和設備
換気・除塵設備　設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区靱本町3-1-27　TEL（443）8071
本　社　東京都中央区京橋2丁目9　TEL（562）1351
支　店　名古屋・福岡

空気調和・衛生設備・設計施工

株式会社 三晃空調

本　社　大阪市中央区城見2丁目1番61号ツイン21MIDタワー　電話 06-949-1371
東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話 03-344-7911
大阪本店　大阪市北区西天満4丁目6番18号　電話 06-363-1371
支　店　仙台市青葉区大町2丁目2番10号　電話022-261-3002
名古屋市中村区名駅南2丁目14番19号　電話052-581-8571
広島市中区紙屋町1丁目2番22号　電話082-247-4535
福岡市中央区大名2丁目4番22号　電話092-761-3795
営業所　札幌・横浜・京都・神戸・松江
出張所　青森・秋田・盛岡・大宮・千葉・川崎・富山・福井・和歌山・鳥取・岡山・高松・下関・熊本・鹿児島・沖縄

給・排水・衛生・消火・空調設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市北区中津6丁目8番4号　電話大阪（458）3628番
支店・営業所　福岡・京都・天理・川西・神戸

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む

株式会社精研

本　社　大阪市中央区瓦屋町2丁目11番16号（オートセンタービル1.2階）
郵便番号542　電話 大阪(06) 768-5031代表
メンテナンス部　電話 大阪（06）768-1651代表
東京支店　東京都千代田区九段南2丁目2番5号（九段ビル2~4階）
郵便番号102　電話 東京(03) 262-3241代表

技術と信頼で人と企業に貢献する

青葉印刷株式会社

代表取締役社長 依藤孝蔵
〒534 大阪市都島区中野町2丁目10番11号　TEL(06)351-5428(代)
FAX(06)351-5299

空調・衛生・防災設備　設計並施工

日本管工業株式会社

本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681) 5101－5・夜間専用(691) 1045
大阪支店　大阪市北区天満1-5-20　電話(06)352－3501㈹
三重支店　津市栄町2－111　電話(0592)26－3610㈹
四日市営業所　四日市市西末広町　電話(0593)53－7431㈹
滋賀営業所　大津市中央2丁目4-28　電話(0775)22－9738㈹

Carrier 冷暖房はキャリア CARRIER

東洋キャリア工業㈱デストビューター関西地区

日本冷熱工産株式会社

本社及大阪営業所　吹田市豊津町40番38号
電話 大阪 (384) 1201～7

電気・計装工事　設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長　栗原信英

大阪市北区角田町1-1 東阪急ビル TEL 06-313-1101
支店　東京・名古屋・舞鶴・京都・天理
大阪南・神戸・広島・四国・九州

電気設備　設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役　山本貴士

本社　大阪市北区中之島3－2－4　朝日ビル　TEL 大阪06 (385)1361(代)
大阪営業所　TEL 大阪06(385)1361(代)　京都営業所　TEL 京都075(311)1185(代)
東京営業所　TEL 東京03(574)0665　福岡出張所　TEL 福岡092(771)6168

電気工事設計施工

株式会社 三興社

代表取締役　土井敏裕

本社　大阪市北区西天満2丁目6－8(堂ビル7階)
電話 (361) 3671 (代)
支店　東京都中央区日本橋箱崎町20番5号
電話 (671) 1478 (代)
出張所　川崎・相模原・堺・滋賀

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社

大阪支社

常務取締役支社長　横田幸一

大阪市中央区高麗橋4丁目3番7号　電話大阪 (202)0325～9番
本社　東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支社　札幌・仙台・丸ノ内・新宿・横浜・名古屋・九州
営業所・出張所　全国主要都市32ヶ所

誠実と技術でお応えする

住友電設株式会社

取締役会長　代谷正元
取締役社長　相馬一男

本社／〒553 大阪市福島区福島7丁目22-8 ☎(06)452-1151(大代)　東京／〒105 東京都港区芝2丁目2－17 ☎(03)454-7311(大代)

営業種目 設計・施工・監理

●電力工事
発変電設備工事
架空送配電線工事
地中送配電線工事

●設備工事
ビル電気設備工事　空調工事
工場電気設備工事　給排水衛生工事
防爆電気設備工事　特殊配管工事
計装工事　消防施設設備工事

●プラント工事
●情報システム工事
光伝送システム工事
CATVシステム工事
各種アンテナ装置工事

限りなきクリーンに挑戦する!!
電気設備・クリーンルーム・冷暖房設備
給排水衛生設備・計装制御設備・立体自動倉庫
エネルギー集中監視システム・回転式自転車置場
設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長　嘉納伝三

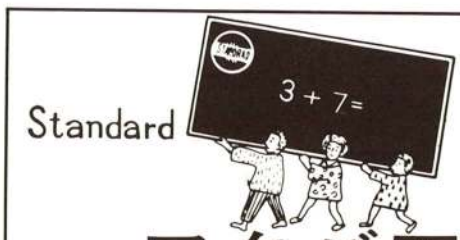
本社　〒530 大阪市北区西天満2－6－8(堂ビル)　TEL 06(364)1471
TELEX 523－3287
東京支店　〒105 東京都港区新橋2-16([illegible]新橋ビル)　TEL 03(504)0231
TELEX 222－6724
名古屋支店　〒462 名古屋市北区金城三丁目12－14　TEL 052(991)5131
神戸支店　〒657 神戸市灘区岩屋中町1-2-9(ユビスビル)　TEL 078(881)5571

奉仕感謝の店

タイル工事施工

株式会社 川岸窯業商店

本社　〒550 大阪市西区西本町1－13－33
電話 大阪 06(532)代0461 〒550
天理営業所　天理市丹波市新町50



Standard Board&Slate

フタバ工業

〒547 大阪市平野区加美北3－4－5 TEL 大阪06(792)5858㈹



〒556 大阪市浪速区塩草一丁目二番三号
☎ 五六一～七四一六
ファックス 五六一～七四五四

ナニワ瓦株式会社

あらゆる屋根工事の相談は、

活字のない印刷

日本写植印刷株式会社

代表取締役　神田都義

本社　〒545 大阪市阿倍野区阪南町7-5-30　☎06(606)1111代
日本写植センター　〒892 鹿児島市名山町4-7 三宝ビル　☎0992 (26) 4371
津山写植センター　〒708 津山市大手町8番5号 煙草店会館　☎08682 (4) 1771
沖縄写植センター　〒900 南風原村兼城 沖縄印刷団地　☎0988 (55) 6100

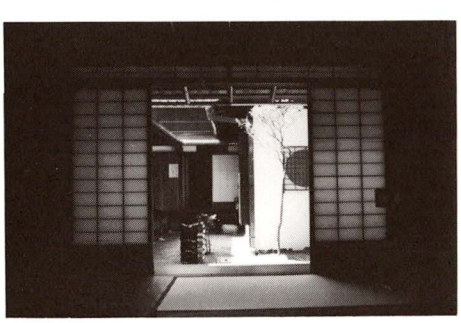
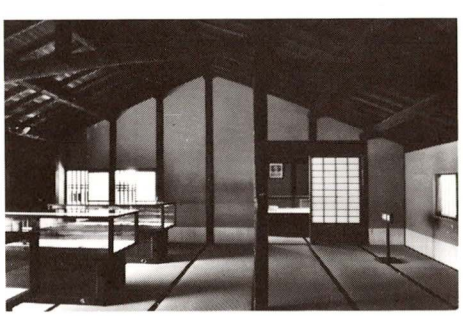
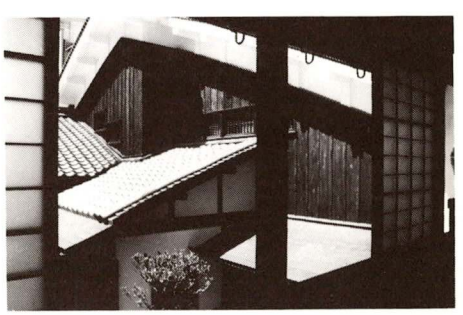
特殊壁装材製造販売　和室に最適
●聚楽壁紙●ホクシノン(無機質壁紙)
(株)ホクシンクロス
〒583 大阪府羽曳野市島泉８－173－1
TEL(0729)39－3610
工場　〒580　大阪府松原市三宅中8丁目1番9号
第一　〒639-11奈良県大和郡山市小泉町2744
第二　〒597　大阪府貝塚市王子５０１

Construction chemistry for the future.
コンクリート用混和剤／コンクリート用補修材
高性能無収縮材／コンクリート用高性能床材
Master Builders Technologies
ポゾリス物産株式会社
日曹マスタービルダーズ株式会社
本　社：東京都港区六本木３－16－26 TEL03-582-8813
大阪支店：大阪市中央区北浜3-2-23(信愛ビル) TEL06-202-3294

営業種目
●防水工事　塗布防水・シート防水・モルタル防水
●樹脂注入接着工法　各種樹脂注入接着補修工事
●亀裂補修工事　各種樹脂注入・充填・コーキング
●シーリング工事　シリコン・チオコール・ウレタン・アクリル
●吹付工事　アクリル・リシン・弾性タイル・その他
◇建設業許可　大阪府知事許可（般－53)第51225号
◇日本シーリング工事業協会々員
大阪市北区末広町３－２１
星和地所扇町ビル201 S
TEL 06(315)0701
(株)特殊技研

省エネルギー時代の断熱用シート防水材
日立バイナリーシートP
日立バイナリーシートPは，日立防水シートに発泡ポリエチレンを独自の貼り合わせ技術で積層した，二重構造の断熱兼用二重防水シートです。
日立電線株式會社　本社 東京都千代田区丸の内2丁目1番2号(千代田ビル)

デンカCSAファミリー製品
●デンカCSA（膨張性混和材）　コンクリートのひびわれ防止に
●デンカタスコン（グラウト用無収縮材）　鉄骨ベース、逆打部の充填モルタルに
●デンカキューテックス（止水・補修用急硬セメント）　コンクリート躯体の漏水補修に
●デンカES（土質安定用急硬材）　地盤補強用薬注入
●デンカΣ1000（製品用超高度混和材）　コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に
電気化学工業株式会社
近畿地区販売店
浜宗産業株式会社
TEL 本社・京都・網野（07727）2－2220
舞鶴（0773）76－0133
金森藤平商事株式会社
TEL 大阪（06）332－6861
TEL 東京（03）272－8501
小浦産業株式会社
TEL 大阪（06）443－6181
光洋物産株式会社
TEL 大阪（06）252－6000
株式会社トーゴー／本社
TEL 滋賀・守山(0775) 83－2381

「建築と社会」バックナンバー総目次(号別)Vol.16 No. 6 ～Vol.17 No. 4 (昭和８年６月～昭和９年４月発行)

京都市児童院、千葉県・一宮学園、大阪・六甲郊外学園、大阪・栄町市民館
談話室……津田　鑿
改正されたる工事請負規程
国際最新建築

●建築と社会（Vol.16No. 6）

新興建築号　昭和８年６月１日発行

会告１．大阪市の「シビック・センター」計画理想案懸賞募集
　２．阪和上野芝住宅博覧会開場
ブルノ・タウト作品集（未日中のブルノ・タウト氏夫妻、ブルノ・タウト氏住宅、伯林市南郊ブリッツの集合住宅、東伯材オッサ街バンゲス集合住宅、伯林近郊ツエーレンドルフの集合住宅、博覧会建物、ガラスの家、スツットガルト集合住宅）
新興建築集
新興建築講演会（昭和８年５月10日於朝日会館、超満員）
開会の辞……竹腰健造
映画「現代フランス建築」の解説……中西六郎
日本に帰れ……中尾　保
神話より空想へ……滝沢眞弓
日本に於ける折衷主義建築の功禍……村野藤吾
日本建築と西洋建築との関係に就ての第一印象
……ブルノ・タウト
ブルノ・タウト氏紹介
閉会の辞……池田　実
欧州の新興建築概説……岡田孝男
ソヴエート・ロシヤの都市計画と建築……藤田進一郎
小住宅のプランの研究(2)……岡田孝男
新興建築展覧会後記（５月８日～５月12日　朝日新聞主催本会後援）西部日本の見学旅行、九州見学外記
衛生陶器の製造行程……東洋陶器㈱工場長　坪井礼三
桜花爛漫の吉野山行
大阪市の「シビック・センター」計画理想案懸賞募集の趣旨に敷衍して……加藤善吉

●建築と社会（Vol.16No. 7）

新建築集　昭和８年７月１日発行

写真、図面、設計概要（株式会社伊藤萬商店、大阪瓦斯ビル、岡崎銀行、大阪市九条電灯営業所、株式会社大丸、第一銀行船場支店、三菱信託株式会社大阪支店、滋賀農工銀行、加能合同銀行、御影公会堂、国民会館、日赤大阪支部病院中病棟、同看護婦宿舎、大阪パンシオン、白泉会館、神戸中央卸売市場）
住宅博覧会を見て……松室重光
鎔接及び切断用語
建築学会主催第７回建築展覧会規程

●建築と社会（Vol.16No. 8）

都市計画Ⅰ　昭和８年８月１日発行

国家の更正を目標とする集団生活機構としての都市と村落の分布流制……松室重光
都市の防火……片岡　安
都市の防空施設……中村濱作
実際問題としての地方計画と地域制……加藤善吉
都市と不良住宅問題……新名種夫
大阪都制の問題……小川市太郎
海港都市神戸の片貌……宮本長治
横浜市に於ける港湾都市としての特殊計画に就て…丸山照六
奈良市に於ける遊覧都市としての特殊計画に就て…薬師神栄七
ニューヨーク・クヰーンス大通り懸賞設計競技図案…吉岡信武
シンシナチ・ユニオン旅客停車場……吉田信武
都市に関する資料三四
国際新建築、本誌「都市計画号」第２集発行に就て

●建築と社会（Vol.16No. 9）

都市計画２　昭和８年９月１日発行

都市計画より土地計画まで……石原憲治
都市と都市計画……吉田信武
都市生活と国民保険……藤原九十郎
大成を期すべき我が都市公園……田村　剛
都市と騒音……佐藤武夫
都市の交通施設……伊藤和夫
「理想都市」……吉田信武
都市雑考……北垣熊之介
都人……岩本眞人
（本会に対する）会員のこえ……各種会員34名
会報（大阪府建築課長より会長あて「建築取締規則（大阪府）一部改正１件」通知、他）
倶楽部室（建築クラブの紹介）

●建築と社会（Vol.16No.10）

学校建築　昭和８年10月１日発行

会告(四会併合建築大会及満州見学旅行、瑞光住宅博覧会他)
最近に於ける学校建築の傾向並にその特徴……柴垣鼎太郎
写真と図面（東京帝大医学部、同本部附属屋及工学部実験室同理学部臨海実験所、京都帝大法学部経済学部、大阪市立商大、東京商大予科、神戸商大本館、慶應義塾大学予科、大阪歯科医専、京都薬専、甲陽中学、神戸市立第三神港商業、大阪府立今宮中学、第一東京市立中学、神戸女学院、信愛高女、大阪聖母女学院、兵庫県立聾唖学校、同盲学校、東京市立忍ヶ岡尋常小、東京市立中之町尋常赤坂高等小、大阪市立済美第六小、兵庫県魚崎尋常高等小、神戸市立笠松方面小、名古屋市立幅下尋常小、名古屋市立中之町尋常小、神戸市立福住尋常小、大阪市立北田辺小、横浜市立芦穂崎小、神戸市須栄幼稚園）大阪市立小学校鉄筋混凝土構造標準規格図、同木造舎標準矩形図
（本会に対する）会員のこえ……各種会員41名
建築倶楽部室

●建築と社会（Vol.16No.11）

満州建築　昭和８年11月１日発行

大阪市の「シビック・センター」計画理想案懸賞当選案（１等山口潔・小島初三・奥村敦、２等井上雅男・小野武雄、３等羽石渡、佳作１席木村平五郎、同２席網戸武夫、同３席武内成夫・和田登、審査概評）
四会併合建築大会と満鮮の見学（日本建築協会・満州建築協会・朝鮮建築会・台湾建築会共催、大連市大広場大和ホテル、見学―大連・旅順一周・大連～鞍山・首山堡・遼陽・煙台・沙河・奉天・新京・新京～哈爾賓・奉天～旅順・平壌・京城・釜山）…松室重光
満州に於ける軍部の新建築……内藤太郎
満州の建築界を顧て内地建築家に望む―附工業移民論…岡大路
満州古建築の展望……村田治郎
満州著名建築物グラフ……解説　村田治郎
満州に於ける建築請負界の現状……小黒隆太郎
満州見学旅行感想の断片……永瀬狂三
建築法規に関する質疑応答欄…応答　本会法制委員会　本島武夫
建築倶楽部室

●建築と社会（Vol.16No.12）

常設委員会報告　昭和８年12月１日発行

会告（続住宅図案集、続学校建築図集刊行）
住に関する問題照会事項回答調査書……教化委員会
大阪に於ける大工徒弟養成の実況調査……教化委員会
畳の調査……材料委員会
各種パイプ類市場調査報告……材料委員会
一般建築工事施工上必要なる設備の研究……設備委員会
住宅の門塀……住宅委員会
上野芝住宅博覧会出品住宅（神戸住宅松式会社、三宅工務所、大阪近郊土地株式会社、サカエ商会、大倉土木株式会社、鹿島組、岡本工務店、旭組、東亜土地株式会社、関西土地株式会社、竹中工務店、大林組、森田工務店、日本建築協会）
瑞光住宅博覧会出品住宅（日本建築協会、大畑義、関西土地株式会社、立道土地建物合名会社、竹中工務店、鴻池組、大阪土地電話住宅株式会社、若林工業株式会社、安達善蔵、納谷富蔵、今中組、藤木工務店、中道猪三郎、浅井三郎工務店、船橋秀吉、山寅組、竹井工務店、由上鶴蔵、大昭組、有山組、大林組住宅部）
国際新建築、京阪神新建築（東洋劇場、京都美術館）
（本会に対する）会員のこえ―各種会員６名
建築倶楽部室

●建築と社会（Vol.17No. 1）

昭和９年１月１日発行

会告　阪神線浜甲子園海辺に建つ「夏の家」設計図案募集
昭和９年を迎ふ……工学博士　片岡　安
今明年にデビューする新建築（大阪市立電気局電気科学館、独逸文化研究所、白鶴会館、東京宝塚劇場、松坂屋大阪支店、日本映画劇場、株式会社十合呉服店、新大阪ホテル、大阪株式取引所、阪神競馬倶楽部、日赤京都支部病院、京都帝大附属医院内科病室、甲南病院）
日本建築協会・建築学会懇親晩餐会卓上演説（10月15日、於東京会館、佐野利器学会会長、片岡安協会会長、松井清足学会接伴委員長、中村達太郎学会側、松室重光協会東部見学団委員長、設楽貞雄協会見学団員、高松政雄学会側、波江悌夫協会見学団員、中村伝治学会副会長、竹腰健造協会副会長、大熊喜邦学会側）
東部日本見学旅行記……新名種夫
大阪市下水処理事業に就いて……大阪市水道部長　島崎孝彦
本誌表紙図案当選図案と審査評
会報　名誉賛助員村山龍平逝去（朝日新聞創業者、社主）他
建築倶楽部

●建築と社会（Vol.17No. 2）

建築材料　昭和９年２月１日発行

会告　日本建築協会建築材料陳列場開館(昭和９年１月１日)
建築材料の新生面……片岡　安
建築材料の重要性……松室重光
コンクリート調合表に就て……浜田　稔
ドイツに於ける体操場の床材料の問題
防水材料に就いて……富士岡重一
屋根葺材料に就いて……富士岡重一
含ニッケル合金……石川純一郎
ホワイトブロンズと其製品……池田宮彦
木材の市場品概況……酒井勇三郎
労銀より見たる石材操堀場の調査……鈴木忠五郎
建築材料陳列場の誕生……徳政金吾
国際新建築、新建築紹介(大阪府立今宮中学、東京宝塚劇場)
時報（東京市庁舎建築設計懸賞競技、新京忠霊塔設計図案懸賞募集、火災と鉄格子、木場の火災）
（本会に対する）会員のこえ……各種会員19名
建築倶楽部室（倶楽部室拡張他）

●建築と社会（Vol.17No. 3）

新しい建築の傾向　昭和９年３月１日発行

会告　定例住宅研究座談会参加要請他
「空の都」の建設……葛野壮一郎
都市構築と新建築……加藤善吉
新建築様式の完成と堕落……新名種夫
新しい建築は空へと伸び行く……棚橋　諒
生活の墓標……本多正道
木とファンタジー……村野藤吾
悪莠恐其乱苗也……桐本楠雄
欧米住宅建築界の新傾向……岡田孝男
照明器具とグリル……吉田信武
現場打コンクリート並にその骨材の試験に就いて…張　菅雄
建築材料陳列場記（東洋リノリユーム、ユニオン・トレーヂング・コンパニー、富士建築工芸、西原衛生工業所大阪支店、野沢幸三郎商店、山本窯業商店、住友伸銅鋼管、国際新建築、建築倶楽部室

●建築と社会（Vol.17No. 4）

公園　昭和９年４月１日発行

会告　室生寺に関する講演会、春季大会開催（室生寺）他
新天王寺公園グラフ（図面、写真）
天王寺公園の沿革と全貌……椎原兵市
動物飼育の立場から見た動物檻舎……林　佐市
天王寺公園の建築物に就いて……富士岡重一
天王寺公園の改造工事……方米治郎
動物舎考……宮田秀穂
大阪府営公園とその建築的施設……加藤善吉
大阪市営公園の沿革と将来……大阪市公園課調査
乾式構造建築の壁体材料……三浦尚史
国際新建築、時報（市街地建築物法中改正法律案地）
（本会に対する）会員のこえ……各種会員10名



空　間　無　限

太陽光の角度によって時と共に変化する壁面
タイルのわずかな凹凸が表情を際立たせる。
ある時は壁面の背後に別の空間を感じさせるほど微妙な
無限のリズムの中の陰影、
タイル一枚一枚がまるで意思をもっているかのように語りかけてくる。
TOTOエクステリアタイル。

TOTOエクステリアタイル

カタログをご希望の方は、〒530 大阪市北区曽根崎2-3-7 梅新第一生命ビル東館 東陶機器㈱ 大阪支社までご請求ください。☎06(364)1181

建築と社会　第70輯第7号
平成元年7月25日発行（毎月1回25日発行）
昭和24年3月19日第3種郵便物認可



京都大学（ベストプルーフ絶縁工法）

防水の改修工事に最適な ベストプルーフ US工法。

塩化ビニル系シート防水

ベストプルーフHG®
断熱防水用・歩行用

ベストプルーフHGは最高品質のハイグレード塩化ビニルを主成分にガラスクロスを中間に積層した断熱防水に最適の防水シート。

塩化ビニル系シート防水材

歩行用 **ロンプルーフ®**

絶縁工法用 **ベストプルーフ®**

近年とみに増加している建物の改修工事。それに最適な防水工法がベストプルーフUS工法。下地処理が簡易で既存防水層の上から施工でき、工期の短縮ができます。しかも接着剤を使わず特殊な脱気工法の採用によって湿潤状態でも施工できます。絶縁工法は下地のムーブメントを緩衝し美しい仕上りを保証します。

西日本ロンプルーフ防水事業協同組合
大阪市淀川区西中島3-9-13 大北ビル ☎06(304)5155

ロンシール工業株式会社
大阪支店/大阪市淀川区西中島3—9—13 大北ビル7階
☎06(304)2700

※詳しいカタログをご希望の方は、本社、支店、各営業所までご請求下さい。

●本　社〒101
東京都千代田区神田松永町13「川口ビル」☎03-253-4911㈹
■営業所/●札　幌☎011-531-2602●青　森☎0177-77-1155
●仙　台☎022-265-4771●新　潟☎025-243-3791
●金　沢☎0762-92-1161●大　宮☎048-664-1511
●千　葉☎0472-46-5851●横　浜☎045-662-7370
●静　岡☎0542-51-3712●名古屋☎052-935-7063
●岡　山☎086926-4321●高　松☎0878-31-4177
●広　島☎082-211-2700●福　岡☎092-472-5857
●鹿児島☎0992-58-6571

社団法人 日本建築協会 平成元年7月号 大阪市北区西天満2-6-8 電話06(365)0058 郵便振替口座大阪0-3978
定価九八〇円（本体九五一円送料共 消費税二九円）
振替口座東京六-一二八九七番 正会員の購読料は会費に含めて徴収